

---

---

芦屋市「地域福祉に関する市民意識調査」  
結果報告書

---

---

令和8年（2026年）2月

芦屋市

## 目次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	2
2 調査の方法	2
3 回収状況	2
4 小学校区別回答状況	3
5 性別・年代別回答状況	4
6 標本誤差について	5
7 報告書の見方	6
8 調査結果の概要	7
II 調査の結果	9
I. 回答者自身について	10
(1) 性別	10
(2) 年齢	11
(3) 家族構成	12
(4) 居住年数	14
(5) 居住小学校区	15
(6) 就労状況	16
II. 地域との関わりについて	18
(1) 近所づきあいの程度	18
(2) 地域のイベントや催しの情報の取得先	21
(3) 3年間で行ったことがある地域の催し	24
(4) 地域の催しへの参加意向	27
(5) 地域で活動している(いた)もの	36
(6) 今後活動してみたいこと	44
(7) 地域での活動を始める、もしくは続けるために必要なこと	50
(8) 市民活動・ボランティア活動に関する研修や講習会への参加	52
(9) 地震などの災害発生時における避難	58
(10) 地震などの災害発生時にできそうな(またはできる)行動	60
(11) 地震などの災害発生時の支援	63
III. 人とのつながりについて	66
(1) 親しくつきあったり、困ったりしたときに助け合える人	66
(2) 日常的に関わりやつながりを持っているコミュニティ	69
(3) 人とのつながりを増やすために必要なこと	72
(4) 人との付き合い	74
(5) 居場所に求めるもの	80

IV. 福祉に関する相談について .....	83
(1) 日頃不安を感じていること .....	83
(2) 暮らしの困りごとや福祉サービスのことなどの相談 .....	85
(3) 福祉に関する相談先 .....	89
III 自由意見一覧 .....	91
IV 調査票 .....	98

---

# I 調査の概要

---

## 1 調査の目的

令和9年度（2027年度）からの「第5次芦屋市地域福祉計画」の策定にあたり、地域との関わり  
の状況や、地域福祉活動に関する考え、市の施策に対する認知度などについて把握するとともに、次  
期計画の基礎資料とすることを目的として実施しました。

## 2 調査の方法

(1) 調査地域

芦屋市内全域

(2) 調査対象および標本抽出方法

市内在住の18歳以上の市民から3,000人を無作為抽出

(3) 調査方法

郵送による配布、郵送・持参またはインターネットによる回答

(4) 調査期間

令和7年（2025年）8月8日～8月27日（9月1日まで延長）

## 3 回収状況

対象者数	3,000件
有効配布数	2,992件 ※不着8件
有効回収数	1,293件（514件）
有効回収率	43.2%（17.2%）

※（ ）は内インターネット回答の数

## 4 小学校区別回答状況

小学校区別の人口の構成比について、母集団（令和7年(2025年)7月31日現在の各地区の実際の人口から0～17歳を除いた数値）と回答者の比率を比較すると、概ね実際の人口に近似した回答が得られています。

小学校区	母集団		回答者	
	実数	比率	実数	比率
山手小学校区	16,895	21.0	255	19.7
朝日ヶ丘小学校区	7,867	9.8	109	8.4
岩園小学校区	11,117	13.8	183	14.2
精道小学校区	11,130	13.8	189	14.6
宮川小学校区	9,704	12.1	164	12.7
打出浜小学校区	8,159	10.1	125	9.7
潮見小学校区	9,504	11.8	160	12.4
浜風小学校区	6,048	7.5	88	6.8
無回答	—	—	20	1.5
合計	80,424	100.0	1,293	100.0

### ●各小学校区に該当する町名

小学校区名	町名
山手小学校区	劔谷、奥山、奥池町、奥池南町、山手町、山芦屋町、東芦屋町、西山町、三条町、大原町、船戸町、松ノ内町、月若町、西芦屋町、三条南町、上宮川町、業平町、前田町、清水町
朝日ヶ丘小学校区	朝日ヶ丘町、東山町
岩園小学校区	六麓荘町、岩園町、翠ヶ丘町、親王塚町、楠町
精道小学校区	茶屋之町、大榭町、公光町、川西町、津知町、竹園町、精道町、浜芦屋町、平田北町、伊勢町、松浜町、平田町
宮川小学校区	打出小槌町、宮塚町、若宮町、宮川町、浜町、西蔵町、呉川町
打出浜小学校区	春日町、打出町、南宮町、大東町
潮見小学校区	若葉町、緑町、潮見町、陽光町、海洋町、南浜町、涼風町
浜風小学校区	新浜町、浜風町、高浜町

## 5 性別・年代別回答状況

性別・年代別の人口の構成比について、母集団（令和7年（2025年）7月31日現在の各性別・各年代の実際の人口から0～17歳を除いた数値）と回答者の比率を比較すると、概ね実際の人口構成に近似した回答が得られています。

性別	年代	母集団		回答者		
		実数	比率	実数	比率	
男性	10歳代	954	1.2	11	0.9	
	20歳代	3,597	4.5	40	3.1	
	30歳代	3,252	4.0	40	3.1	
	40歳代	5,372	6.7	66	5.2	
	50歳代	7,398	9.2	119	9.3	
	60歳代	5,680	7.1	90	7.0	
	70歳代	5,426	6.7	89	7.0	
	80歳以上	3,751	4.7	57	4.5	
	無回答	—	—		0.0	
女性	10歳代	927	1.2	23	1.8	
	20歳代	3,785	4.7	58	4.5	
	30歳代	4,057	5.0	73	5.7	
	40歳代	6,564	8.2	128	10.0	
	50歳代	8,852	11.0	142	11.1	
	60歳代	6,871	8.5	106	8.3	
	70歳代	7,099	8.8	146	11.4	
	80歳以上	6,839	8.5	91	7.1	
	無回答	—	—	1	0.1	
計（男性・女性）		80,424	100.0	1,280	100.0	
男性・女性にあてはまらない	10歳代				0.0	
	20歳代				0.0	
	30歳代				0.0	
	40歳代				0.0	
	50歳代			2	100.0	
	60歳代				0.0	
	70歳代				0.0	
	80歳以上				0.0	
	無回答	—	—		0.0	
	計			0.0	2	100.0

性別	年代	母集団		回答者	
		実数	比率	実数	比率
回答しない	10歳代				0.0
	20歳代			2	20.0
	30歳代			1	10.0
	40歳代			3	30.0
	50歳代			3	30.0
	60歳代			1	10.0
	70歳代			0	0.0
	80歳以上			0	0.0
	無回答	—	—		0.0
	計			0.0	10
無回答	10歳代				0.0
	20歳代				0.0
	30歳代				0.0
	40歳代				0.0
	50歳代				0.0
	60歳代			1	100.0
	70歳代				0.0
	80歳以上				0.0
	無回答	—	—		0.0
	計			0.0	1
合計	10歳代	1,881	2.3	34	2.6
	20歳代	7,382	9.2	100	7.7
	30歳代	7,309	9.1	114	8.8
	40歳代	11,936	14.8	197	15.2
	50歳代	16,250	20.2	266	20.6
	60歳代	12,551	15.6	198	15.3
	70歳代	12,525	15.6	235	18.2
	80歳以上	10,590	13.2	148	11.4
	無回答	—	—	1	0.1
	計	80,424	100.0	1,293	100.0

## 6 標本誤差について

一般的に標本調査では、信頼度 95%のレベルでの結果を評価することが妥当とされています。信頼度 95%とは、同一の調査を 100 回実施した時に、そのうち 95 回はこの誤差の範囲に収まることを示しています。信頼度 95%における標本誤差は次の式で算出され、今回調査の標本誤差については下表のとおりとなります。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P \times (100-P)}{n}}$$

N：母集団数（令和7年（2025年）7月31日時点の18歳以上の男女80,424人）

n：標本数

P：測定値（回答の比率）

		母集団	P n	5% または 95%	10% または 90%	15% または 85%	20% または 80%	25% または 75%	30% または 70%	35% または 65%	40% または 60%	45% または 55%	50%
回答者総数		80,424	1,293	±1.2%	±1.6%	±1.9%	±2.2%	±2.3%	±2.5%	±2.6%	±2.6%	±2.7%	±2.7%
性別	男	35,430	512	±1.9%	±2.6%	±3.1%	±3.4%	±3.7%	±3.9%	±4.1%	±4.2%	±4.3%	±4.3%
	女	44,994	768	±1.5%	±2.1%	±2.5%	±2.8%	±3.0%	±3.2%	±3.3%	±3.4%	±3.5%	±3.5%
年代別	10歳代	1,881	34	±7.3%	±10.0%	±11.9%	±13.3%	±14.4%	±15.3%	±15.9%	±16.3%	±16.6%	±16.7%
	20歳代	7,382	100	±4.2%	±5.8%	±7.0%	±7.8%	±8.4%	±8.9%	±9.3%	±9.5%	±9.7%	±9.7%
	30歳代	7,309	114	±4.0%	±5.5%	±6.5%	±7.3%	±7.9%	±8.3%	±8.7%	±8.9%	±9.1%	±9.1%
	40歳代	11,936	197	±3.0%	±4.2%	±4.9%	±5.5%	±6.0%	±6.3%	±6.6%	±6.8%	±6.9%	±6.9%
	50歳代	16,250	266	±2.6%	±3.6%	±4.3%	±4.8%	±5.2%	±5.5%	±5.7%	±5.8%	±5.9%	±6.0%
	60歳代	12,551	198	±3.0%	±4.1%	±4.9%	±5.5%	±6.0%	±6.3%	±6.6%	±6.8%	±6.9%	±6.9%
	70歳代	12,525	235	±2.8%	±3.8%	±4.5%	±5.1%	±5.5%	±5.8%	±6.0%	±6.2%	±6.3%	±6.3%
80歳以上	10,590	148	±3.5%	±4.8%	±5.7%	±6.4%	±6.9%	±7.3%	±7.6%	±7.8%	±8.0%	±8.0%	
小学校区別	山手小学校区	16,895	255	±2.7%	±3.7%	±4.3%	±4.9%	±5.3%	±5.6%	±5.8%	±6.0%	±6.1%	±6.1%
	朝日ヶ丘小学校区	7,867	109	±4.1%	±5.6%	±6.7%	±7.5%	±8.1%	±8.5%	±8.9%	±9.1%	±9.3%	±9.3%
	岩園小学校区	11,117	183	±3.1%	±4.3%	±5.1%	±5.7%	±6.2%	±6.6%	±6.9%	±7.0%	±7.1%	±7.2%
	精道小学校区	11,130	189	±3.1%	±4.2%	±5.0%	±5.7%	±6.1%	±6.5%	±6.7%	±6.9%	±7.0%	±7.1%
	宮川小学校区	9,704	164	±3.3%	±4.6%	±5.4%	±6.1%	±6.6%	±7.0%	±7.2%	±7.4%	±7.5%	±7.6%
	打出浜小学校区	8,159	125	±3.8%	±5.2%	±6.2%	±7.0%	±7.5%	±8.0%	±8.3%	±8.5%	±8.7%	±8.7%
	潮見小学校区	9,504	160	±3.3%	±4.6%	±5.5%	±6.1%	±6.7%	±7.0%	±7.3%	±7.5%	±7.6%	±7.7%
浜風小学校区	6,048	88	±4.5%	±6.2%	±7.4%	±8.3%	±9.0%	±9.5%	±9.9%	±10.2%	±10.3%	±10.4%	

## 7 報告書の見方

- (1) 回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示しています。  
小数点第2位を四捨五入しているため、単一回答でも回答比率の合計が 100.0%にならない場合があります。  
また、複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- (2) 回答者数（n）が少ない場合は、統計的に有意でなく、結果の利用に注意が必要です。
- (3) 図表において、紙面の都合上、回答選択肢の見出しを簡略化している場合があります。
- (4) クロス集計では、無回答及び集計母数の少ない属性を除いて表示しているため、全体数のn値と属性ごとの回答数の合計が一致しない場合があります。

## 8 調査結果の概要

### I. 回答者自身について

回答者の性別・年代別および小学校区別の分布は、実際の比率に概ね近似しています。

性別は女性の回答が多く、年代では50歳代が最も多くなっています。家族構成は「夫婦のみ」、「親と子」が多くなっており、「一人暮らし」「夫婦のみ」の回答が令和3年（2021年）の前回調査より増加しています。居住年数は20年以上が最多で長期居住層からの回答が多くなっています。また、就労状況については、「正社員・正職員」が26.7%で最も多くなっていますが、「無職」や「専業主婦/主夫」、「パート・アルバイト・派遣職員・嘱託職員」もそれぞれ2割弱となっています。

### II. 地域との関わりについて

近所付き合いの程度は、「挨拶をする人がいる」が3割を超えて最も多くなっていますが、「世間話をする人がいる」、「困ったときは、相談できて助け合える人がいる」、「お互いの家を行き来する付き合いがある」という人も1～2割となっています。一方で、「ほとんど近所づきあいはない」、「全く近所づきあいが無い」を合わせると約2割となっています。地域のイベントや催しの情報の取得元については「市の広報紙」が主となっていますが、「地域の掲示板」のほか、「家族・友人・知人」の口コミにより情報を得ている人も3割強となっています。

過去3年間の地域の催しについては「参加したことがない」が最も多い一方、参加意向については「できれば参加したい」が過半数を占めています。行ったことがある地域の催しについて年齢別にみると、10歳代・30歳代・40歳代で「地域のお祭りやイベント」への参加が多くなっていますが、20歳代では「参加したことがない」が多くなっています。また、家族構成別にみると、「親と子（18歳未満の子あり）」では参加割合が多くなっています。

地域の催しに参加しやすくするためには、「初めてでも気軽に参加できる雰囲気がある」ことへのニーズが最も多くなっています。また、地域での活動を始める、もしくは続けるために必要なこととしては、「一緒に活動できる人がいる」ことが、6割弱で特に多くなっています。今後活動してみたいこととしては、「趣味や特技を生かした活動」、「防災に関する活動」、「こどもを対象とした活動」が2割を超えています。一方で「活動したいとは思わない」も2割を超えています。

地震など災害発生時における避難については、全体では「自分一人あるいは同居の家族の援助で避難できる」が8割を超えて最も多くなっています。一方で80歳以上では、この割合が54.7%となっており、誰かの声かけや援助を必要とする人が4割を超えています。自分や家族の安全が確保できた後にできそうな（またはできる）行動は、「近所への声かけや情報共有」が6割を超えて最も多く、また、災害発生時に地域の人を支援することについては、「積極的に支援したい」、「できる範囲で支援したい」の合計が7割弱である一方、「支援したいが自信がない」も約2割となっています。

### III. 人とのつながりについて

家族・親族以外に助け合える人が「いない」という人は前回調査より5.5ポイント減少し、15.3%となっています。助け合える相手は男女とも「市外の友人・知人」が最も多くなっていますが、女性は「近所の人」が8.5ポイント、「市内の友人・知人」が10.5ポイント男性よりも多く、男性は「対象となる人

はない」が6.5ポイント女性よりも多くなっています。

日常的に関わりやつながりを持っているコミュニティは、「仕事関係（同僚など）」、「趣味・スポーツなどのサークルやグループ」が上位を占めますが、「特にない」という人も3割弱となっています。また、人のつながりを増やすために必要なこととしては、「気軽に参加できる地域のイベント」や「趣味や関心ごとを軸としたグループやコミュニティ」を挙げる人が4割を超えて多く、次いで「居場所として気軽に立ち寄れる場所」が3割強となっています。

孤独感に関する設問では、「(時々・常に)人との付き合いがない」と感じる人が4割強となっています。女性よりも男性の方が人との付き合いがないと感じる人の割合が多く、年齢別では、30～40歳代で1割を超える人が、「常に人との付き合いがない」と回答しています。孤独に対して、「安心できる居場所がある」ことを求める人が最も多く、次いで「地域の人との交流の機会がある」、「市役所や専門機関で多様な相談を総合的に受け付けてもらえる」ことを必要と思う人も3割強となっています。また、居場所に求められることとしては、「気軽に立ち寄れて、いつでも帰れる」ことが5割弱で最も多く、次いで「時間を自由に過ごせる」、「健康・活力が維持できる」が4割前後となっています。

#### IV. 福祉に関する相談について

日頃不安に感じていることは、「体の健康」が5割を超えて最も多く、「災害」、「家計」、「防犯」が続きます。年齢別にみると、40歳代以上は「体の健康」が最多で、特に70歳代以上では6割を超えています。

困りごとの相談先については、「家族・親族」が75.5%、「友人・知人」が5割強と中心となっており、次いで「市役所」が16.0%となっています。相談時の困りごととしては、「特に困ることはない」が4割強で最も多くなっていますが、「どこに相談すればよいかわからない」も36.5%と多くなっています。福祉に関する相談先の選択肢について「どれも知らない」という回答も3割を超えています。

---

## Ⅱ 調査の結果

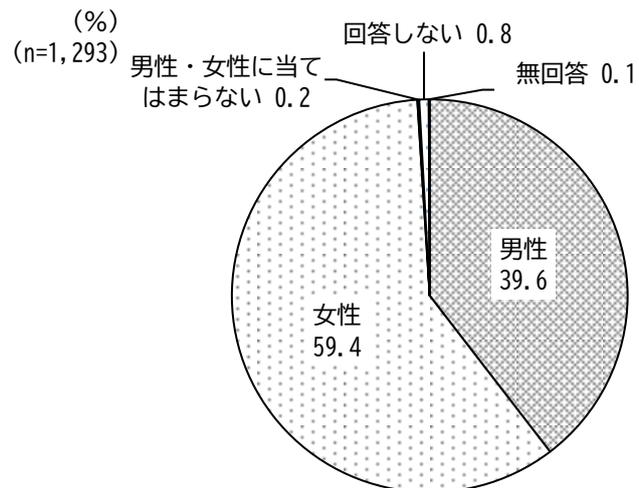
---

## I. 回答者自身について

### (1) 性別

問1 あなたの性別は、以下のうちどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

「女性」59.4%、「男性」39.6%で女性の回答が多くなっています。



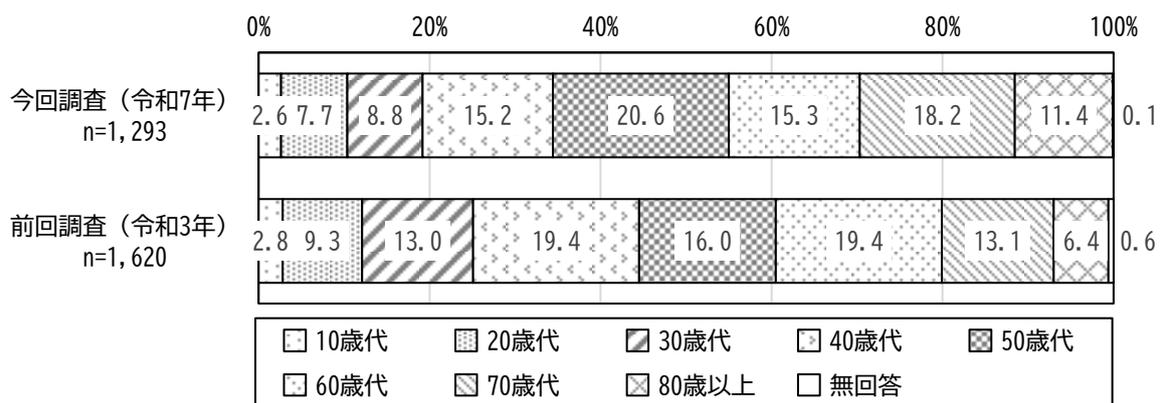
## (2) 年齢

問2 あなたの年齢は、以下のうちどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

### 【全体】

「50歳代」が20.6%で最も多く、次いで「70歳代」が18.2%、「60歳代」が15.3%となっています。

前回調査と比べて「50歳代」「70歳代」「80歳以上」の回答が多くなっています。



### 【性別】

男性で「50歳代」が23.2%、女性で「70歳代」が19.0%と最も多くなっています。

		n	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
全体		1,293	2.6	7.7	8.8	15.2	20.6	15.3	18.2	11.4	0.1
性別	男性	512	2.1	7.8	7.8	12.9	23.2	17.6	17.4	11.1	0.0
	女性	768	3.0	7.6	9.5	16.7	18.5	13.8	19.0	11.8	0.1

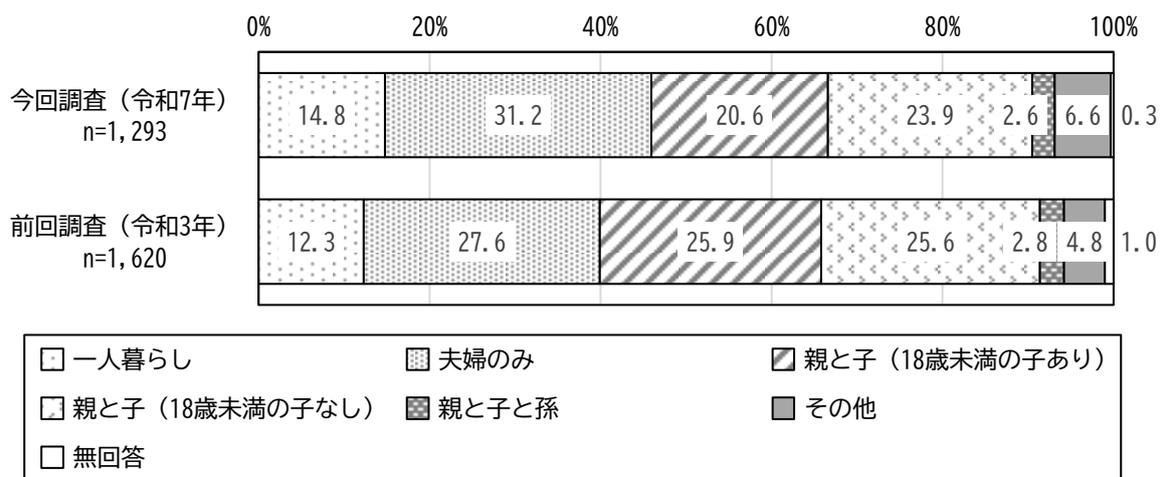
### (3) 家族構成

問3 あなたの同居されている家族構成は、以下のうちどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

#### 【全体】

「夫婦のみ」が31.2%で最も多く、次いで「親と子（18歳未満の子なし）」が23.9%、「親と子（18歳未満の子あり）」が20.6%となっています。

前回調査と比べて「一人暮らし」「夫婦のみ」が増加し、「親と子（18歳未満の子あり）」が減少しています。



#### ◇家族構成「その他」の主な回答

内 容		
兄弟・姉妹	その他の親族	友人
パートナー	同僚	グループホーム

など

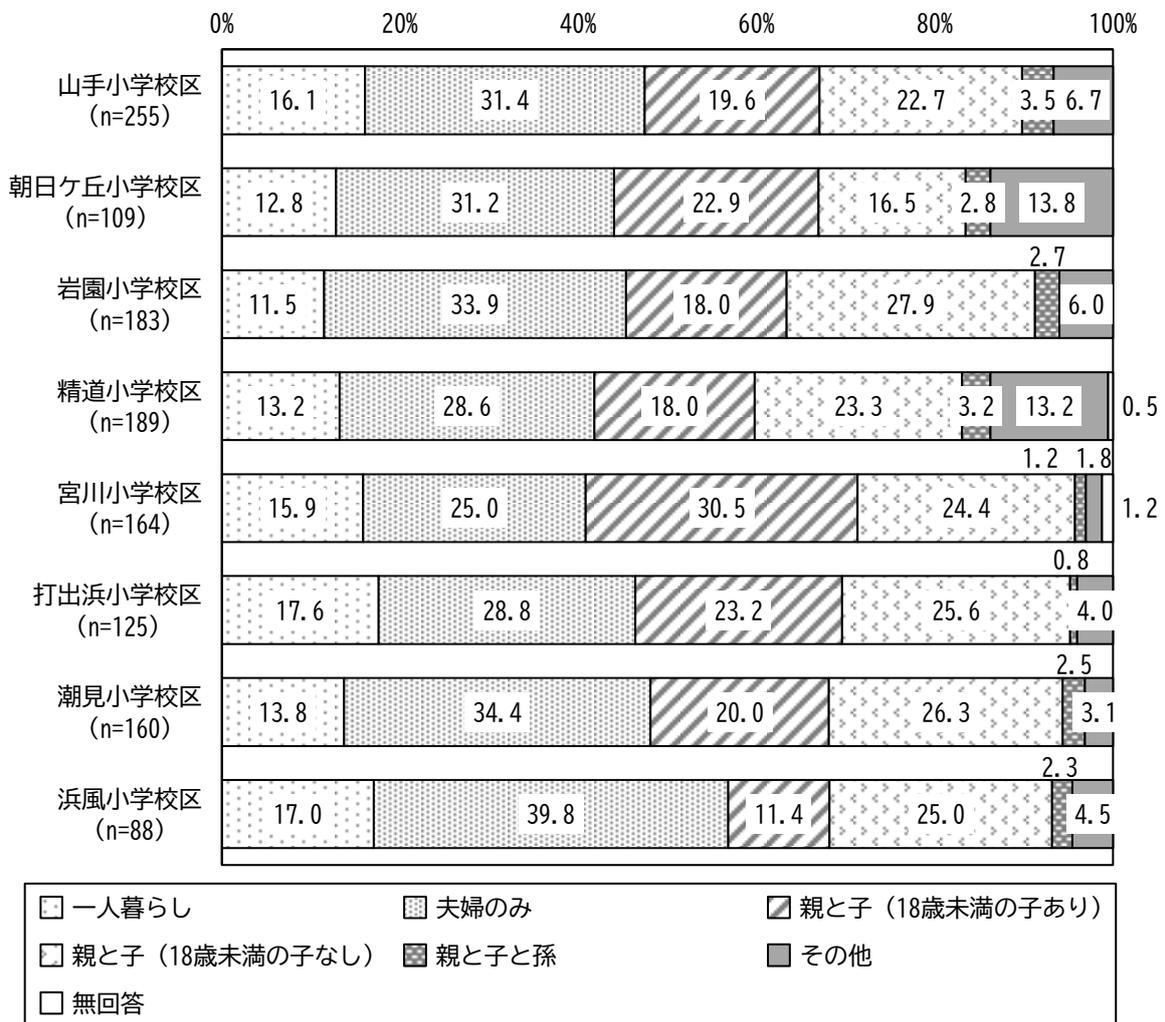
【年齢別】

60歳代以上で「夫婦のみ」の割合が多くなっています。

		(%)							
		n	一人暮らし	夫婦のみ	親と子（18歳未満の子あり）	親と子（18歳未満の子なし）	親と子と孫	その他	無回答
全体		1,293	14.8	31.2	20.6	23.9	2.6	6.6	0.3
年齢	10歳代	34	0.0	0.0	44.1	50.0	2.9	2.9	0.0
	20歳代	100	12.0	11.0	7.0	61.0	2.0	7.0	0.0
	30歳代	114	7.0	13.2	55.3	17.5	2.6	4.4	0.0
	40歳代	197	7.1	12.2	57.4	13.2	3.0	6.6	0.5
	50歳代	266	9.0	27.8	24.8	28.9	1.9	7.5	0.0
	60歳代	198	18.7	46.5	0.0	26.3	3.0	5.6	0.0
	70歳代	235	20.0	55.3	0.4	14.9	2.6	6.4	0.4
	80歳以上	148	33.1	37.8	1.4	14.2	3.4	8.8	1.4

【小学校区別】

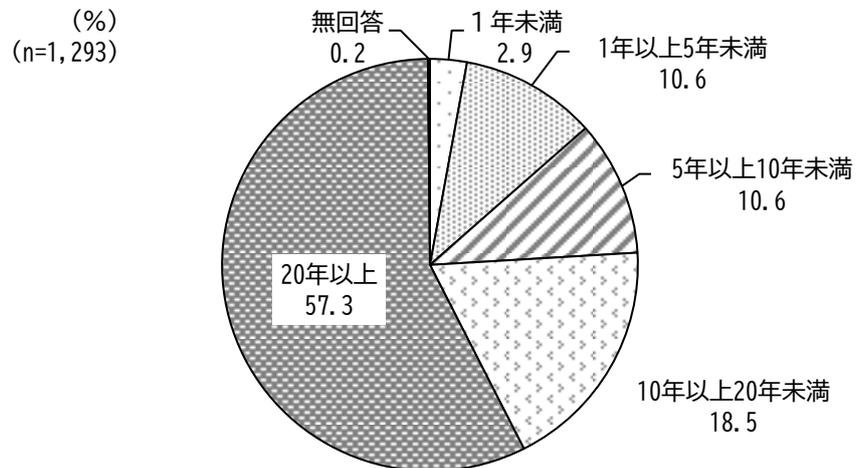
浜風小学校区で「一人暮らし」「夫婦のみ」が多くなっています。宮川小学校区は「親と子（18歳未満の子あり）」が多くなっています。



#### (4) 居住年数

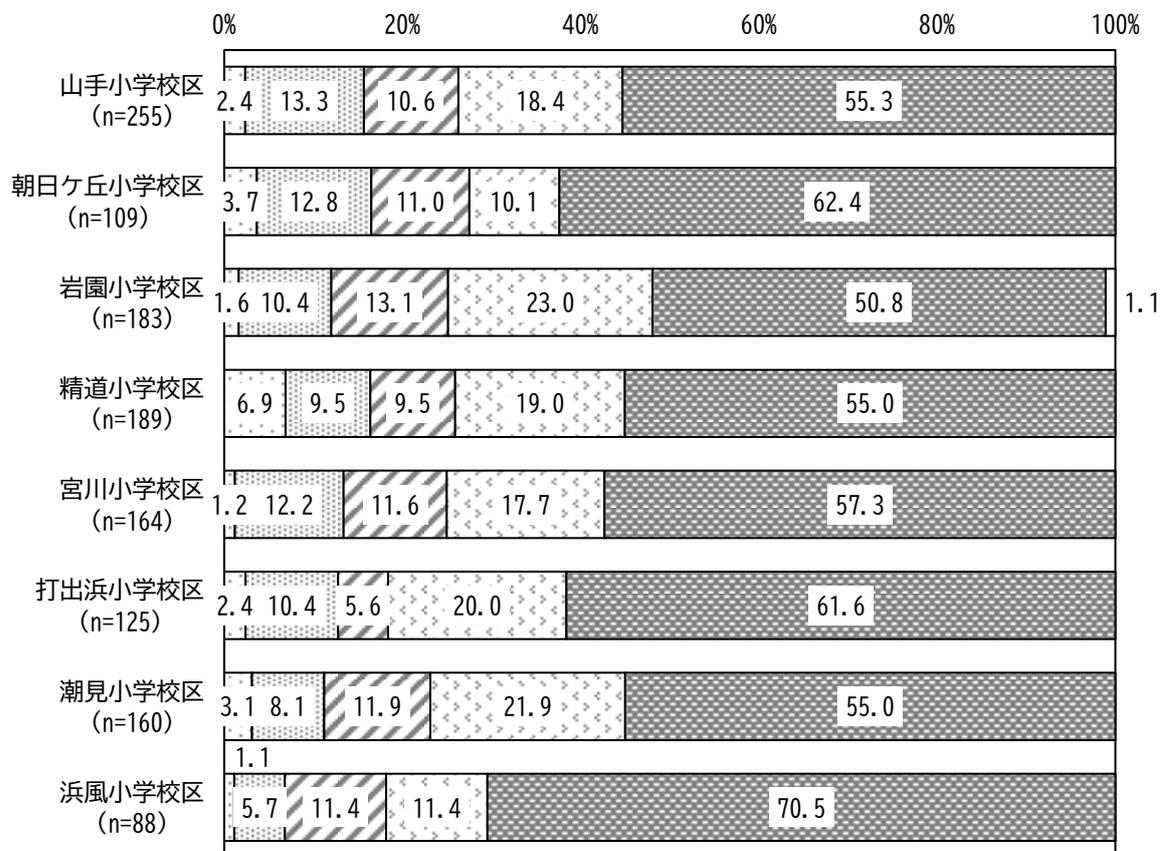
問4 あなたは、芦屋市に何年住んでいますか。(○は1つだけ)

「20年以上」が57.3%で最も多く、次いで「10年以上20年未満」が18.5%となっています。



#### 【小学校区別】

居住5年未満の人は「山手小学校区」「朝日ヶ丘小学校区」「精道小学校区」に比較的多く、居住20年以上の人は「浜風小学校区」が多くなっています。



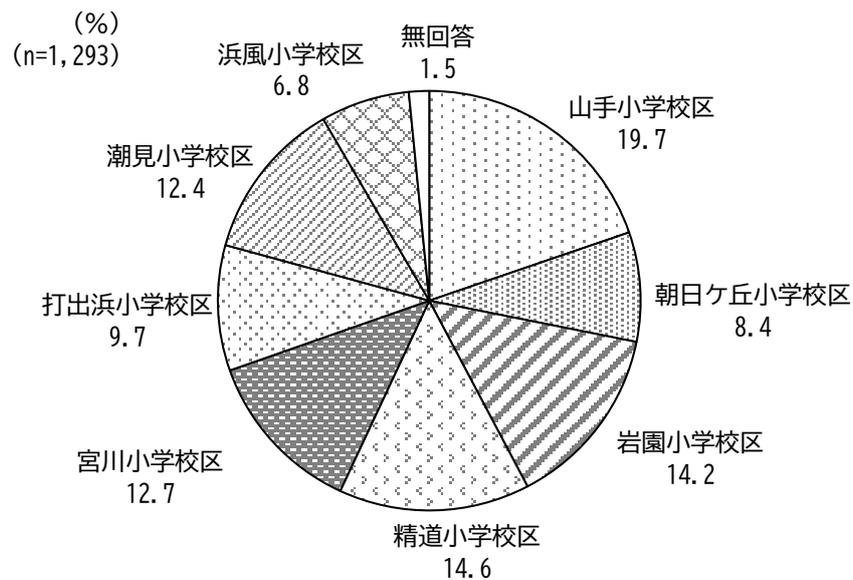
□ 1年未満 □ 1年以上5年未満 □ 5年以上10年未満 □ 10年以上20年未満 □ 20年以上 □ 無回答

## (5) 居住小学校区

問5 あなたは、現在、どちらにお住まいですか。(住んでいる町名を記載)

### 【全体】

「山手小学校区」が 19.7%で最も多く、次いで「精道小学校区」が 14.6%、「岩園小学校区」が 14.2%となっています。

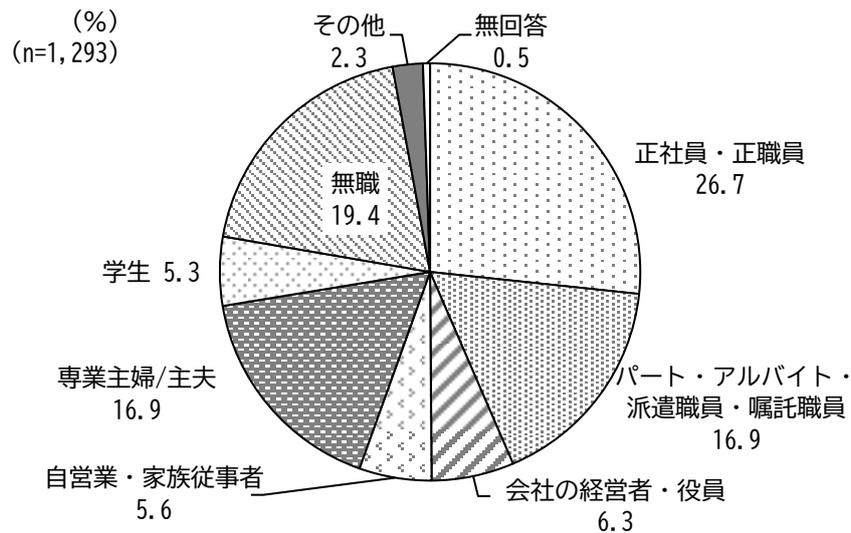


## (6) 就労状況

問6 あなたの主なお仕事は、以下のうちどれにあてはまりますか。(主なものに1つだけ○)

### 【全体】

「正社員・正職員」が26.7%で最も多く、次いで「無職」が19.4%、「専業主婦/主夫」及び「パート・アルバイト・派遣職員・嘱託職員」が16.9%となっています。



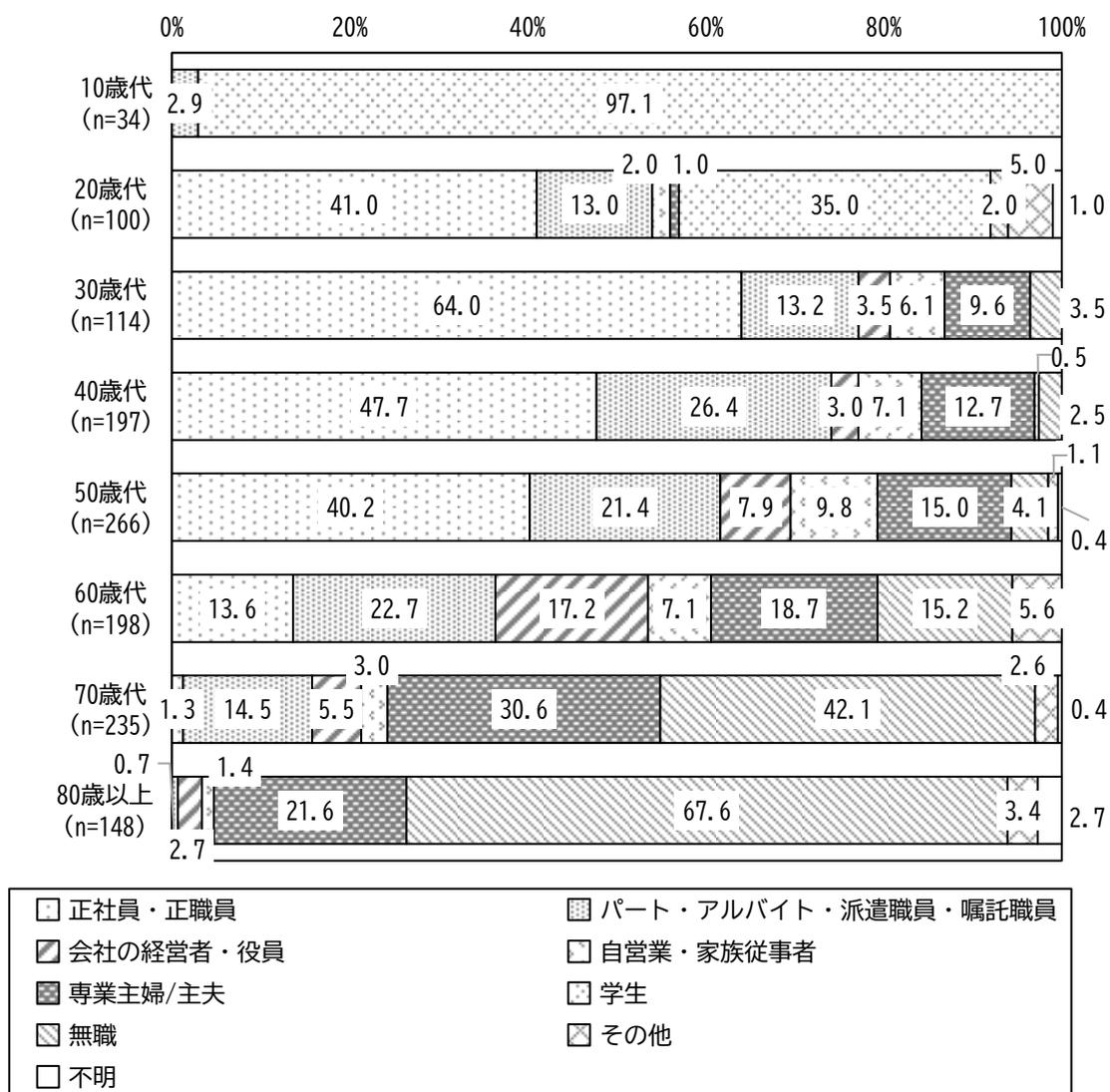
### ◇就労状況「その他」の主な回答

内容	
シルバー人材センター	年金暮らし
実習生	自由業
特養入所	

など

### 【年齢別】

何らかの形で就労している人は、10歳代で2.9%、20歳代で56.0%、30歳代で86.8%、40歳代で84.2%、50歳代で79.3%、60歳代で60.6%、70歳代で24.3%、80歳代で4.8%となっています。



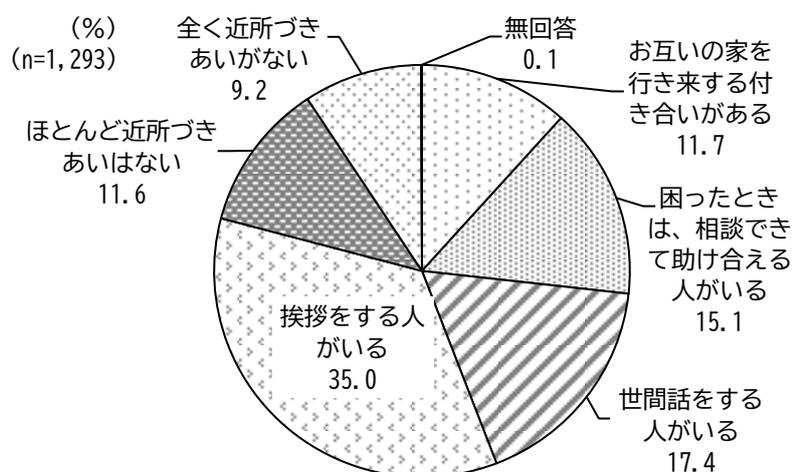
## Ⅱ. 地域との関わりについて

### (1) 近所づきあいの程度

問7 あなたの隣近所（歩いて行ける範囲）に、どの程度のおつきあいの人がいますか。（○は1つだけ）

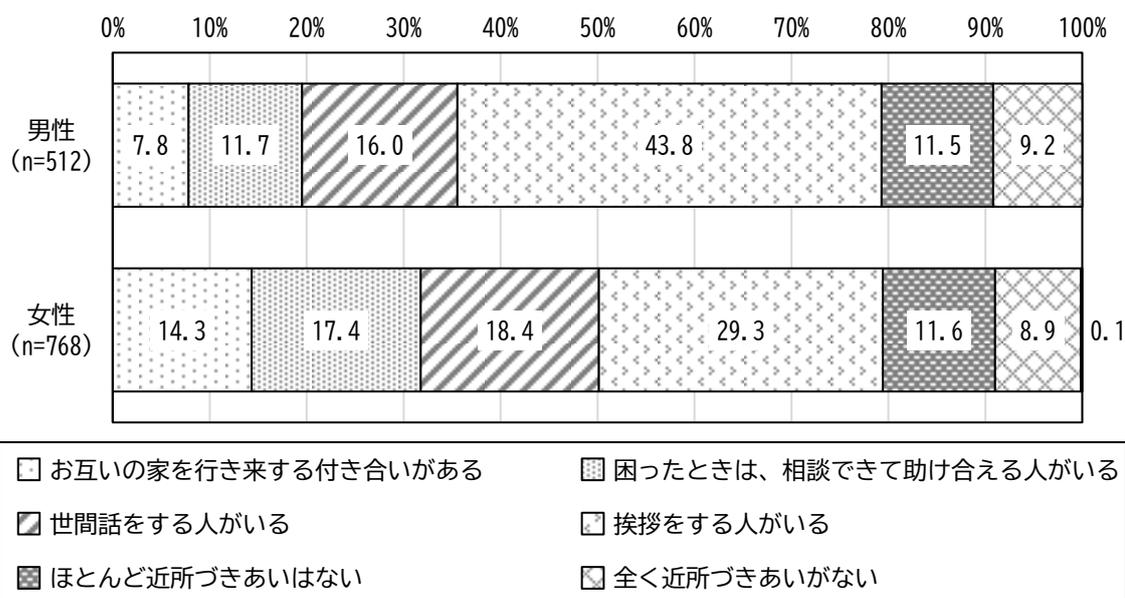
#### 【全体】

「挨拶をする人がいる」が35.0%で最も多く、次いで「世間話をする人がいる」が17.4%、「困ったときは、相談できて助け合える人がいる」が15.1%となっています。



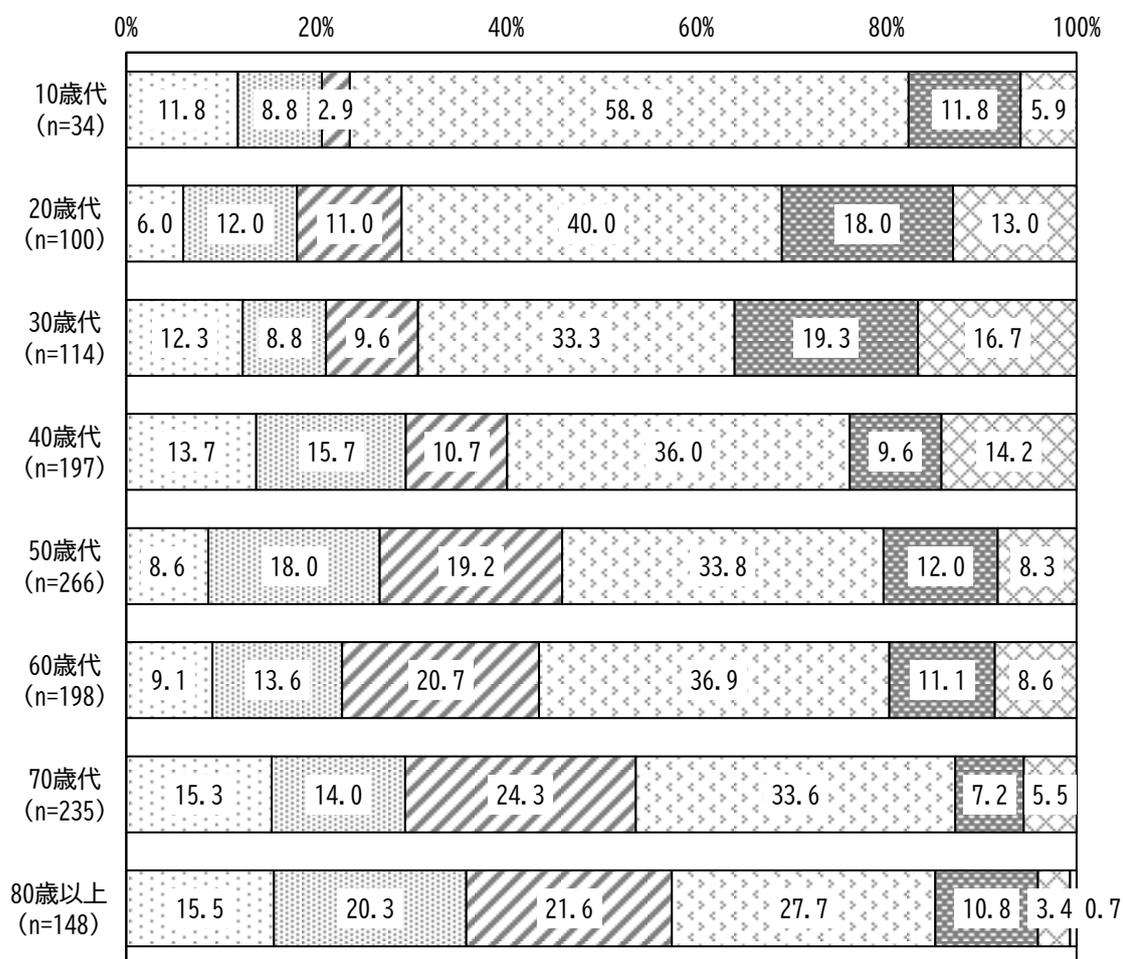
#### 【性別】

女性の方が男性より「お互いの家を行き来する付き合いがある」では6.5ポイント、「困ったときは、相談できて助け合える人がいる」では5.7ポイント多くなっています。



【年齢別】

「お互いの家を行き来する付き合いがある」、「困ったときは、相談できて助け合える人がある」、「世間話をする人がある」の合計は、概ね年代が高くなるほど多くなり、10歳代と80歳以上では、33.9ポイントの差があります。

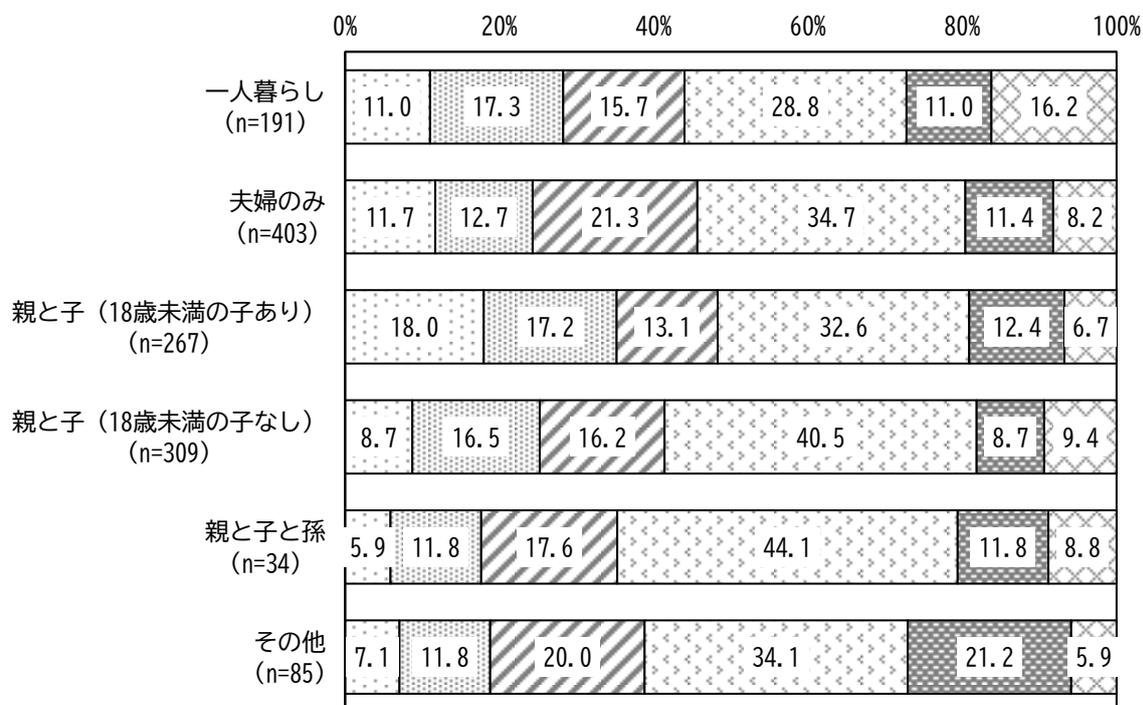


- お互いの家を行き来する付き合いがある
- 困ったときは、相談できて助け合える人がある
- 世間話をする人がある
- 挨拶をする人がある
- ほとんど近所づきあいはない
- 全く近所づきあいがない
- 無回答

### 【家族構成別】

親と子（18歳未満の子あり）の「お互いの家を行き来する付き合いがある」の割合が他の家族構成と比較して多くなっています。

また、一人暮らしの人は「全く近所づきあいがない」の割合が、他の家族構成と比較して多い一方、「困った時は、相談できて助け合える人がある」の割合も比較的多くなっています。



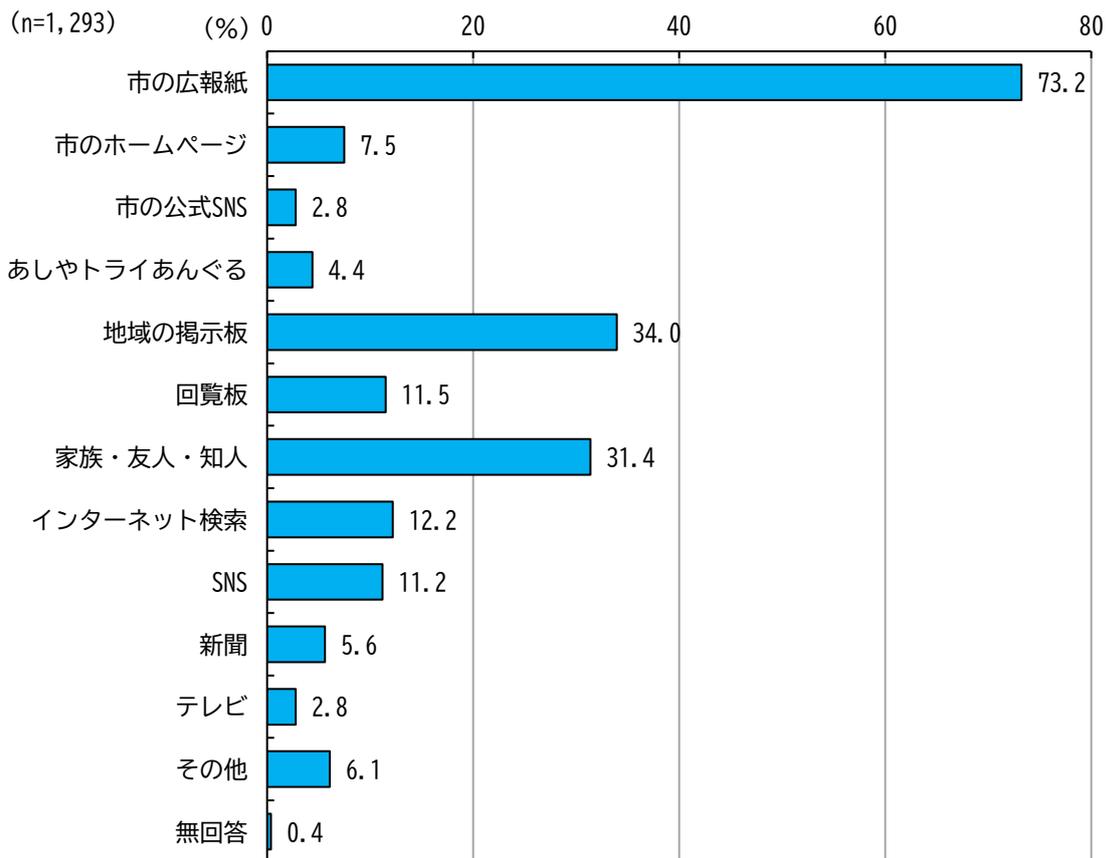
- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> お互いの家を行き来する付き合いがある | <input type="checkbox"/> 困ったときは、相談できて助け合える人がある |
| <input type="checkbox"/> 世間話をする人がある         | <input type="checkbox"/> 挨拶をする人がある             |
| <input type="checkbox"/> ほとんど近所づきあいはない      | <input type="checkbox"/> 全く近所づきあいがない           |
| <input type="checkbox"/> 無回答                |  |

## (2) 地域のイベントや催しの情報の取得先

問8 あなたは普段、お住いの地域のイベントや催しの情報をどこから得ることが多いですか。  
(○は3つまで)

### 【全体】

「市の広報紙」が73.2%で最も多く、次いで「地域の掲示板」が34.0%、「家族・友人・知人」が31.4%となっています。



◇地域のイベントや催しの情報をどこから得ることが多いか 「その他」の主な回答

内容
地域の団体や組織等（自治会・コミスク・民生委員等）から（広報物含む）（17件）
SNS、ネット、アプリから（15件）
保育園・学校等からのチラシや手紙（14件）
郵便物・ポスティング、折込チラシ（9件）
公共施設・機関から（広報物含む）（7件）

など

## 【年齢別】

「市の広報紙」の利用は30歳代以上で5割を超え、60歳代以上では8割を超えて多くなっています。

10歳代、20歳代では「家族・友人・知人」から情報を得ている割合が4割を超えて最も多く、次いで10歳代では「地域の掲示板」、20歳代では「市の広報紙」が多くなっています。また、「SNS」の割合は10歳代で32.4%、20歳代で23.0%を示していますが、「市の公式SNS」の利用は10歳代で2.9%、20歳代で2.0%と大幅に少なく、30歳代の7.9%が、全年代中最も多い割合となっています。

(%)

	n	市の広報紙	市のホームページ	市の公式SNS	あしやぐる	地域の掲示板	回覧板	家族・友人・知人	インターネット検索	SNS	新聞	テレビ	その他	無回答	
全体	1,293	73.2	7.5	2.8	4.4	34.0	11.5	31.4	12.2	11.2	5.6	2.8	6.1	0.4	
年齢	10歳代	34	26.5	2.9	0.0	35.3	5.9	47.1	5.9	32.4	0.0	0.0	2.9	0.0	
	20歳代	100	42.0	4.0	1.0	33.0	4.0	43.0	10.0	23.0	2.0	2.0	2.0	1.0	
	30歳代	114	59.6	6.1	7.9	1.8	36.8	2.6	38.6	17.5	22.8	0.0	1.8	9.6	0.0
	40歳代	197	72.6	7.1	5.6	5.1	33.0	6.6	35.0	18.3	18.3	2.5	0.0	9.1	0.0
	50歳代	266	72.2	9.4	1.9	2.6	28.9	12.8	27.4	17.7	10.5	2.3	3.8	8.3	0.8
	60歳代	198	82.8	9.1	1.5	6.1	33.8	14.1	21.7	12.6	7.6	4.5	1.0	3.5	0.0
	70歳代	235	87.7	9.4	2.1	6.0	40.4	17.4	29.8	5.5	2.6	11.1	3.0	3.8	0.4
	80歳以上	148	82.4	4.1	0.0	7.4	32.4	16.2	32.4	3.4	0.0	16.9	8.8	6.1	0.7

【就労状況別】

専業主婦/主夫、無職で「市の広報紙」の割合が8割を超えて多くなっています。

(%)

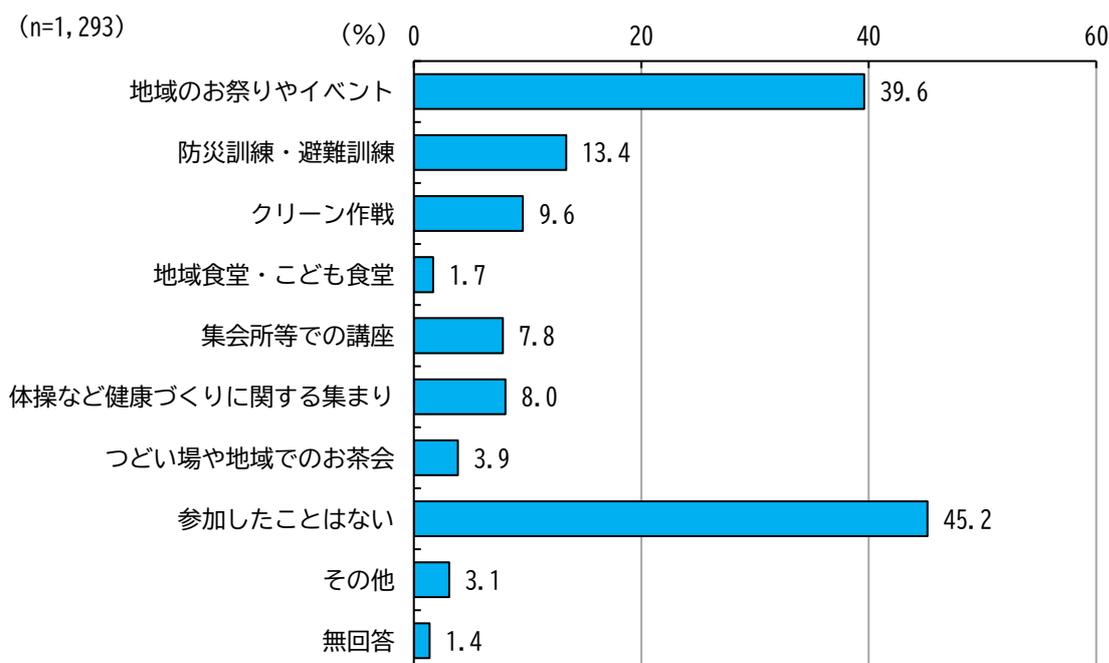
		n	市の 広報 紙	パ ー ジ の ホ ー ム	S N S の 公 式	あ ん ぐ る あ し や ト ラ イ	地 域 の 掲 示 板	回 覧 板	知 家 族 人 ・ 友 人 ・
全体		1,293	73.2	7.5	2.8	4.4	34.0	11.5	31.4
就 労 状 況	正社員・正職員	345	65.2	9.3	3.8	3.5	32.2	8.4	33.6
	パート・アルバイト・派遣職員・嘱託職	218	79.4	6.9	1.8	6.9	40.4	8.3	31.2
	会社の経営者・役員	82	74.4	9.8	3.7	2.4	18.3	13.4	23.2
	自営業・家族従事者	72	66.7	5.6	4.2	4.2	34.7	13.9	30.6
	専業主婦/主夫	219	85.4	5.9	3.7	5.5	37.0	14.6	25.6
	学生	69	30.4	2.9	2.9	0.0	37.7	5.8	52.2
	無職	251	82.9	7.6	1.2	4.8	32.3	16.3	31.5
	その他	30	70.0	13.3	0.0	3.3	36.7	13.3	23.3
		n	ト イ ン タ ー ネ ッ	S N S	新 聞	テ レ ビ	そ の 他	無 回 答	
全体		1,293	12.2	11.2	5.6	2.8	6.1	0.4	
就 労 状 況	正社員・正職員	345	17.7	14.8	2.0	1.7	8.1	0.3	
	パート・アルバイト・派遣職員・嘱託職	218	13.3	14.2	3.7	1.4	4.1	0.5	
	会社の経営者・役員	82	17.1	17.1	3.7	1.2	9.8	0.0	
	自営業・家族従事者	72	19.4	11.1	4.2	1.4	6.9	0.0	
	専業主婦/主夫	219	11.0	6.4	7.3	4.1	5.5	0.5	
	学生	69	4.3	29.0	0.0	1.4	1.4	0.0	
	無職	251	3.6	2.4	14.3	5.2	5.2	0.4	
	その他	30	13.3	3.3	0.0	6.7	10.0	0.0	

### (3) 3年間で行ったことがある地域の催し

問9 あなたは、この3年間で行ったことがあるものはどれですか。(〇はいくつでも)

#### 【全体】

「参加したことはない」が45.2%で最も多く、次いで「地域のお祭りやイベント」が39.6%となっています。



#### 【性別】

男性、女性ともに「参加したことはない」の割合が多くなっています。

「集会所等での講座」、「体操など健康づくりに関する集まり」は女性の方の割合が男性よりもわずかに多くなっていますが、性別による大きな参加の差は見られません。

(%)

		n	地域のお祭りやイベント	防災訓練・避難訓練	クリーン作戦	こども食堂・地域食堂	集会所等での講座	体操など健康づくりに関する集まり	つどい場や地域でのお茶会	参加したことはない	その他	無回答
全体		1,293	39.6	13.4	9.6	1.7	7.8	8.0	3.9	45.2	3.1	1.4
性別	男性	512	38.5	13.3	9.6	2.0	6.3	5.9	3.3	47.9	2.9	1.2
	女性	768	40.6	13.5	9.6	1.6	8.9	9.6	4.2	42.8	3.3	1.6

### 【年齢別】

10歳代、30歳代で「地域のお祭りやイベント」の割合が6割を超えて多くなっています。

20歳代で「参加したことがない」の割合が6割を超えて多くなっています。

(%)

	n	地域のお祭りやイベント	防災訓練・避難訓練	クリーン作戦	地域食堂・こども食堂	集会所等での講座	体操など健康づくりに関する集まり	お茶会	ついで場や地域での	参加したことはない	その他	無回答
全体	1,293	39.6	13.4	9.6	1.7	7.8	8.0	3.9	45.2	3.1	1.4	
年齢	10歳代	34	67.6	2.9	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	32.4	0.0	0.0
	20歳代	100	33.0	6.0	3.0	2.0	1.0	2.0	2.0	64.0	0.0	0.0
	30歳代	114	66.7	7.9	3.5	0.0	3.5	2.6	1.8	27.2	4.4	0.0
	40歳代	197	59.9	15.2	11.2	3.0	3.0	3.6	2.0	34.0	3.0	1.5
	50歳代	266	33.8	12.8	6.8	0.8	3.4	4.5	3.0	53.0	4.5	1.1
	60歳代	198	26.8	11.6	12.6	1.5	3.5	4.0	1.5	56.6	1.5	1.0
	70歳代	235	34.5	17.0	14.0	1.7	15.3	15.7	5.1	42.6	3.0	1.3
	80歳以上	148	25.0	20.3	12.2	3.4	25.0	23.6	12.8	39.2	4.7	4.7

### 【家族構成別】

親と子（18歳未満の子あり）で「地域のお祭りやイベント」の割合が7割近くで多くなっています。

(%)

	n	地域のお祭りやイベント	防災訓練・避難訓練	クリーン作戦	地域食堂・こども食堂	集会所等での講座	体操など健康づくりに関する集まり	お茶会	ついで場や地域での	参加したことはない	その他	無回答
全体	1,293	39.6	13.4	9.6	1.7	7.8	8.0	3.9	45.2	3.1	1.4	
家族構成	一人暮らし	191	27.7	12.6	8.9	3.1	11.0	11.0	8.4	51.8	2.6	2.1
	夫婦のみ	403	30.8	13.4	11.2	1.2	11.4	9.2	3.2	49.4	3.5	1.7
	親と子（18歳未満の子あり）	267	69.3	16.1	8.2	1.9	3.0	5.6	2.6	25.1	3.0	0.4
	親と子（18歳未満の子なし）	309	33.3	12.3	9.7	1.6	4.2	6.8	2.6	52.1	2.9	1.3
	親と子と孫	34	44.1	5.9	14.7	2.9	11.8	14.7	2.9	44.1	8.8	0.0
	その他	85	36.5	14.1	4.7	0.0	9.4	4.7	5.9	48.2	1.2	1.2

【小学校区別】

潮見小学校区で「地域のお祭りやイベント」の割合が5割を超えて多くなっています。

潮見小学校区と浜風小学校区以外の校区で、「参加したことがない」の割合が最も多くなっています。

(%)

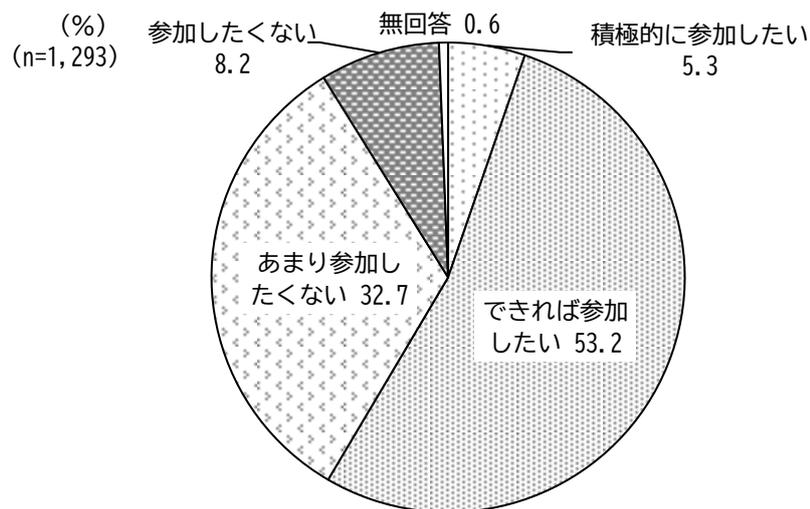
	n	地域のお祭りやイベント	防災訓練・避難訓練	クリーン作戦	地域食堂・こども食堂	集会所等での講座	体操など健康づくりに関する集まり	お茶会	つどいや地域での参加したことはない	その他	無回答	
全体	1,293	39.6	13.4	9.6	1.7	7.8	8.0	3.9	45.2	3.1	1.4	
小学校区	山手小学校区	255	34.5	11.8	12.2	0.0	6.7	4.3	2.4	49.4	3.5	2.0
	朝日ヶ丘小学校区	109	35.8	11.0	2.8	0.0	9.2	5.5	4.6	50.5	4.6	0.9
	岩園小学校区	183	37.2	7.1	8.2	0.5	8.7	5.5	4.4	52.5	3.8	0.0
	精道小学校区	189	41.3	10.6	7.4	0.0	10.1	11.6	4.2	46.0	2.1	0.5
	宮川小学校区	164	39.6	18.9	8.5	2.4	6.7	9.8	4.9	40.9	1.8	2.4
	打出浜小学校区	125	39.2	16.0	4.8	0.0	4.8	10.4	4.8	47.2	2.4	0.8
	潮見小学校区	160	51.3	16.9	13.1	4.4	8.1	10.0	3.1	32.5	3.8	1.9
	浜風小学校区	88	43.2	19.3	21.6	11.4	9.1	10.2	4.5	34.1	3.4	1.1

#### (4) 地域の催しへの参加意向

問 10 あなたは、お住いの地域の催しに参加することについてどう考えますか。(○は1つだけ)

##### 【全体】

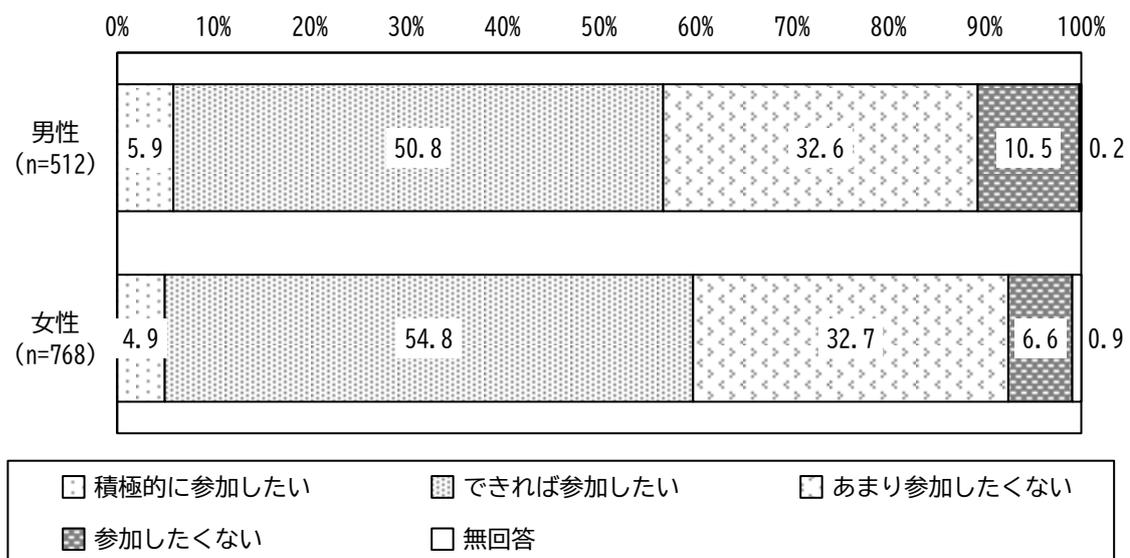
「できれば参加したい」が53.2%で最も多く、次いで「あまり参加したくない」が32.7%となっています。



##### 【性別】

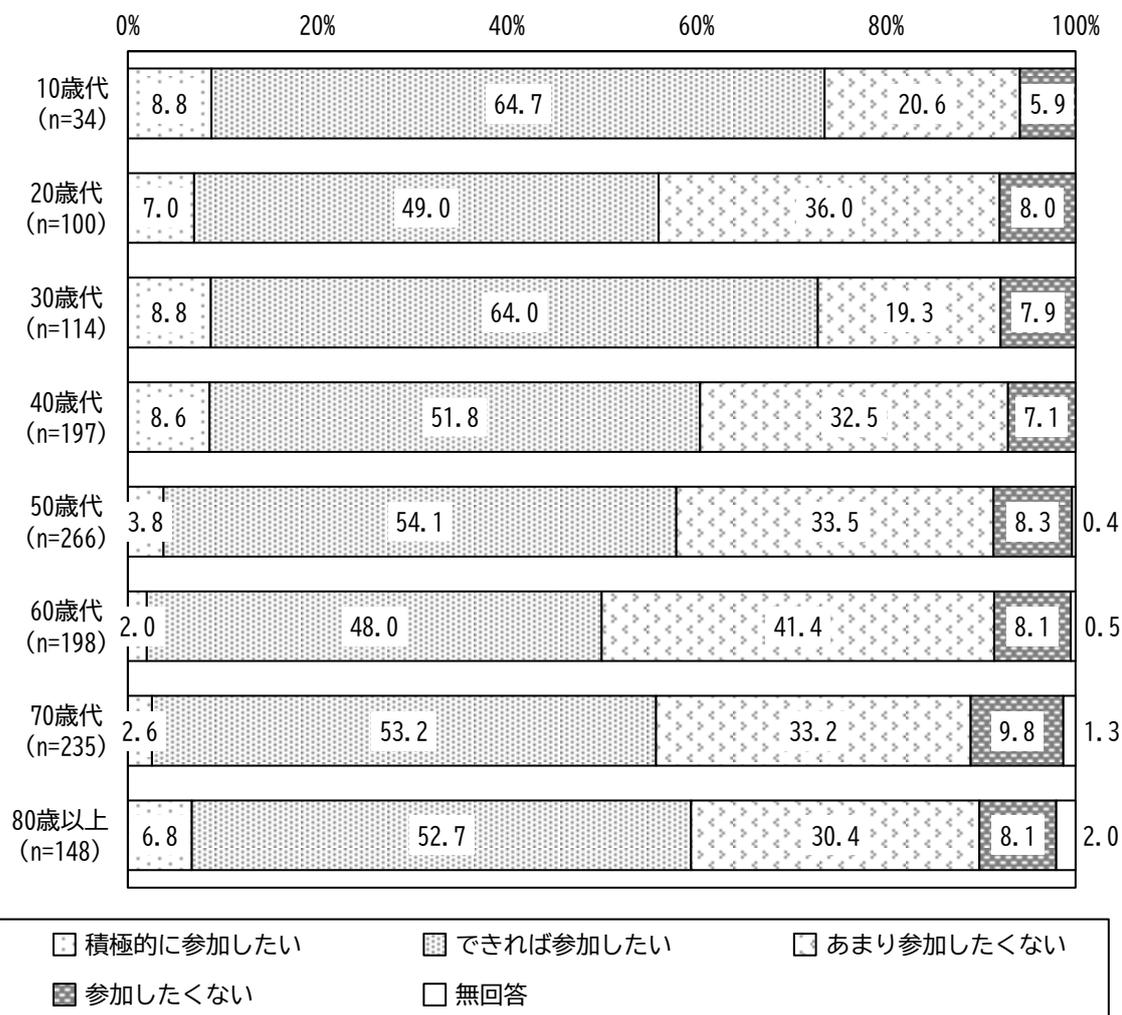
男性と女性ともに「できれば参加したい」の割合が5割を超えて多くなっていますが、「あまり参加したくない」「参加したくない」という意見が合わせてそれぞれ約4割を占めます。

「参加したくない」の割合は、男性の方がわずかに多くなっていますが、性別による大きな差は見られません。



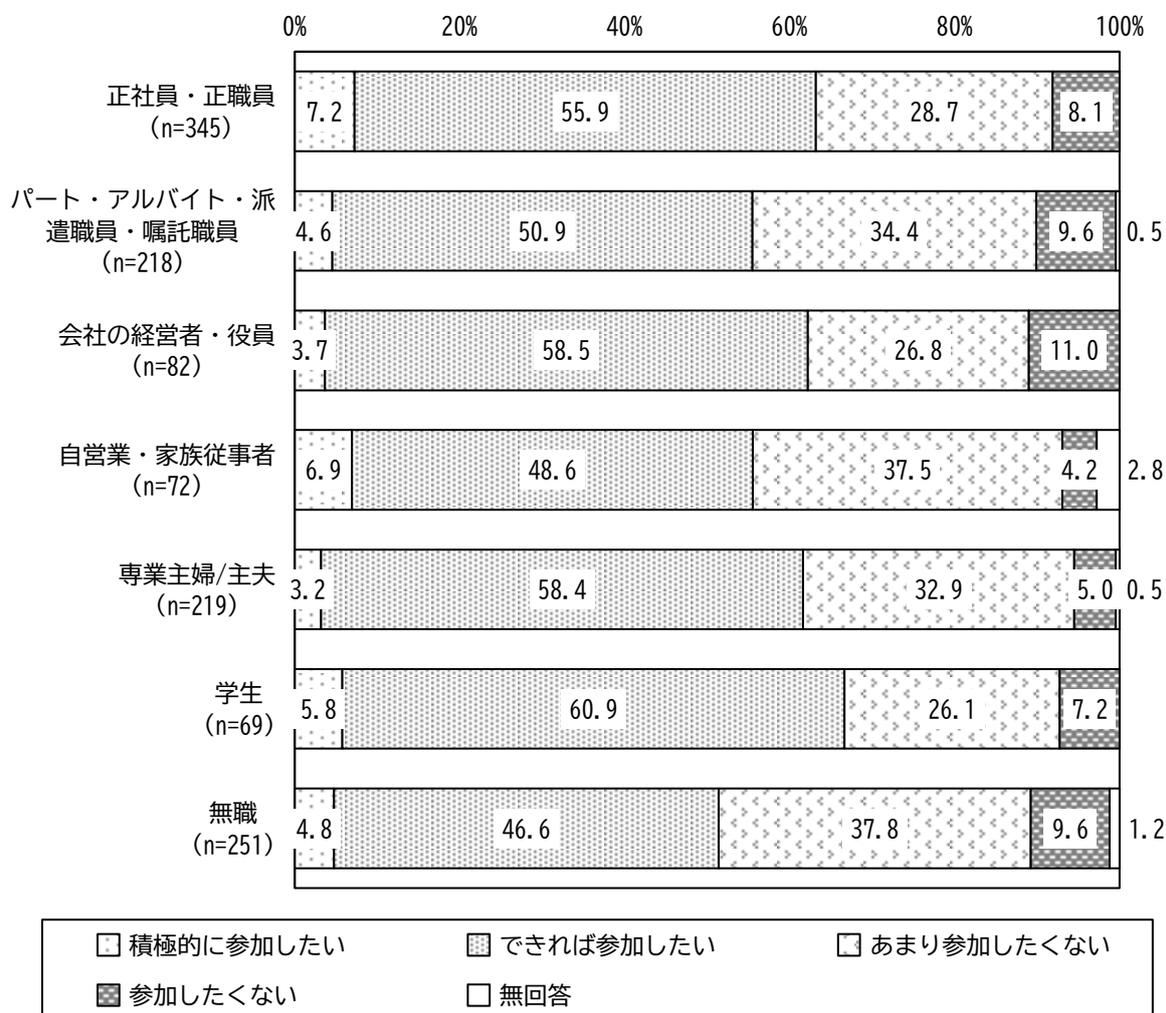
【年齢別】

10 歳代、30 歳代で「できれば参加したい」の割合が6割を超えて多くなっています。



【就労状況別】

学生で「できれば参加したい」の割合が6割を超えて多くなっています。「あまり参加したくない」「参加したくない」の割合は「無職」で多く、「パート・アルバイト・派遣社員・嘱託職員」「自営業・家族従事者」でも比較的多くなっています。

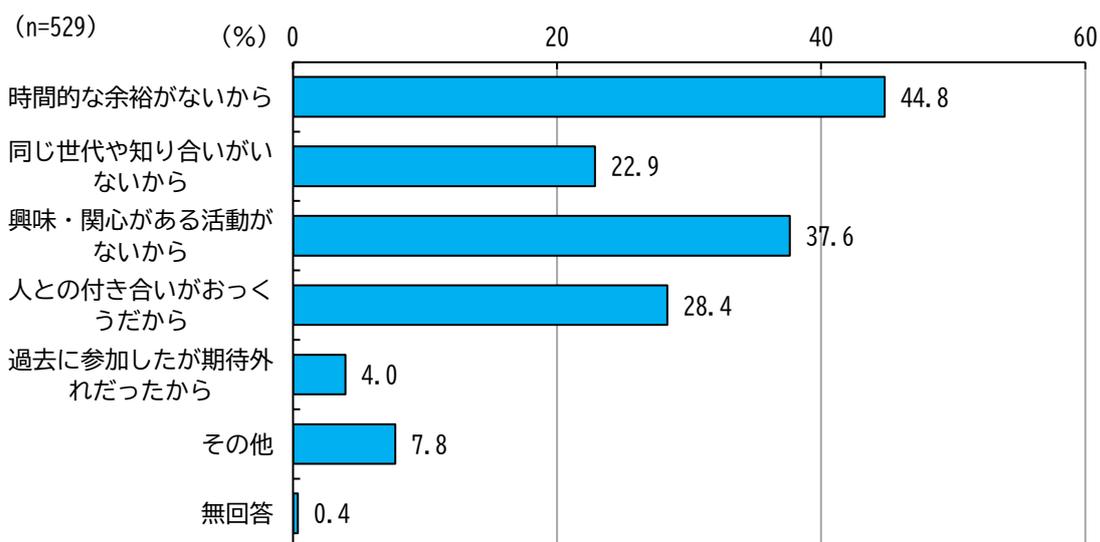


問11 問10で「3. あまり参加したくない」または「4. 参加したくない」を選択した方におたずねします。

参加を希望されない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【全体】

「時間的な余裕がないから」が44.8%で最も多く、次いで「興味・関心がある活動がないから」が37.6%となっています。



◇参加を希望しない理由 「その他」の主な回答

内 容
体調の課題（病気療養中・老化等）（21件）
人とのコミュニケーションの課題（苦手な住民がいる、意見の相違、参加しにくい雰囲気等）（6件）

など

【性別】

男性は女性と比べて「同じ世代や知り合いがないから」「興味・関心がある活動がないから」「人との付き合いがおっくうだから」の割合が大きくなっています。

(%)

		n	か時 間的 な余 裕が ない	が同 じ世 代や 知り 合い	活興 動が ない から ある	お人 との 付き 合い が	期過 待外 に参 加し たた から	そ の 他	無 回 答
全体		529	44.8	22.9	37.6	28.4	4.0	7.8	0.4
性別	男性	221	42.1	26.7	42.1	33.9	6.3	5.0	0.0
	女性	302	47.4	19.5	34.1	24.5	2.3	9.6	0.7

【年齢別】

10歳代から60歳代までは「時間的な余裕がないから」、10歳代と70歳代以上では「興味・関心がある活動がないから」が多くなっています。「人との付き合いがおっくうだから」は30歳代以上で多くなる一方、10歳代から30歳代、80歳代では「同じ世代や知り合いがないから」が多くなっています。

(%)

		n	か時 間的 な余 裕が ない	が同 じ世 代や 知り 合い	活興 動が ない から ある	お人 との 付き 合い が	期過 待外 に参 加し たた から	そ の 他	無 回 答
全体		529	44.8	22.9	37.6	28.4	4.0	7.8	0.4
年齢	10歳代	9	66.7	33.3	66.7	0.0	11.1	0.0	0.0
	20歳代	44	70.5	34.1	36.4	13.6	0.0	0.0	0.0
	30歳代	31	51.6	35.5	35.5	45.2	0.0	0.0	0.0
	40歳代	78	52.6	23.1	37.2	30.8	3.8	6.4	0.0
	50歳代	111	62.2	19.8	31.5	27.0	2.7	7.2	0.0
	60歳代	98	43.9	21.4	41.8	28.6	3.1	2.0	0.0
	70歳代	101	22.8	15.8	41.6	34.7	7.9	13.9	0.0
	80歳以上	57	14.0	26.3	33.3	22.8	5.3	21.1	3.5

### 【小学校区別】

潮見小学校区、浜風小学校区では「興味・関心がある活動がないから」、そのほかの小学校区では「時間的な余裕がないから」が最も多くなっています。

		n	(%)							
			か 時 間 的 な 余 裕 が な い	が 同 じ 世 代 や 知 り 合 い	活 動 が な い か ら	興 味 ・ 関 心 が あ る	お と の 付 き 合 い が	期 外 に 参 加 し た か ら	過 去 に 参 加 し た か ら	そ の 他
全体		529	44.8	22.9	37.6	28.4	4.0	7.8	0.4	
小 学 校 区	山手小学校区	112	42.0	20.5	37.5	26.8	4.5	5.4	0.9	
	朝日ヶ丘小学校区	46	39.1	19.6	32.6	37.0	6.5	10.9	0.0	
	岩園小学校区	75	48.0	22.7	36.0	26.7	2.7	9.3	1.3	
	精道小学校区	70	47.1	25.7	42.9	22.9	5.7	7.1	0.0	
	宮川小学校区	66	57.6	16.7	28.8	31.8	1.5	7.6	0.0	
	打出浜小学校区	55	50.9	30.9	40.0	27.3	0.0	5.5	0.0	
	潮見小学校区	57	29.8	29.8	40.4	31.6	3.5	10.5	0.0	
	浜風小学校区	36	33.3	16.7	50.0	27.8	11.1	8.3	0.0	

### 【就労状況別】

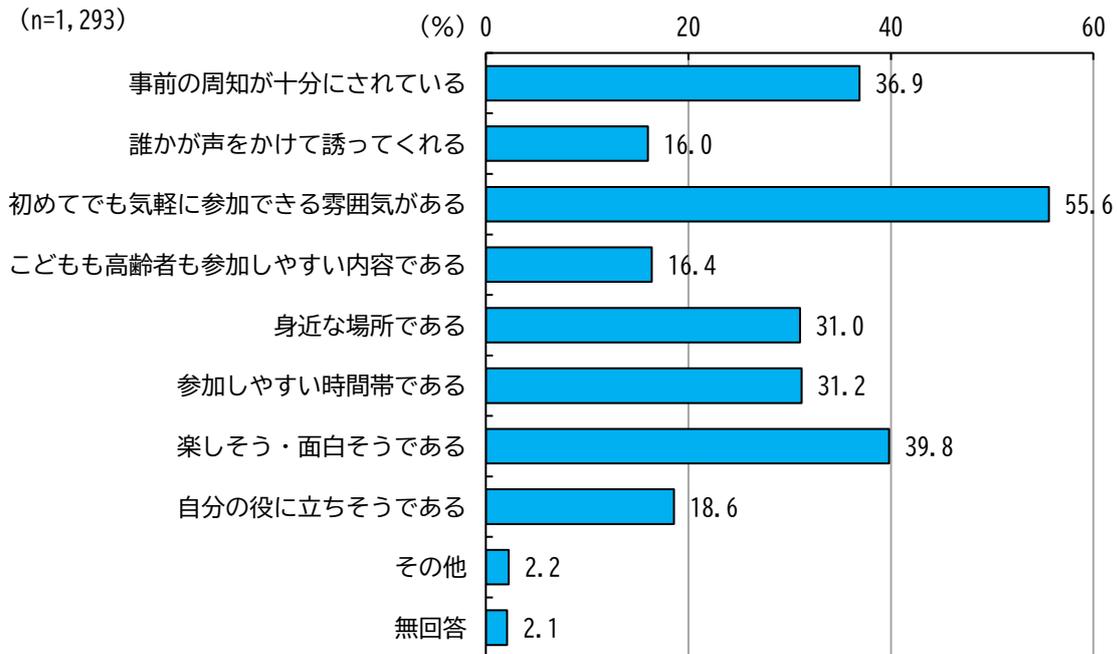
有業者や学生は「時間的な余裕がないから」が最も多くなっています。「人との付き合いがおっくうだから」の割合は無職が多くなっています。

		n	(%)							
			か 時 間 的 な 余 裕 が な い	が 同 じ 世 代 や 知 り 合 い	活 動 が な い か ら	興 味 ・ 関 心 が あ る	お と の 付 き 合 い が	期 外 に 参 加 し た か ら	過 去 に 参 加 し た か ら	そ の 他
全体		529	44.8	22.9	37.6	28.4	4.0	7.8	0.4	
就 労 状 況	正社員・正職員	127	62.2	27.6	31.5	31.5	2.4	1.6	0.0	
	パート・アルバイト・派遣職員・嘱託職	96	51.0	20.8	40.6	33.3	2.1	6.3	0.0	
	会社の経営者・役員	31	54.8	16.1	38.7	25.8	3.2	6.5	0.0	
	自営業・家族従事者	30	80.0	16.7	33.3	20.0	6.7	0.0	0.0	
	専業主婦/主夫	83	25.3	25.3	43.4	20.5	3.6	7.2	1.2	
	学生	23	73.9	30.4	47.8	8.7	4.3	0.0	0.0	
	無職	119	16.8	20.2	37.0	37.0	6.7	19.3	0.8	
	その他	17	47.1	23.5	41.2	5.9	5.9	5.9	0.0	

問12 お住いの地域の催しに参加しやすくするためには、どのようなことが大切だと思いますか。  
(○は3つまで)

【全体】

「初めてでも気軽に参加できる雰囲気がある」が55.6%で最も多く、次いで「楽しそう・面白そうである」が39.8%、「事前の周知が十分にされている」が36.9%となっています。



◇地域の催しに参加しやすくするために重要なこと「その他」の主な回答

内容
参加して欲しい世代の生活パターンを考えた日程設定(2件)
同年代や同じ環境の人がいること
地域共通の問題がある
介助がある
コスト

など

【性別】

「事前の周知が十分にされている」では男性が、「身近な場所である」では女性が比較的多くなっています。

(%)

	n	事前の周知が十分にされている	誰かが声をかけて誘ってくれる	初めての雰囲気がある	しつこい内容でも参加しやすい	身近な場所である	参加しやすい時間帯である	面白そうである	楽しそうである	自分の役に立ちそうである	その他	無回答
全体	1,293	36.9	16.0	55.6	16.4	31.0	31.2	39.8	18.6	2.2	2.1	
性別												
男性	512	42.0	15.4	53.9	18.4	27.3	29.9	41.6	18.0	2.3	2.1	
女性	768	33.7	16.1	56.6	15.2	33.7	32.0	38.8	18.9	2.2	2.0	

【年齢別】

70歳代以上では「身近な場所である」、50歳代以下では「事前の周知が十分にされている」が他の年齢層より比較的多くなっています。

(%)

	n	事前の周知が十分にされている	誰かが声をかけて誘ってくれる	初めての雰囲気がある	しつこい内容でも参加しやすい	身近な場所である	参加しやすい時間帯である	面白そうである	楽しそうである	自分の役に立ちそうである	その他	無回答
全体	1,293	36.9	16.0	55.6	16.4	31.0	31.2	39.8	18.6	2.2	2.1	
年齢	10歳代	34	38.2	23.5	44.1	11.8	32.4	23.5	58.8	11.8	0.0	0.0
	20歳代	100	41.0	16.0	51.0	5.0	24.0	36.0	47.0	15.0	2.0	1.0
	30歳代	114	43.9	9.6	58.8	25.4	29.8	32.5	56.1	14.9	0.9	0.0
	40歳代	197	41.1	17.3	59.9	17.8	25.4	39.6	41.1	21.3	2.5	1.0
	50歳代	266	41.4	13.9	61.7	9.4	29.7	36.1	41.4	17.3	2.3	0.8
	60歳代	198	34.3	12.1	60.1	11.6	29.3	36.9	39.9	22.2	2.0	1.5
	70歳代	235	33.2	17.9	51.1	18.3	36.2	22.6	34.5	22.1	1.7	3.0
	80歳以上	148	24.3	23.6	43.9	32.4	39.9	14.9	22.3	13.5	4.7	8.1

【就労状況別】

有業者では「事前の周知が十分にされている」、専業主婦/主夫や無職の方では「身近な場所である」、正社員・正職員や自営業・家族従事者では「参加しやすい時間帯である」が比較的多くなっています。

(%)

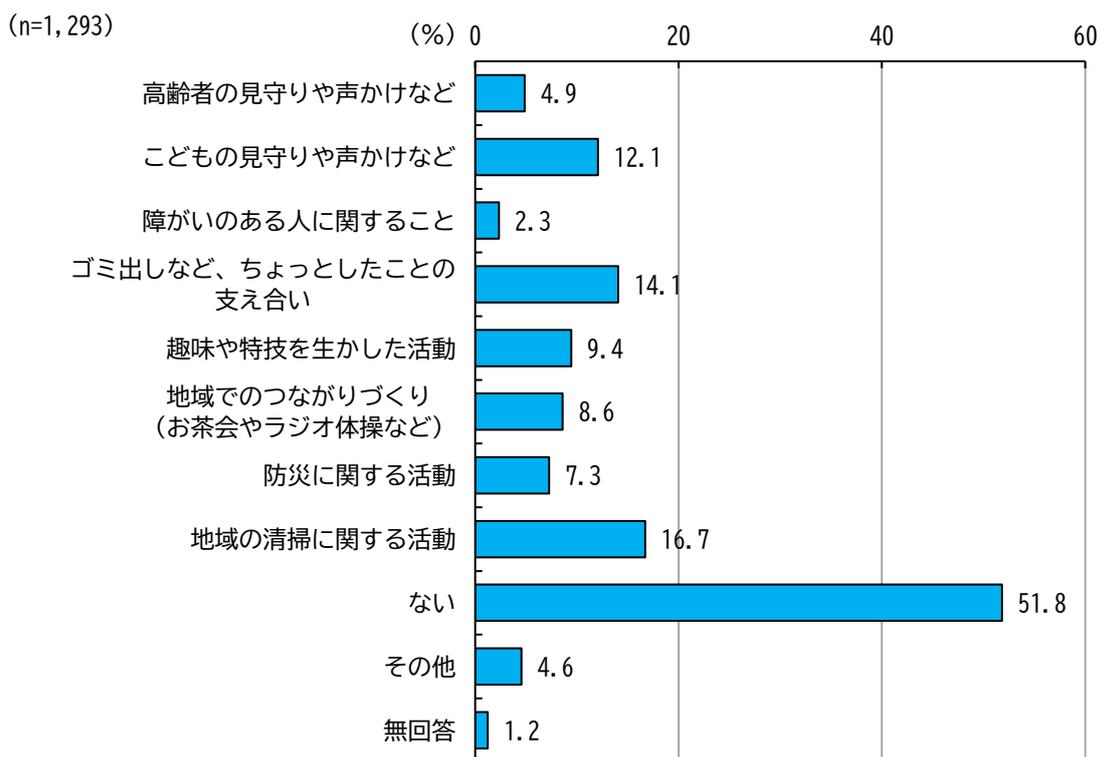
	n	事前の周知が十分にされている	誰かが声をかけて誘ってくれる	初めての雰囲気がある	しつこい内容でも参加しやすい高齢者も参加	身近な場所である	参加しやすい時間帯である	面白そう・楽しい	自分の役に立ちそうである	その他	無回答	
全体	1,293	36.9	16.0	55.6	16.4	31.0	31.2	39.8	18.6	2.2	2.1	
就労状況	正社員・正職員	345	42.0	12.2	60.6	13.9	28.4	43.2	44.9	16.2	2.6	0.6
	パート・アルバイト・派遣職員・嘱託職	218	35.3	15.1	58.3	11.9	26.6	30.7	46.8	23.9	1.4	0.9
	会社の経営者・役員	82	46.3	18.3	51.2	11.0	36.6	29.3	45.1	13.4	2.4	2.4
	自営業・家族従事者	72	44.4	13.9	51.4	15.3	30.6	38.9	37.5	16.7	1.4	1.4
	専業主婦/主夫	219	32.9	15.1	61.2	15.1	37.0	31.1	33.3	19.6	2.7	2.3
	学生	69	37.7	24.6	39.1	8.7	21.7	24.6	53.6	17.4	0.0	1.4
	無職	251	29.1	20.7	49.4	28.7	32.7	15.5	29.1	17.5	2.8	5.2
	その他	30	36.7	6.7	50.0	23.3	36.7	33.3	36.7	30.0	3.3	0.0

## (5) 地域で活動している（いた）もの

問 13 お住いの地域で、あなたが活動している（いた）ものがありますか。（○はいくつでも）

### 【全体】

「ない」という回答が 51.8%と最も多く、次いで「地域の清掃に関する活動」が 16.7%、「ゴミ出しなど、ちょっとしたことの支え合い」が 14.1%となっています。



### ◇地域で、あなたが活動している（いた）もの 「その他」の主な回答

内 容
地域の団体や組織等（自治会・コミスク・民生委員等）（23 件）
マンション管理組合・理事会等（6 件）
保育所・学校等関連の活動（P T A、学校行事関連）（5 件）
お祭り・イベント（4 件）
動物愛護活動（3 件）
市民委員

など

【性別】

「ない」の割合は女性よりも男性の方が多くなっています。女性は「こどもの見守りや声かけなど」が、男性は「ゴミ出しなど、ちょっとしたことの支え合い」が比較的多くなっています。

		n	高齢者の見守りや声かけなど	こどもの見守りや声かけなど	障がいのある人に関すること	ゴミ出しなど、ちょっとしたことの支え合い	趣味や特技を生かした活動	地域でのつながりづくり（お茶会やラジオ体操など）	防災に関する活動	地域の清掃に関する活動	ない	その他	無回答
全体		1,293	4.9	12.1	2.3	14.1	9.4	8.6	7.3	16.7	51.8	4.6	1.2
性別	男性	512	4.5	8.4	2.7	15.8	9.0	5.9	8.2	15.4	55.3	3.9	1.0
	女性	768	5.2	14.6	2.1	13.2	9.9	10.3	6.8	17.6	49.5	4.9	1.4

【年齢別】

10歳代と70歳代以上では活動に参加している人の割合が5割を超えています。

		n	高齢者の見守りや声かけなど	こどもの見守りや声かけなど	障がいのある人に関すること	ゴミ出しなど、ちょっとしたことの支え合い	趣味や特技を生かした活動	地域でのつながりづくり（お茶会やラジオ体操など）	防災に関する活動	地域の清掃に関する活動	ない	その他	無回答
全体		1,293	4.9	12.1	2.3	14.1	9.4	8.6	7.3	16.7	51.8	4.6	1.2
年齢	10歳代	34	2.9	0.0	0.0	23.5	11.8	23.5	0.0	23.5	47.1	0.0	0.0
	20歳代	100	4.0	3.0	3.0	12.0	5.0	7.0	5.0	7.0	67.0	0.0	0.0
	30歳代	114	1.8	7.9	0.9	6.1	6.1	5.3	0.0	6.1	75.4	3.5	0.0
	40歳代	197	3.6	23.9	3.0	12.7	6.6	4.6	5.6	14.2	51.8	4.1	0.0
	50歳代	266	4.1	22.6	1.5	10.2	7.9	9.0	7.9	15.8	50.0	7.5	0.8
	60歳代	198	3.0	7.6	1.5	15.7	5.1	7.1	9.6	19.7	58.6	4.0	0.5
	70歳代	235	8.9	6.8	3.8	14.5	14.9	8.1	10.2	21.7	43.8	5.5	1.7
	80歳以上	148	7.4	4.1	2.7	25.0	18.2	16.2	9.5	23.0	31.8	4.1	6.1

【家族構成別】

親と子（18歳未満の子あり）では、「こどもの見守りや声かけなど」に参加する割合が比較的多くなっています。

		(%)											
		n	高齢者の見守りや声かけなど	こどもの見守りや声かけなど	障がいのある人に関すること	ゴミ出しなど、ちょっとしたことの支え合い	趣味や特技を生かした活動	地域でのつながりづくり (お茶会やラジ体操など)	防災に関する活動	地域の清掃に関する活動	ない	その他	無回答
全体		1,293	4.9	12.1	2.3	14.1	9.4	8.6	7.3	16.7	51.8	4.6	1.2
家族構成	一人暮らし	191	5.8	3.7	1.6	16.2	9.9	9.9	6.8	18.8	49.2	3.7	3.7
	夫婦のみ	403	5.2	5.7	2.2	14.4	11.2	6.7	7.7	17.4	54.1	4.7	1.0
	親と子（18歳未満の子あり）	267	3.7	27.7	2.2	12.0	6.7	8.2	6.7	14.2	48.7	3.0	0.4
	親と子（18歳未満の子なし）	309	4.9	13.6	3.2	14.2	10.4	10.4	7.8	17.8	50.5	5.5	0.3
	親と子と孫	34	2.9	11.8	0.0	11.8	0.0	8.8	2.9	20.6	61.8	5.9	0.0
	その他	85	5.9	7.1	2.4	12.9	9.4	8.2	7.1	9.4	58.8	7.1	2.4

### 【小学校区別】

朝日ヶ丘小学校区では「こどもの見守りや声かけなど」、宮川小学校区では「防災に関する活動」、潮見小学校区、浜風小学校区では「地域の清掃に関する活動」に参加する割合が他の校区より比較的多いなどの特徴がみられます。

		(%)											
		n	高齢者の見守りや声かけなど	こどもの見守りや声かけなど	障がいのある人に関すること	ゴミ出しなど、ちよつとしたことの支え合い	趣味や特技を生かした活動	地域でのつながりづくり（お茶会やラジオ体操など）	防災に関する活動	地域の清掃に関する活動	ない	その他	無回答
全体		1,293	4.9	12.1	2.3	14.1	9.4	8.6	7.3	16.7	51.8	4.6	1.2
小学校区	山手小学校区	255	4.3	11.8	0.4	16.9	6.3	7.1	7.1	14.5	52.2	5.1	1.2
	朝日ヶ丘小学校区	109	4.6	19.3	4.6	17.4	13.8	4.6	5.5	11.9	48.6	6.4	0.0
	岩園小学校区	183	4.4	10.4	1.6	15.3	9.8	6.0	7.7	13.7	53.6	5.5	0.5
	精道小学校区	189	3.2	10.1	2.6	16.4	8.5	10.1	5.8	14.3	55.6	3.2	0.5
	宮川小学校区	164	3.7	15.9	3.7	12.2	4.3	11.0	11.6	17.1	54.9	4.3	1.2
	打出浜小学校区	125	8.8	10.4	1.6	8.8	12.0	7.2	5.6	8.8	56.8	4.0	1.6
	潮見小学校区	160	5.6	10.0	3.1	8.8	12.5	13.1	6.9	26.9	46.9	3.8	2.5
	浜風小学校区	88	5.7	12.5	1.1	15.9	12.5	11.4	9.1	34.1	38.6	5.7	1.1

【就労状況別】

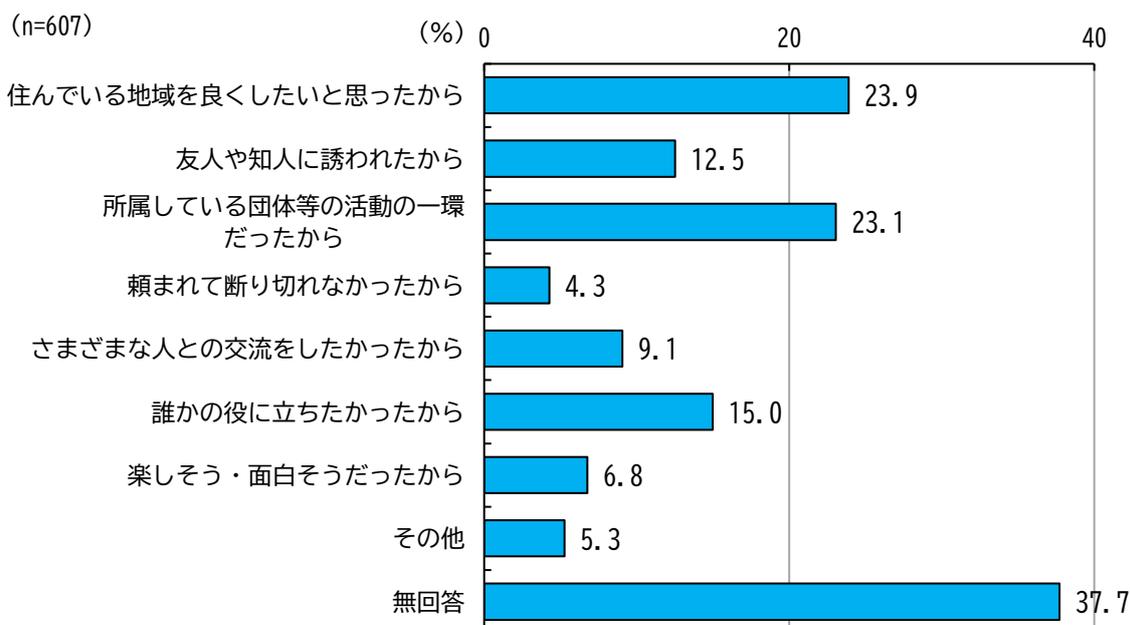
無職の方は、「趣味や特技を生かした活動」、「防災に関する活動」、自営業・家族従事者や学生は、「ゴミ出しなど、ちょっとしたことの支え合い」に参加する割合が他の就労状況区分より比較的多いなどの特徴がみられます。

		(%)											
		n	高齢者の見守りや声かけなど	こどもの見守りや声かけなど	障がいのある人に関すること	ゴミ出しなど、ちょっとしたことの支え合い	趣味や特技を生かした活動	地域でのつながりづくり（お茶会やラジオ体操など）	防災に関する活動	地域の清掃に関する活動	ない	その他	無回答
全体		1,293	4.9	12.1	2.3	14.1	9.4	8.6	7.3	16.7	51.8	4.6	1.2
就労状況	正社員・正職員	345	3.5	13.9	1.4	9.3	6.1	5.2	4.3	10.1	62.6	4.9	0.3
	パート・アルバイト・派遣職員・嘱託職員	218	2.8	20.2	1.8	9.2	7.3	8.7	8.3	20.2	54.1	5.0	0.0
	会社の経営者・役員	82	3.7	12.2	1.2	13.4	1.2	3.7	4.9	12.2	61.0	2.4	0.0
	自営業・家族従事者	72	9.7	12.5	4.2	22.2	11.1	6.9	9.7	22.2	43.1	8.3	1.4
	専業主婦/主夫	219	6.4	15.1	1.8	17.4	12.8	10.0	8.7	16.9	44.3	4.1	2.7
	学生	69	4.3	2.9	0.0	21.7	10.1	17.4	1.4	15.9	52.2	0.0	0.0
	無職	251	7.2	4.0	4.4	18.3	15.5	10.8	10.8	22.3	39.8	4.4	2.8
	その他	30	0.0	0.0	6.7	13.3	6.7	13.3	10.0	23.3	56.7	10.0	0.0

問 14 問 13 で「9. ない」以外を選択した方におたずねします。活動を始めた主なきっかけはなんで  
 ですか。(〇は3つまで)

【全体】

回答者の中では「住んでいる地域を良くしたいと思ったから」が 23.9%で最も多く、次いで「所  
 属している団体等の活動の一環だったから」が 23.1%、「誰かの役に立ちたかったから」が 15.0%と  
 なっています。



◇活動を始めた主なきっかけ 「その他」の主な回答

内 容	
子ども会・PTA (3件)	こどもの安全を考えて (2件)
順番義務だから (2件)	マンションの維持 (2件)
家族 (親) がしていた	自分でもできそうに思ったから
地域とのつながりがほしかった	仕事をやめたので
近所の人のごみ捨てに苦労していたから	こどもに経験させたいから
こどもに地域のことを考える姿勢を見せて、学びきっかけにしてほしいから	

など

【性別】

「住んでいる地域を良くしたいと思ったから」、「誰かの役に立ちたかったから」では男性が、「友人や知人に誘われたから」では女性が比較的多くなっています。

(%)

		n	住んでいる地域を良くしたいと思ったから	友人や知人に誘われたから	所属している団体等の活動の環	頼まれて断り切れなかつたから	さまざまな人との交流をしたかったから	誰かの役に立ちたかったから	楽しそう・面白そうだったから	その他	無回答
全体		607	23.9	12.5	23.1	4.3	9.1	15.0	6.8	5.3	37.7
性別	男性	224	29.0	8.9	21.4	4.0	8.0	19.2	8.0	4.5	34.4
	女性	377	20.7	14.9	23.9	4.5	9.3	12.7	6.1	5.6	39.8

【年齢別】

10歳代では「友人や知人に誘われたから」、20歳代以下では「楽しそう・面白そうだったから」、30歳代では「誰かの役に立ちたかったから」、80歳以上では「さまざまな人との交流をしたかったから」が他の年齢層より比較的多くなっています。

(%)

		n	住んでいる地域を良くしたいと思ったから	友人や知人に誘われたから	所属している団体等の活動の環	頼まれて断り切れなかつたから	さまざまな人との交流をしたかったから	誰かの役に立ちたかったから	楽しそう・面白そうだったから	その他	無回答
全体		607	23.9	12.5	23.1	4.3	9.1	15.0	6.8	5.3	37.7
年齢	10歳代	18	0.0	33.3	22.2	0.0	0.0	0.0	16.7	5.6	33.3
	20歳代	33	18.2	12.1	27.3	3.0	3.0	9.1	18.2	6.1	36.4
	30歳代	28	17.9	10.7	28.6	0.0	7.1	28.6	7.1	0.0	32.1
	40歳代	95	24.2	13.7	23.2	4.2	6.3	10.5	4.2	8.4	35.8
	50歳代	131	28.2	10.7	31.3	6.1	5.3	16.0	3.8	6.9	33.6
	60歳代	81	25.9	6.2	18.5	3.7	7.4	19.8	3.7	3.7	45.7
	70歳代	128	19.5	14.1	17.2	5.5	9.4	14.1	8.6	3.9	43.0
	80歳以上	92	29.3	14.1	20.7	3.3	22.8	16.3	7.6	4.3	34.8

【小学校区別】

山手小学校区、岩園小学校区では「住んでいる地域を良くしたいと思ったから」、宮川小学校区では「所属している団体等の活動の一環だったから」、打出浜小学校区では「さまざまな人と交流をしたかったから」が比較的多くなっています。

(%)

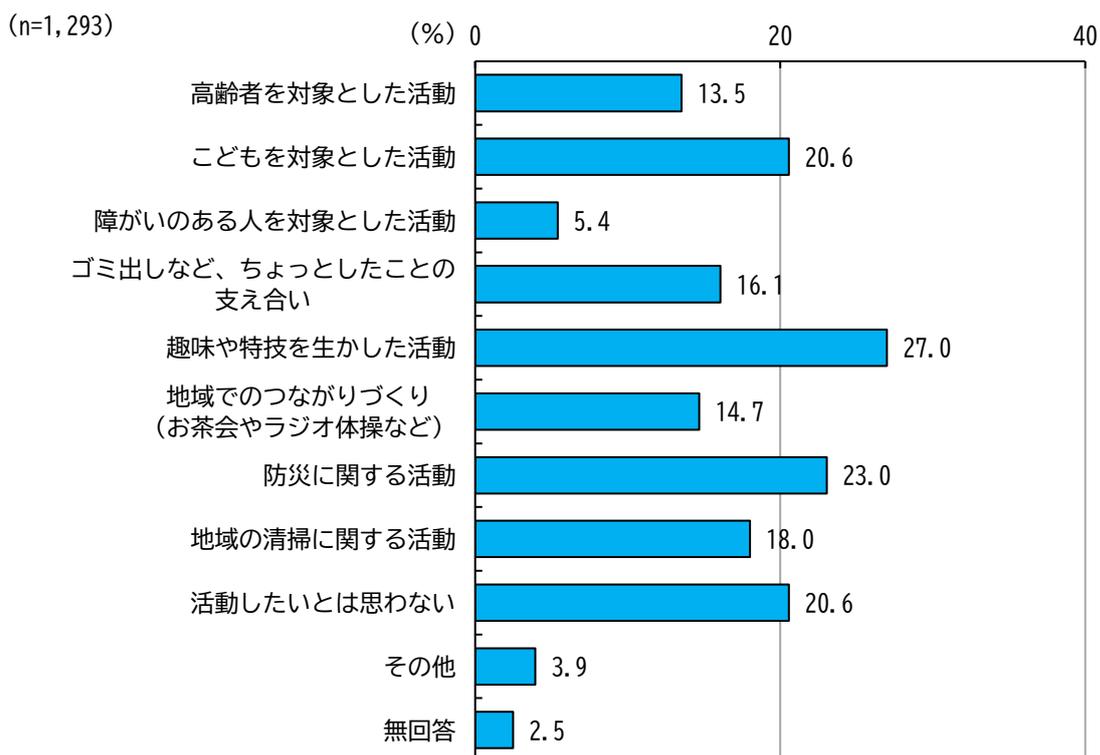
	n	住んでいる地域を良くしたいと思うから	友人や知人に誘われたから	所属している団体等の活動の一環だったから	頼まれて断り切れなかったから	さまざまな人との交流をしたかったから	誰かの役に立ちたから	面白そうだったから	楽しそうだったから	その他	無回答
全体	607	23.9	12.5	23.1	4.3	9.1	15.0	6.8	5.3	37.7	
小学校区	山手小学校区	119	30.3	9.2	21.0	2.5	6.7	19.3	5.9	5.0	34.5
	朝日ヶ丘小学校区	56	17.9	10.7	25.0	8.9	5.4	14.3	7.1	7.1	41.1
	岩園小学校区	84	31.0	9.5	15.5	3.6	8.3	11.9	3.6	6.0	42.9
	精道小学校区	83	25.3	19.3	25.3	2.4	13.3	18.1	6.0	4.8	31.3
	宮川小学校区	72	19.4	11.1	33.3	5.6	2.8	9.7	9.7	4.2	36.1
	打出浜小学校区	52	11.5	17.3	15.4	3.8	17.3	17.3	7.7	1.9	42.3
	潮見小学校区	81	25.9	14.8	24.7	3.7	9.9	17.3	8.6	8.6	37.0
	浜風小学校区	53	17.0	11.3	26.4	7.5	11.3	9.4	5.7	3.8	41.5

## (6) 今後活動してみたいこと

問 15 あなたが今後活動してみたいことはなんですか (〇はいくつでも)

### 【全体】

「趣味や特技を生かした活動」が 27.0%で最も多く、次いで「防災に関する活動」が 23.0%、「子どもを対象とした活動」及び「活動したいとは思わない」が 20.6%となっています。



### ◇今後活動してみたいこと 「その他」の主な回答

内 容	
イベント等のボランティア (2件)	だんじり祭り
防犯活動	対話集会
交通安全・マナー	自宅周りの環境維持
動物を対象とした活動 (保護犬/猫など)	近所の人への声かけ

など

【性別】

「趣味や特技を生かした活動」、「防災に関する活動」、「地域の清掃に関する活動」では男性が、「地域でのつながりづくり」では女性が比較的多くなっています。

		n	高齢者を対象とした活動	子どもを対象とした活動	障がいのある人を対象とした活動	ゴミ出しなど、ちよつとしたことの支え合い	趣味や特技を生かした活動	地域でのつながりづくり（お茶会やラジオ体操など）	防災に関する活動	地域の清掃に関する活動	活動したいとは思わない	その他	無回答
全体		1,293	13.5	20.6	5.4	16.1	27.0	14.7	23.0	18.0	20.6	3.9	2.5
性別	男性	512	11.7	20.5	4.7	17.6	30.1	11.3	26.4	21.5	22.1	3.7	0.8
	女性	768	14.8	20.4	5.9	15.0	24.9	16.8	20.7	15.8	19.3	4.2	3.6

【年齢別】

30～40歳代では「子どもを対象とした活動」、70歳代以上では「高齢者を対象とした活動」、40～60歳代では「防災に関する活動」が他の年齢層より比較的多くなっています。

		n	高齢者を対象とした活動	子どもを対象とした活動	障がいのある人を対象とした活動	ゴミ出しなど、ちよつとしたことの支え合い	趣味や特技を生かした活動	地域でのつながりづくり（お茶会やラジオ体操など）	防災に関する活動	地域の清掃に関する活動	活動したいとは思わない	その他	無回答
全体		1,293	13.5	20.6	5.4	16.1	27.0	14.7	23.0	18.0	20.6	3.9	2.5
年齢	10歳代	34	8.8	20.6	2.9	20.6	35.3	17.6	20.6	11.8	23.5	2.9	0.0
	20歳代	100	5.0	16.0	8.0	10.0	32.0	15.0	22.0	10.0	27.0	2.0	1.0
	30歳代	114	2.6	41.2	7.0	9.6	29.8	11.4	18.4	8.8	22.8	2.6	0.9
	40歳代	197	10.2	41.1	7.1	13.2	18.8	9.1	26.4	25.4	17.8	3.6	0.5
	50歳代	266	11.7	22.6	5.6	16.5	32.0	11.7	28.6	17.7	19.9	3.8	1.5
	60歳代	198	12.1	14.6	3.5	19.2	29.8	17.2	29.8	21.2	18.7	4.5	1.0
	70歳代	235	20.9	9.4	5.5	15.7	26.0	17.9	17.9	20.9	23.8	3.0	1.7
	80歳以上	148	27.0	2.7	2.7	23.0	19.6	20.9	12.8	14.2	16.2	8.1	12.8

【就労状況別】

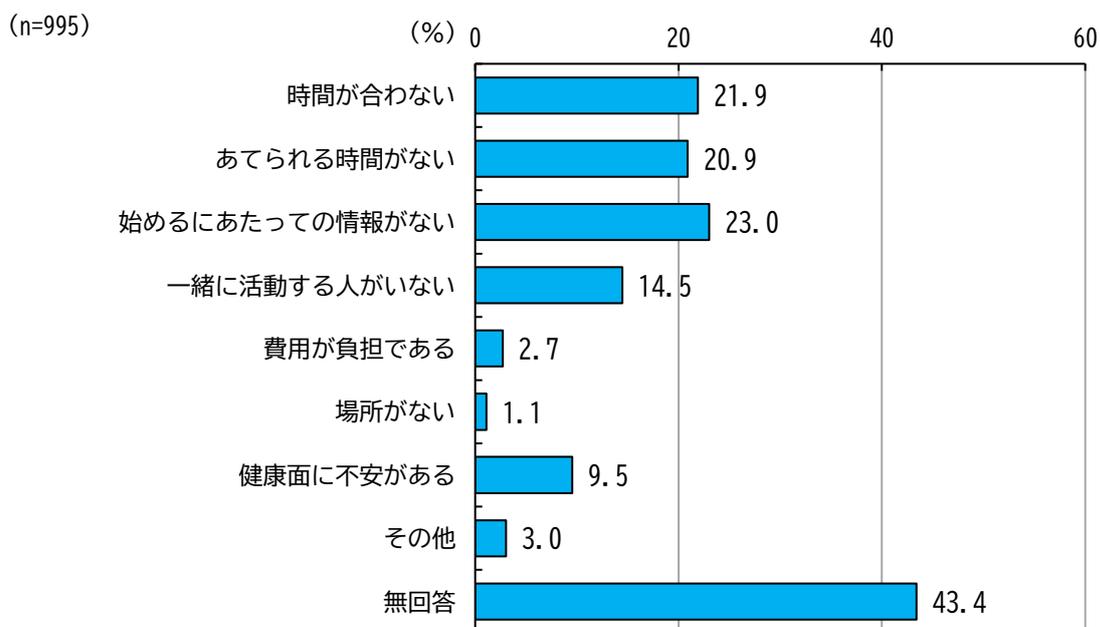
有業者では「こどもを対象とした活動」、自営業・家族従事者、学生では「趣味や特技を生かした活動」、専業主婦/主夫では「地域のつながりづくり」、会社の経営者・役員では「防災に関する活動」が他の就労状況区分より比較的多いなどの特徴がみられます。

	n	高齢者を対象とした活動	こどもを対象とした活動	障がいのある人を対象とした活動	ゴミ出しなど、ちょっとした支え合い	趣味や特技を生かした活動	地域でのつながりづくり（お茶会やラジオ体操など）	防災に関する活動	地域の清掃に関する活動	活動したいとは思わない	その他	(%) 無回答	
全体	1,293	13.5	20.6	5.4	16.1	27.0	14.7	23.0	18.0	20.6	3.9	2.5	
就労状況	正社員・正職員	345	9.0	32.8	7.0	13.0	30.1	9.9	29.0	18.8	18.8	3.2	0.9
	パート・アルバイト・派遣職員・嘱託職員	218	12.4	22.5	5.0	17.0	22.9	17.4	22.9	20.6	24.3	4.1	0.5
	会社の経営者・役員	82	11.0	20.7	4.9	23.2	20.7	13.4	31.7	22.0	19.5	0.0	1.2
	自営業・家族従事者	72	6.9	20.8	5.6	18.1	37.5	11.1	23.6	15.3	15.3	5.6	2.8
	専業主婦/主夫	219	16.4	16.0	3.2	16.0	29.7	20.1	16.4	16.9	18.7	4.1	4.1
	学生	69	8.7	17.4	4.3	11.6	36.2	17.4	24.6	10.1	24.6	1.4	0.0
	無職	251	21.1	8.0	6.0	17.9	21.1	16.3	18.3	16.7	21.5	5.6	5.6
	その他	30	20.0	16.7	6.7	16.7	26.7	6.7	20.0	26.7	20.0	10.0	0.0

問 16 問 15 で「9. 活動したいとは思わない」以外を選択した方におたずねします。現在、活動をしていない（できない）主な理由はなんですか。（〇は3つまで）

【全体】

回答者の中では「始めるにあたっての情報がない」が 23.0%で最も多く、次いで「時間が合わない」が 21.9%、「あてられる時間がない」が 20.9%となっています。



◇活動をしていない（できない）理由 「その他」の主な回答

内 容
体調の課題（体調不良、高齢、仕事で疲れている）（8件）
時間の余裕がない（子育て、介護等）（8件）
面倒・人付き合いがわずらわしい（4件）
興味のわくものがない（2件）

など

【性別】

男性では「始めるにあたっての情報がない」が比較的多くなっています。

(%)

	n	時間が合わない	あてられる時間がない	始めるにあたっての情報がない	一緒に活動する人がいない	費用が負担である	場所がない	健康面に不安がある	その他	無回答
全体	995	21.9	20.9	23.0	14.5	2.7	1.1	9.5	3.0	43.4
性別										
男性	395	23.5	21.3	27.3	17.0	3.0	1.3	7.3	4.3	39.2
女性	592	20.9	20.4	19.9	12.5	2.4	1.0	11.1	2.2	46.3

【年齢別】

10歳代、30歳代から60歳代では「あてられる時間がない」、20歳代から40歳代では「時間が合わない」、20歳代では「一緒に活動する人がいない」が他の年齢層より比較的多くなっています。

(%)

	n	時間が合わない	あてられる時間がない	始めるにあたっての情報がない	一緒に活動する人がいない	費用が負担である	場所がない	健康面に不安がある	その他	無回答	
全体	995	21.9	20.9	23.0	14.5	2.7	1.1	9.5	3.0	43.4	
年齢	10歳代	26	26.9	34.6	19.2	23.1	0.0	0.0	3.8	0.0	46.2
	20歳代	72	37.5	18.1	22.2	34.7	6.9	0.0	1.4	1.4	41.7
	30歳代	87	33.3	32.2	32.2	18.4	1.1	1.1	2.3	1.1	36.8
	40歳代	161	33.5	29.2	21.1	13.0	5.0	1.9	5.0	2.5	37.9
	50歳代	209	21.5	23.0	22.0	10.0	2.4	1.9	2.9	4.3	47.8
	60歳代	159	18.9	25.8	28.3	13.8	2.5	0.0	6.3	1.9	44.7
	70歳代	175	11.4	9.1	22.3	10.3	1.1	1.7	19.4	2.3	46.3
	80歳以上	105	5.7	5.7	15.2	14.3	1.9	0.0	30.5	7.6	42.9

【就労状況別】

有業者および学生では「時間が合わない」、「あてられる時間がない」、会社の経営者・役員では「始めるにあたっての情報がない」が多く、また、学生では「一緒に活動する人がいない」も比較的多くなっています。

(%)

	n	時間が合わない	あてられる時間がない	始めるにあたっての情報がない	一緒に活動する人がいない	費用が負担である	場所がない	健康面に不安がある	その他	無回答	
全体	995	21.9	20.9	23.0	14.5	2.7	1.1	9.5	3.0	43.4	
就労状況	正社員・正職員	277	34.7	29.6	27.1	17.0	2.2	1.1	1.4	2.2	39.7
	パート・アルバイト・派遣職員・嘱託職員	164	23.2	26.8	18.9	17.1	4.3	1.2	4.9	1.8	43.3
	会社の経営者・役員	65	24.6	20.0	38.5	10.8	1.5	0.0	0.0	0.0	40.0
	自営業・家族従事者	59	32.2	32.2	27.1	8.5	5.1	3.4	3.4	1.7	39.0
	専業主婦/主夫	169	10.1	13.0	18.9	10.7	1.2	1.8	15.4	3.6	50.3
	学生	52	32.7	28.8	17.3	28.8	3.8	0.0	1.9	0.0	46.2
	無職	183	6.0	4.4	19.7	10.4	2.2	0.5	27.3	6.6	44.3
	その他	24	16.7	20.8	20.8	20.8	8.3	0.0	16.7	8.3	41.7

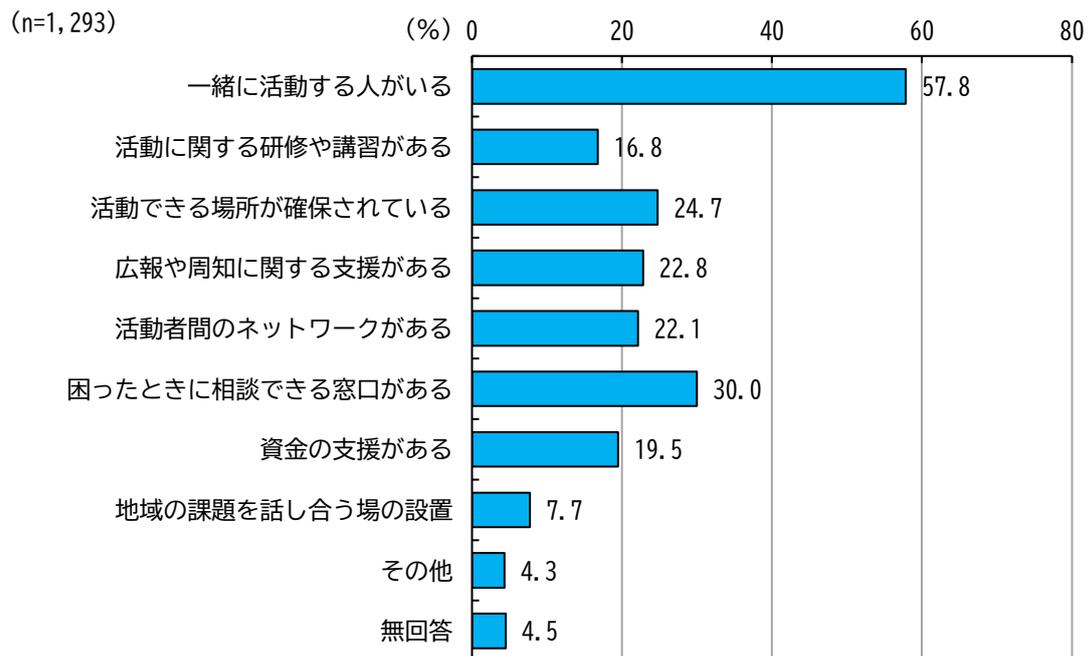
(7) 地域での活動を始める、もしくは続けるために必要なこと

問 17 地域での活動を始める、もしくは続けるために必要なことはなんでしょうか。

(○は3つまで)

【全体】

「一緒に活動する人がいる」が 57.8%で最も多く、次いで「困ったときに相談できる窓口がある」が 30.0%、「活動できる場所が確保されている」が 24.7%となっています。



◇地域での活動を始める、もしくは続けるために必要なこと 「その他」の主な回答

内 容
時間に融通がきく・時間に余裕がある (16 件)
活動内容の魅力・メリット (5 件)
体力・気力・健康 (4 件)
仕事や生活の負担にならない (3 件)
無理なく参加できる、いつでも辞められる
手続きや応募資格のハードルが低い

など

### 【性別】

「活動者間のネットワークがある」では男性が、「困ったときに相談できる窓口がある」では女性が比較的多くなっています。

(%)

	n	が一緒に活動する人	や活動に関する研修	確保されている場所	活動できる場所がある	広報や周知に関する	活動者間のネットワークがある	困ったときに相談できる窓口がある	資金の支援がある	地域の課題を話し合う場の設置	その他	無回答
全体	1,293	57.8	16.8	24.7	22.8	22.1	30.0	19.5	7.7	4.3	4.5	
性別	男性	512	59.8	15.0	23.8	22.9	27.1	25.0	22.5	10.2	3.5	4.3
	女性	768	56.9	18.0	25.4	23.0	18.8	32.8	17.3	6.1	4.6	4.7

### 【年齢別】

すべての年代で「一緒に活動する人がある」が最も多くなっていますが、10歳代から40歳代までの若い世代でその傾向が顕著となっています。また、30歳代以上では「活動できる場所が確保されている」が他の年齢層より比較的多いといった特徴もみられます。

(%)

	n	が一緒に活動する人	や活動に関する研修	確保されている場所	活動できる場所がある	広報や周知に関する	活動者間のネットワークがある	困ったときに相談できる窓口がある	資金の支援がある	地域の課題を話し合う場の設置	その他	無回答
全体	1,293	57.8	16.8	24.7	22.8	22.1	30.0	19.5	7.7	4.3	4.5	
年齢	10歳代	34	76.5	5.9	8.8	17.6	14.7	5.9	17.6	5.9	5.9	0.0
	20歳代	100	69.0	20.0	13.0	28.0	18.0	21.0	35.0	8.0	1.0	2.0
	30歳代	114	66.7	14.0	30.7	25.4	22.8	24.6	21.1	3.5	4.4	0.0
	40歳代	197	66.0	16.8	26.9	23.9	21.8	26.9	26.4	6.6	6.6	0.5
	50歳代	266	53.4	18.8	27.4	22.9	29.7	34.2	21.8	10.5	4.5	1.1
	60歳代	198	51.5	17.7	26.8	33.8	22.2	36.9	20.7	6.1	5.6	2.0
	70歳代	235	54.5	20.4	24.3	17.9	22.1	32.8	10.6	8.1	1.3	8.1
	80歳以上	148	50.0	8.8	22.3	10.1	12.8	29.1	7.4	9.5	6.1	19.6

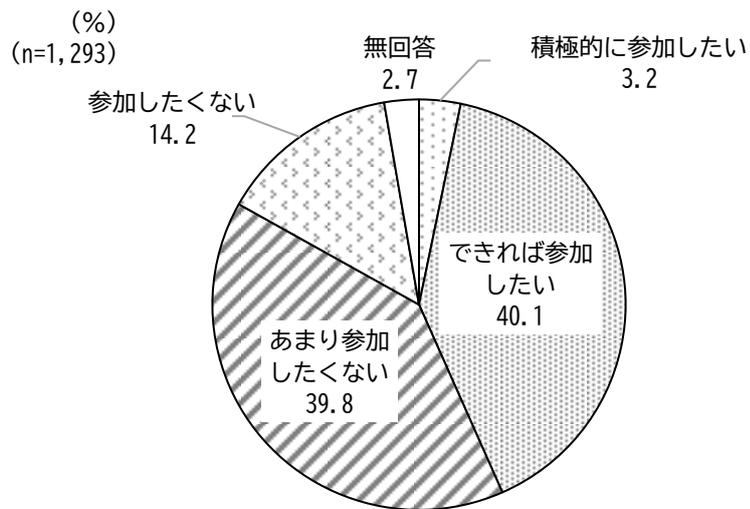
## (8) 市民活動・ボランティア活動に関する研修や講習会への参加

問 18 市民活動・ボランティア活動に関する研修や講習会があれば、参加したいと思いますか。

(○は1つだけ)

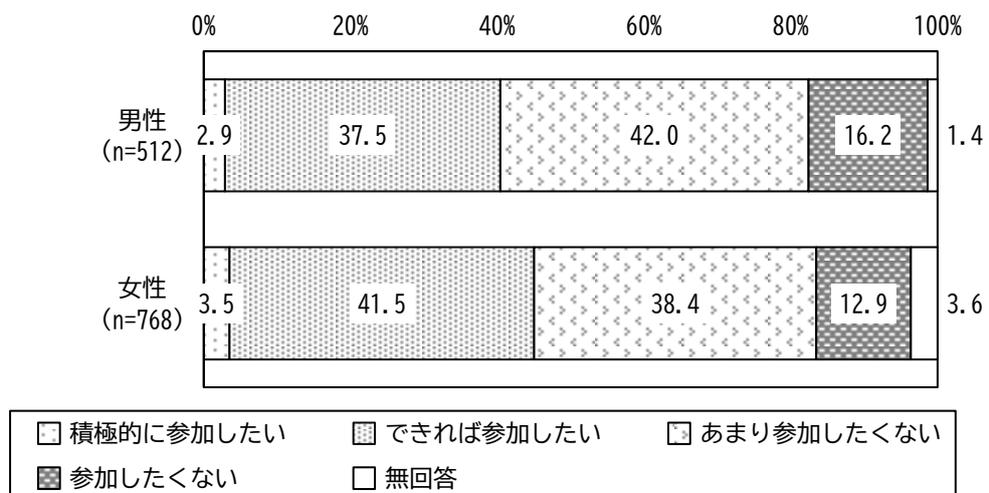
### 【全体】

「できれば参加したい」が40.1%で最も多く、次いで「あまり参加したくない」が39.8%、「参加したくない」が14.2%となっています。



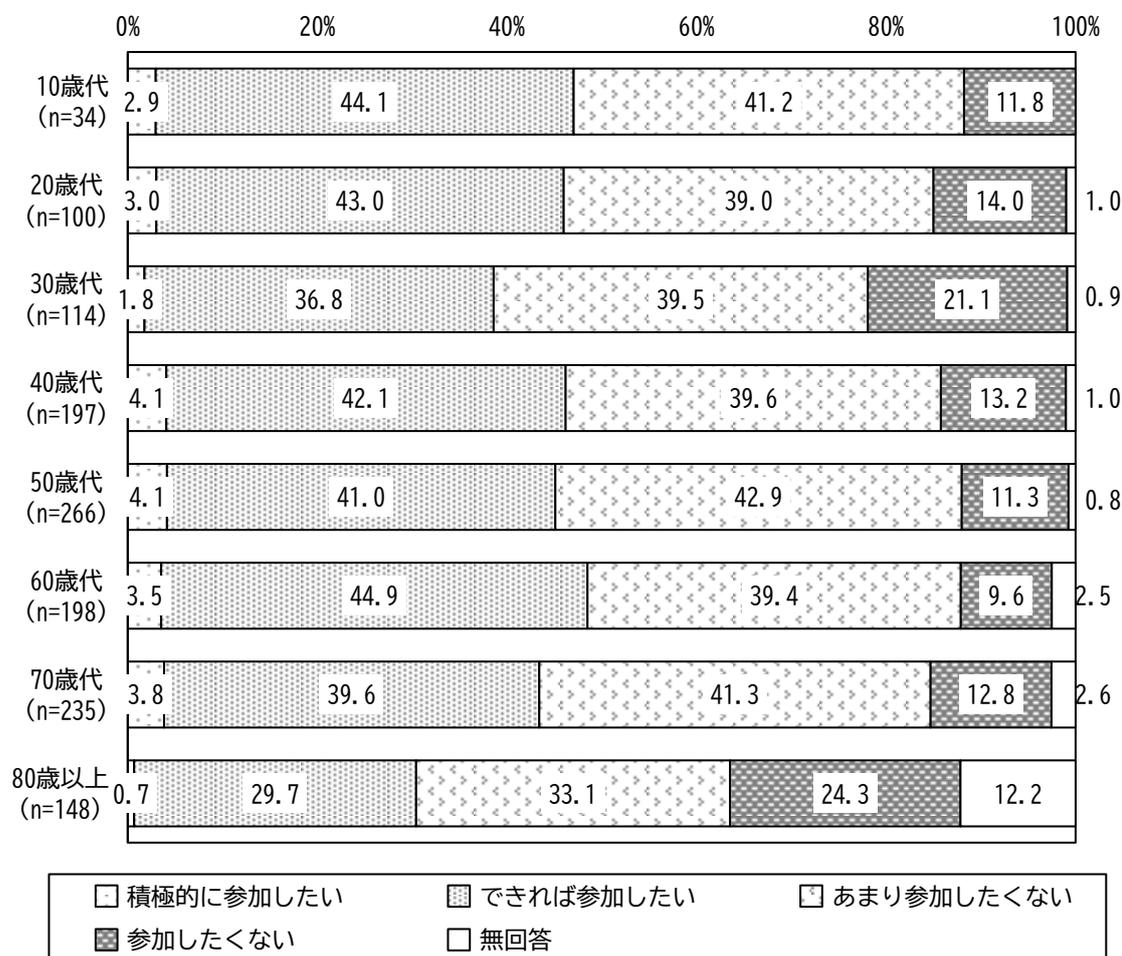
### 【性別】

男性では「あまり参加したくない」、女性では「できれば参加したい」が最も多くなっています。



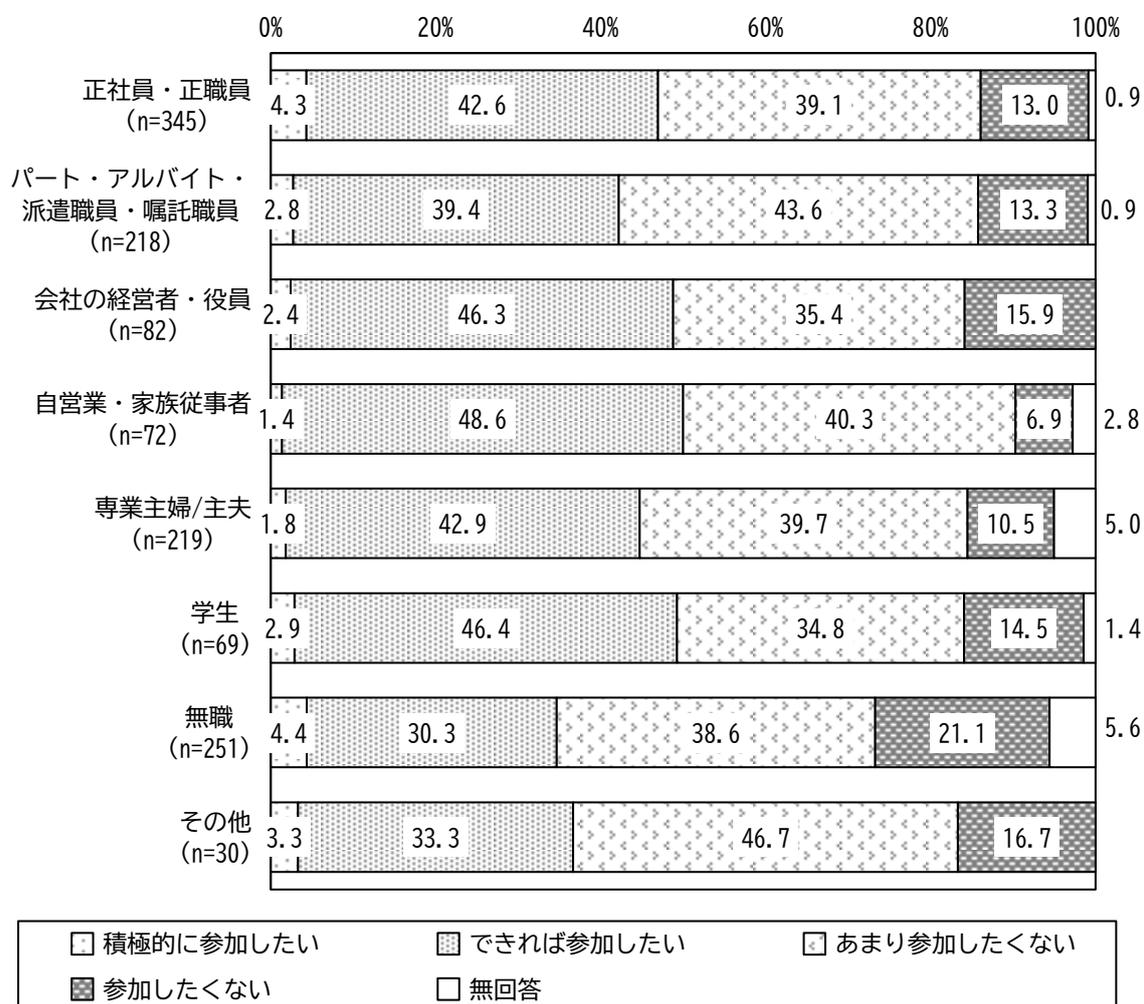
【年齢別】

30歳代と80歳以上では「参加したくない」が2割を超えて比較的多くなっています。



### 【就労状況別】

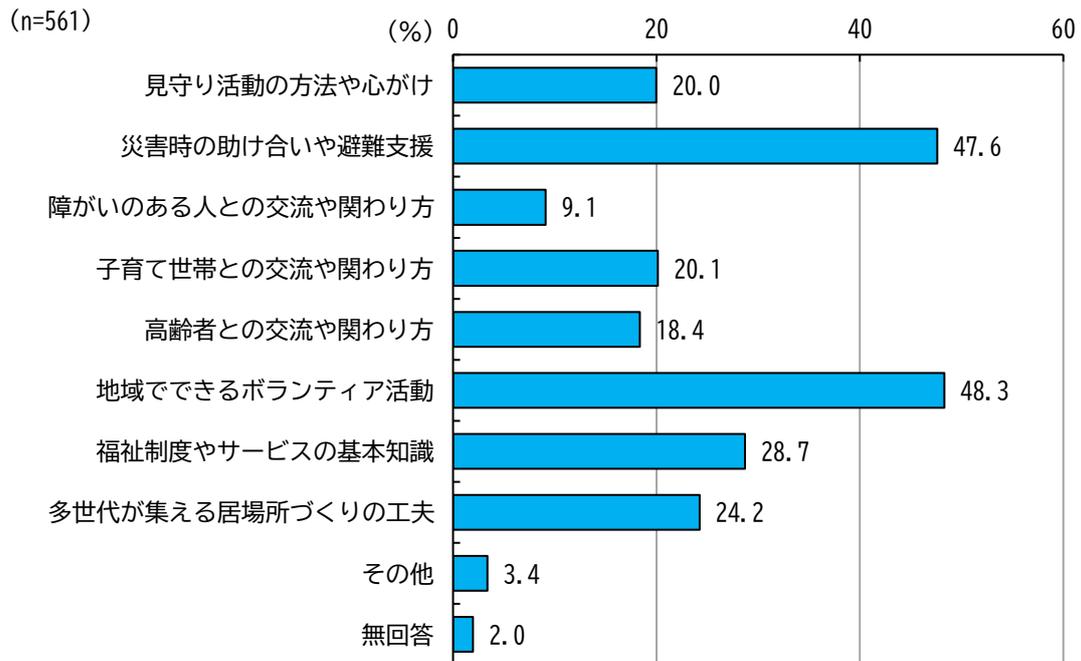
パート・アルバイト・派遣社員・嘱託職員を除く有業者では「できれば参加したい」が最も多くなっています。



問 19 問 18 で「1. 積極的に参加したい」または「2. できれば参加したい」を選択した方におたずねします。あなたが参加してみたいと思う、地域福祉に関する研修や講座があれば教えてください。(〇はいくつでも)

【全体】

「地域でできるボランティア活動」が 48.3%で最も多く、次いで「災害時の助け合いや避難支援」が 47.6%、「福祉制度やサービスの基本知識」が 28.7%となっています。



◇参加してみたいと思う、地域福祉に関する研修や講座 「その他」の主な回答

内 容	
動物愛護・保護 (2件)	こどもの勉強のサポート (2件)
地域の防犯活動	ヤングケアラーの支援
AED 使用方法や応急措置の対応方法に関する研修	国際交流
新たな経験ができる研修	

など

【性別】

「災害時の助け合いや避難支援」、「地域でできるボランティア活動」では男性が、「障がいのある人との交流や関わり方」、「高齢者との交流や関わり方」では女性が比較的多くなっています。

(%)

	n	心が守り活動の方法や	避難時の助け合いや	障がいのある人との交流や関わり方	子育て世帯との交流や関わり方	高齢者との交流や関わり方	地域でできるボランティア活動	福祉制度やサービスの基本知識	居場所づくりの工夫	多世代が集える	その他	無回答
全体	561	20.0	47.6	9.1	20.1	18.4	48.3	28.7	24.2	3.4	2.0	
性別	男性	207	20.8	52.7	7.2	21.3	16.4	52.2	27.1	25.1	3.4	1.4
	女性	346	19.1	43.9	10.4	19.7	19.7	46.5	30.1	23.4	3.2	2.3

【年齢別】

10歳代で「地域でできるボランティア活動」、30歳代で「子育て世帯との交流や関わり方」が6割を超えて最も多くなっています。

(%)

	n	心が守り活動の方法や	避難時の助け合いや	障がいのある人との交流や関わり方	子育て世帯との交流や関わり方	高齢者との交流や関わり方	地域でできるボランティア活動	福祉制度やサービスの基本知識	居場所づくりの工夫	多世代が集える	その他	無回答
全体	561	20.0	47.6	9.1	20.1	18.4	48.3	28.7	24.2	3.4	2.0	
年齢	10歳代	16	18.8	50.0	18.8	6.3	12.5	68.8	18.8	0.0	0.0	0.0
	20歳代	46	13.0	56.5	15.2	15.2	21.7	45.7	17.4	17.4	2.2	2.2
	30歳代	44	18.2	40.9	6.8	63.6	11.4	36.4	25.0	25.0	0.0	0.0
	40歳代	91	19.8	46.2	12.1	36.3	16.5	47.3	29.7	33.0	5.5	1.1
	50歳代	120	20.0	53.3	7.5	20.8	20.8	54.2	33.3	27.5	3.3	1.7
	60歳代	96	24.0	52.1	7.3	11.5	7.3	51.0	32.3	22.9	4.2	1.0
	70歳代	102	21.6	43.1	8.8	6.9	20.6	49.0	29.4	22.5	0.0	4.9
	80歳以上	45	17.8	33.3	4.4	2.2	40.0	33.3	24.4	20.0	11.1	2.2

【家族構成別】

親と子（18歳未満の子あり）では「子育て世帯との交流や関わり方」、親と子と孫では「多世代が集える居場所づくりの工夫」が比較的多いなどの特徴がみられます。

(%)

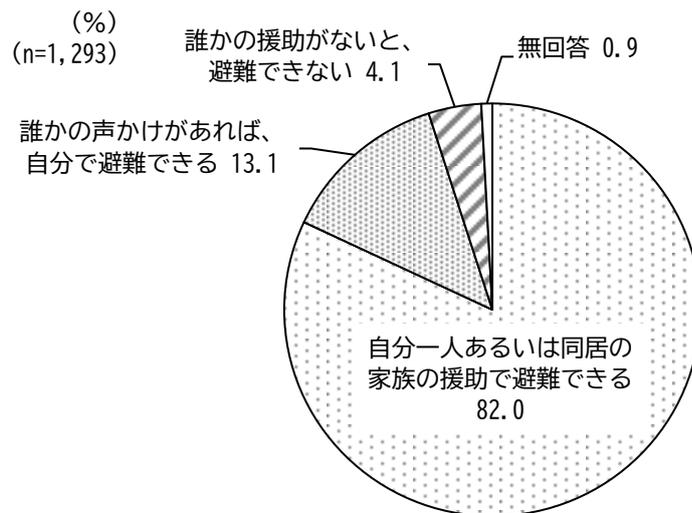
	n	心見 守が けり 活 動 の 方 法 や	避 災 難 支 援 の 助 け 合 い や	交 障 が や い の あ る 人 と の	交 流 や 関 わ り 方	子 育 て 関 わ り 方	関 高 齢 者 と の 交 流 や	テ 地 域 で 可 能 な 活 動	の 福 祉 制 度 や サ ー ビ ス	居 多 世 代 が 集 え る の 工 夫	そ の 他	無 回 答
全体	561	20.0	47.6	9.1	20.1	18.4	48.3	28.7	24.2	3.4	2.0	
家族 構 成	一人暮らし	82	25.6	35.4	13.4	9.8	23.2	46.3	30.5	15.9	4.9	3.7
	夫婦のみ	165	15.2	50.9	5.5	13.3	20.0	50.9	29.1	24.2	3.0	1.8
	親と子（18歳未満の子あり）	133	20.3	44.4	8.3	47.4	12.0	45.9	22.6	27.8	1.5	1.5
	親と子（18歳未満の子なし）	132	18.9	53.8	12.9	8.3	18.2	50.0	31.8	22.7	5.3	2.3
	親と子と孫	15	26.7	40.0	0.0	26.7	6.7	20.0	33.3	40.0	0.0	0.0
	その他	32	25.0	53.1	9.4	15.6	28.1	59.4	34.4	31.3	3.1	0.0

## (9) 地震などの災害発生時における避難

問 20 地震などの災害が発生したとき、あなたは一人で避難できますか。(○は1つだけ)

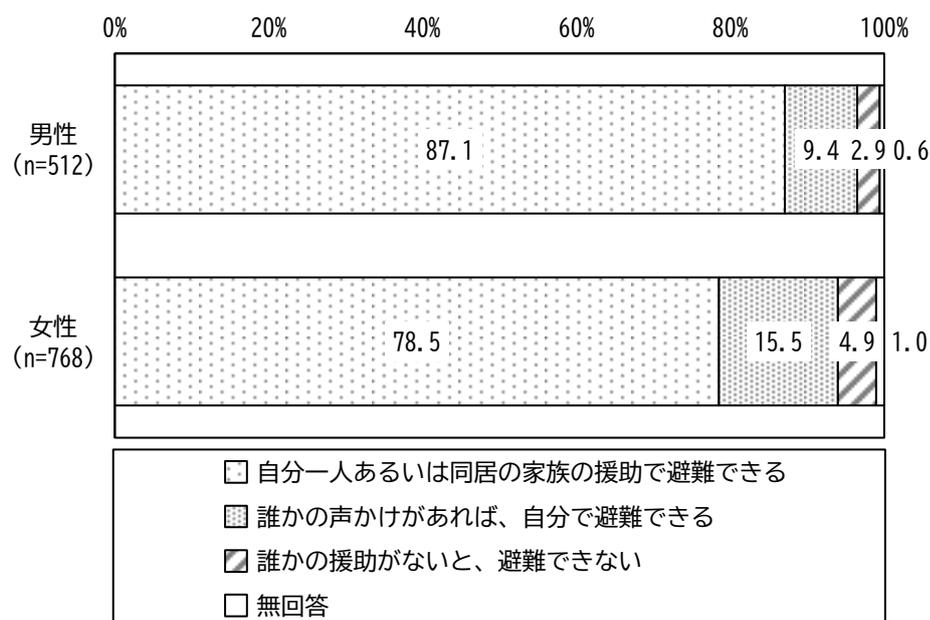
### 【全体】

「自分一人あるいは同居の家族の援助で避難できる」が 82.0%で最も多く、次いで「誰かの声かけがあれば、自分で避難できる」が 13.1%、「誰かの援助がないと、避難できない」が 4.1%となっています。



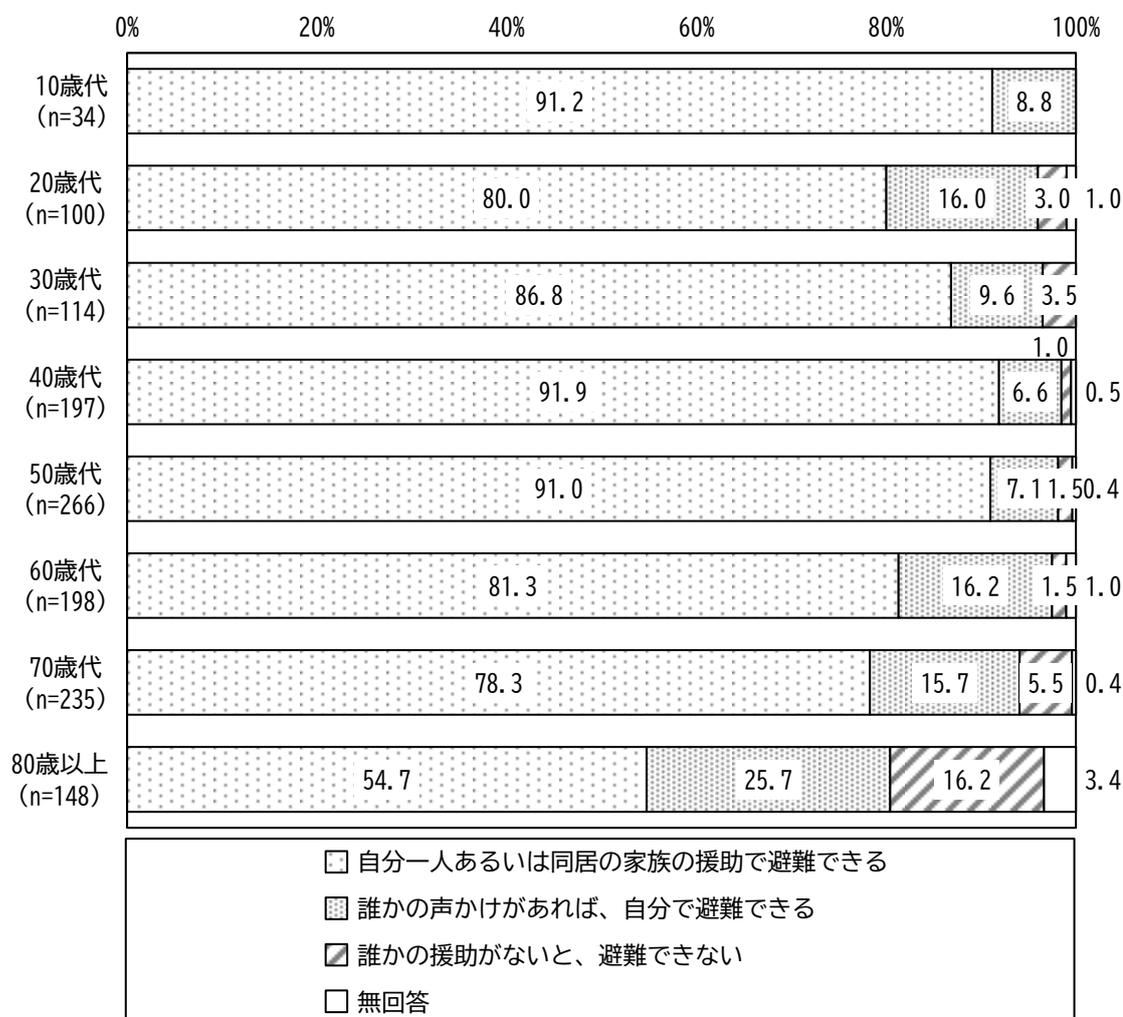
### 【性別】

「自分一人あるいは同居の家族の援助で避難できる」が男性は9割弱、女性は8割弱となっています。男性よりも女性の方が、「誰かの声かけがあれば、自分で避難できる」、「誰かの援助がないと、避難できない」といった家族以外の援助を求める割合が多くなっています。



## 【年齢別】

20歳代と60歳代以上で「誰かの声かけがあれば、自分で避難できる」が1割を超えて多くなっています。また、80歳以上では「誰かの声かけがあれば、自分で避難できる」が25.7%、「誰かの援助がないと、避難できない」も1割を超えています。

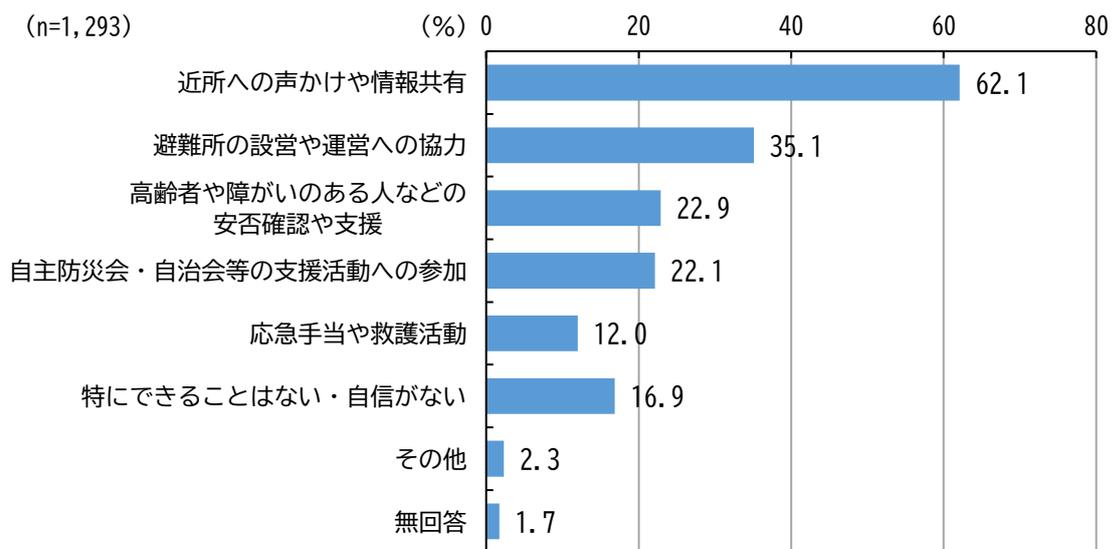


(10) 地震などの災害発生時にできそうな（またはできる）行動

問 21 地震などの災害が発生したとき、自分や家族の安全が確保できた後にあなたができそうな（またはできる）行動はなんですか。（〇はいくつでも）

【全体】

「近所への声かけや情報共有」が 62.1%で最も多く、次いで「避難所の設営や運営への協力」が 35.1%、「高齢者や障がいのある人などの安否確認や支援」が 22.9%となっています。



◇地震などの災害発生時、できそうな（またはできる）行動はなにか 「その他」の主な回答

内 容	
薬の手配	ペットの避難・見守り
外国人の通訳	

など

### 【性別】

「避難所の設営や運営への協力」、「自主防災会・自治会等の支援活動への参加」などの割合が男性で多くなっています。一方、「特にできることはない・自信がない」が女性で比較的多くなっています。

(%)

		n	近所への声かけや情報共有	避難所の設営や運営への協力	高齢者や障がいのある人などの安否確認や支援	自主防災会・自治会等の支援活動への参加	応急手当や救護活動	特にできることはない・自信がない	その他	無回答
全体		1,293	62.1	35.1	22.9	22.1	12.0	16.9	2.3	1.7
性別	男性	512	64.6	42.8	26.6	29.3	16.0	13.1	1.2	0.4
	女性	768	60.8	29.8	20.4	17.4	9.2	19.1	3.1	2.6

### 【年齢別】

10歳代では「避難所の設営や運営への協力」が最も多く、その他の年代では「近所への声かけや情報共有」が最も多くなっています。一方、70歳代以上では「特にできることはない・自信がない」が2割を超えています。

(%)

		n	近所への声かけや情報共有	避難所の設営や運営への協力	高齢者や障がいのある人などの安否確認や支援	自主防災会・自治会等の支援活動への参加	応急手当や救護活動	特にできることはない・自信がない	その他	無回答
全体		1,293	62.1	35.1	22.9	22.1	12.0	16.9	2.3	1.7
年齢	10歳代	34	50.0	58.8	23.5	11.8	17.6	17.6	0.0	0.0
	20歳代	100	57.0	47.0	11.0	8.0	23.0	15.0	2.0	1.0
	30歳代	114	57.9	40.4	14.0	17.5	23.7	17.5	3.5	0.9
	40歳代	197	66.5	46.2	28.4	22.3	13.7	9.1	2.5	0.5
	50歳代	266	70.7	43.6	30.8	32.0	15.0	10.9	2.6	0.4
	60歳代	198	65.7	36.9	26.3	30.3	7.6	15.2	1.5	0.5
	70歳代	235	62.1	20.0	21.7	18.7	5.1	20.4	1.3	1.3
	80歳以上	148	45.3	9.5	13.5	14.2	3.4	35.1	4.1	9.5

【問7・隣近所とのつきあいの程度とのクロス集計】

「お互いの家を行き来する付き合いがある」、「困ったときは、相談できて助け合える人がいる」、「世間話をする人がいる」と答えた人の方が、その他の回答よりも地域での災害発生時の協力活動への参加意欲が高い傾向がみられます。

近所づきあいの程度に関わらず、「避難所の設営や運営への協力」には3割を超えて参加意思を示しています。

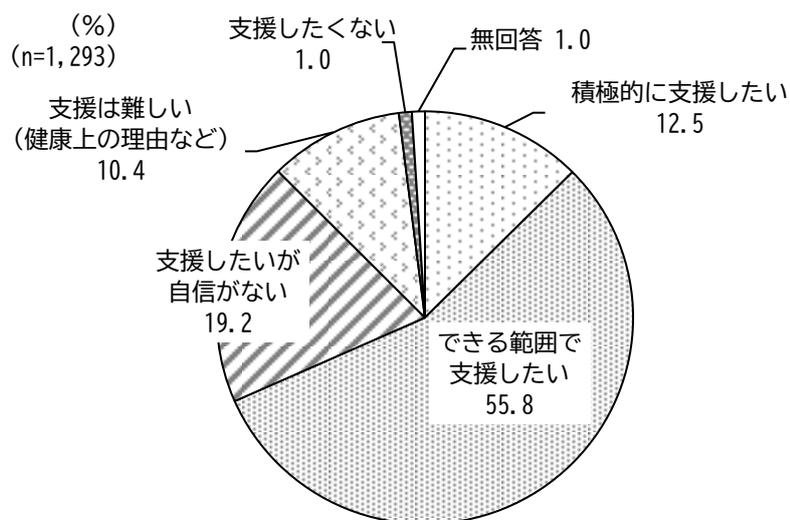
		n	近所への声かけや情報共有	避難所の設営や運営への協力	高齢者や障がいのある人などの安否確認や支援	自主防災会・自治会等の活動への参加	応急手当や救護活動	特にできることはない・自信がない	その他	(%) 無回答
全体		1293	62.1	35.1	22.9	22.1	12.0	16.9	2.3	1.7
隣近所とのつきあい	お互いの家を行き来する付き合いがある	151	74.8	33.8	25.2	25.8	9.3	12.6	0.7	2.0
	困ったときは、相談できて助け合える人がいる	195	72.3	35.9	29.2	31.8	13.8	10.8	2.1	1.5
	世間話をする人がいる	225	70.7	32.9	23.1	23.1	14.2	12.4	3.6	1.3
	挨拶をする人がいる	452	62.2	36.1	23.0	19.0	10.2	15.9	1.5	1.8
	ほとんど近所づきあいはない	150	44.7	35.3	15.3	18.0	12.7	26.7	5.3	1.3
	全く近所づきあいがいい	119	35.3	36.1	18.5	16.8	14.3	31.9	1.7	1.7

## (11) 地震などの災害発生時の支援

問 22 あなたは、地震などの災害が発生したときに地域の誰かを支援することについて、どう思いますか。(○は1つだけ)

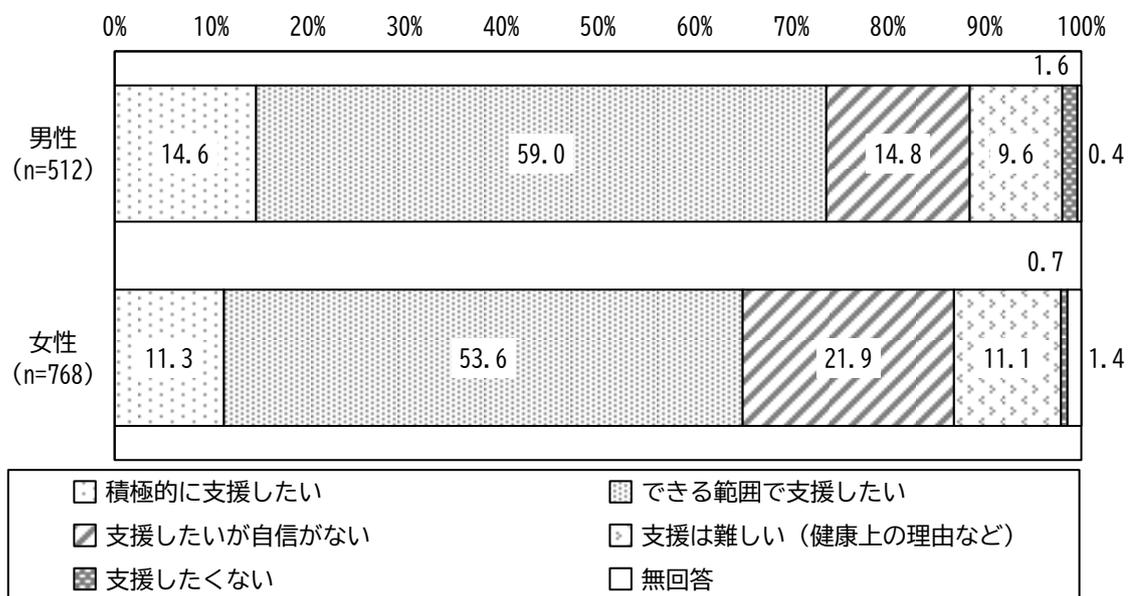
### 【全体】

「できる範囲で支援したい」が55.8%で最も多く、次いで「支援したいが自信がない」が19.2%、「積極的に支援したい」が12.5%となっています。



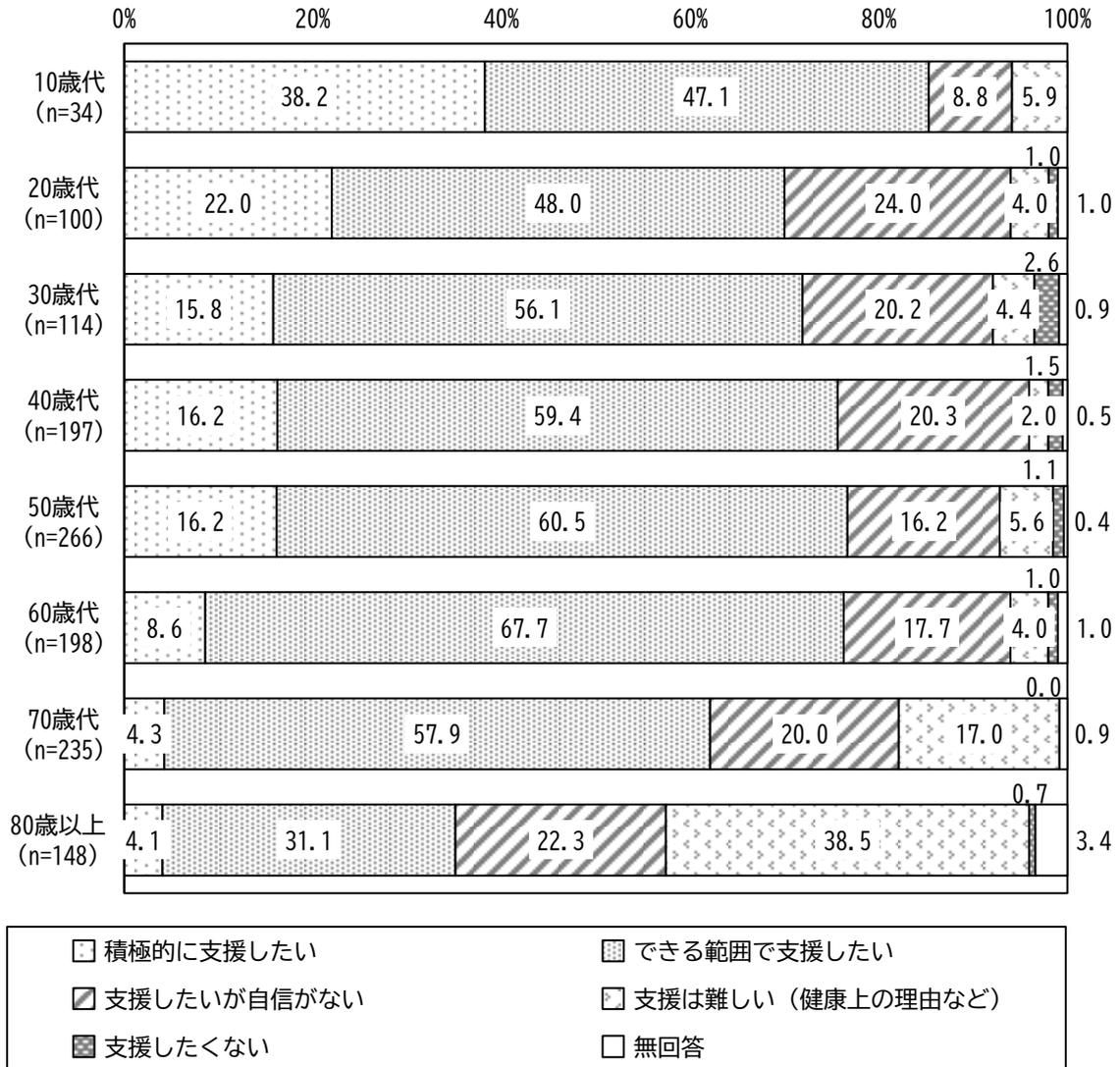
【性別】

男性では「積極的に支援したい」、「できる範囲で支援したい」の合計が7割を超えて多くなっています。一方、女性では「支援したいが自信がない」が男性より多くなっています。



【年齢別】

「積極的に支援したい」は10歳代で約4割と多く、年代が上がるに従ってその割合は減少していきます。また、10歳代では「積極的に支援したい」と「できる範囲で支援したい」の合計が8割を超えて多くなっています。80歳以上では「支援したいが自信がない」、「支援は難しい」の合計が6割を超えています。



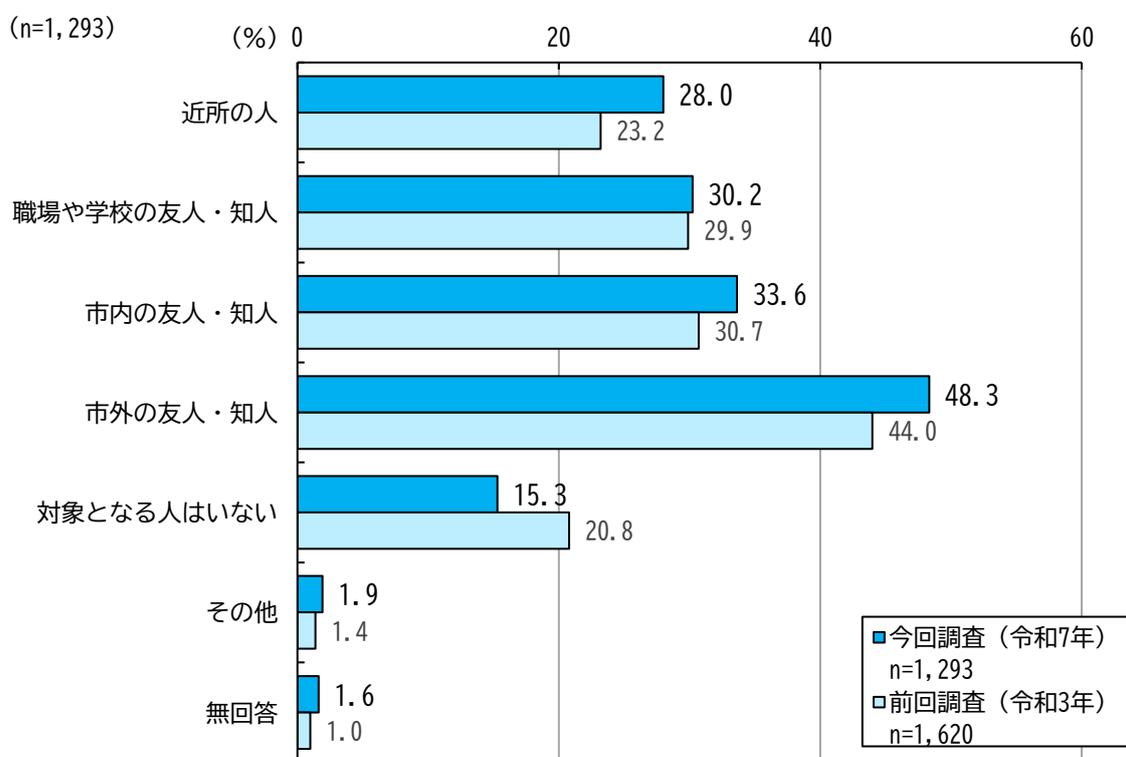
### Ⅲ. 人とのつながりについて

#### (1) 親しくつきあったり、困ったりしたときに助け合える人

問 23 あなたは、家族や親族以外で親しくつきあったり、困ったりしたときに助け合える人がいますか。(〇はいくつでも)

#### 【全体】

「市外の友人・知人」が48.3%で最も多く、次いで「市内の友人・知人」が33.6%、「職場や学校の友人・知人」が30.2%となっています。前回調査と比較して「近所の人」の割合は4.8ポイント、「市外の友人・知人」の割合は4.3ポイント上昇し、「対象となる人はいない」の割合は5.5ポイント減少しました。



※「対象となる人はいない」は前回調査では「親しくつきあっている人はいない」

◇家族や親族以外で親しくつきあったり、困ったりしたときに助け合える人がいるか

「その他」の主な回答

内 容	
趣味の友人・知人 (2件)	SNS上の知人
ケアマネジャー	

など

### 【性別】

男女ともに「市外の友人・知人」が最も多くなっています。次いで男性は「職場や学校の友人・知人」、女性は「市内の友人・知人」が多くなっています。「近所の人」と答えた人は女性が男性を上回り、「対象となる人はいない」と答えた人は男性が女性を上回っています。

(%)

		n	近所の人	職場や学校の友人・知人	市内の友人・知人	市外の友人・知人	対象となる人はいない	その他	無回答
全体		1,293	28.0	30.2	33.6	48.3	15.3	1.9	1.6
性別	男性	512	23.0	33.8	27.5	44.5	19.1	1.8	1.2
	女性	768	31.5	27.6	38.0	50.9	12.6	2.1	2.0

### 【年齢別】

10歳代では「職場や学校の友人・知人」が約8割と特に多くなっています。また、70歳代以上では「近所の人」が4～5割と比較的多くなっています。

(%)

		n	近所の人	職場や学校の友人・知人	市内の友人・知人	市外の友人・知人	対象となる人はいない	その他	無回答
全体		1,293	28.0	30.2	33.6	48.3	15.3	1.9	1.6
年齢	10歳代	34	11.8	79.4	55.9	58.8	5.9	0.0	0.0
	20歳代	100	12.0	58.0	38.0	51.0	9.0	0.0	1.0
	30歳代	114	11.4	41.2	26.3	58.8	14.0	0.9	0.0
	40歳代	197	25.9	44.7	33.5	54.8	13.7	1.5	0.5
	50歳代	266	26.7	36.1	35.3	51.1	15.0	2.6	0.4
	60歳代	198	20.2	25.3	28.8	50.0	18.2	1.0	2.5
	70歳代	235	41.3	8.1	34.0	46.4	18.3	2.6	2.1
	80歳以上	148	49.3	4.1	34.5	23.6	16.9	4.1	5.4

【問7・隣近所とのつきあいの程度とのクロス集計】

隣近所との親しいつきあいがある人ほど「近所の人」、「市内の友人・知人」の割合が多くなっています。一方、近所づきあいがいない人では「対象となる人はいない」が3割を超えています。

(%)

		n	近所の人	職場や 友人・知人の 学校の	市内の友人・ 知人	市外の友人・ 知人	対象とならない	その他	無回答
全体		1,293	28.0	30.2	33.6	48.3	15.3	1.9	1.6
隣近所とのつきあい	お互いの家を行き来する付き合いがある	151	60.9	26.5	62.9	59.6	3.3	0.7	0.7
	困ったときは、相談できて助け合える人がいる	195	55.9	33.3	49.2	46.7	3.1	2.1	0.0
	世間話をする人がいる	225	44.4	26.2	35.6	44.4	8.0	1.3	3.1
	挨拶をする人がいる	452	11.9	34.7	26.5	49.6	17.0	2.2	2.2
	ほとんど近所づきあいはない	150	4.0	25.3	22.7	40.7	33.3	3.3	0.0
	全く近所づきあいがいない	119	0.8	26.9	8.4	49.6	35.3	1.7	1.7

【問10・地域の催しへの参加意向とのクロス集計】

地域の催しへの参加意欲がある人ほど「近所の人」、「市内の友人・知人」「市外の友人・知人」の割合が多くなっています。一方、地域の催しに参加したくない人では「対象となる人はいない」が約4割となっています。

(%)

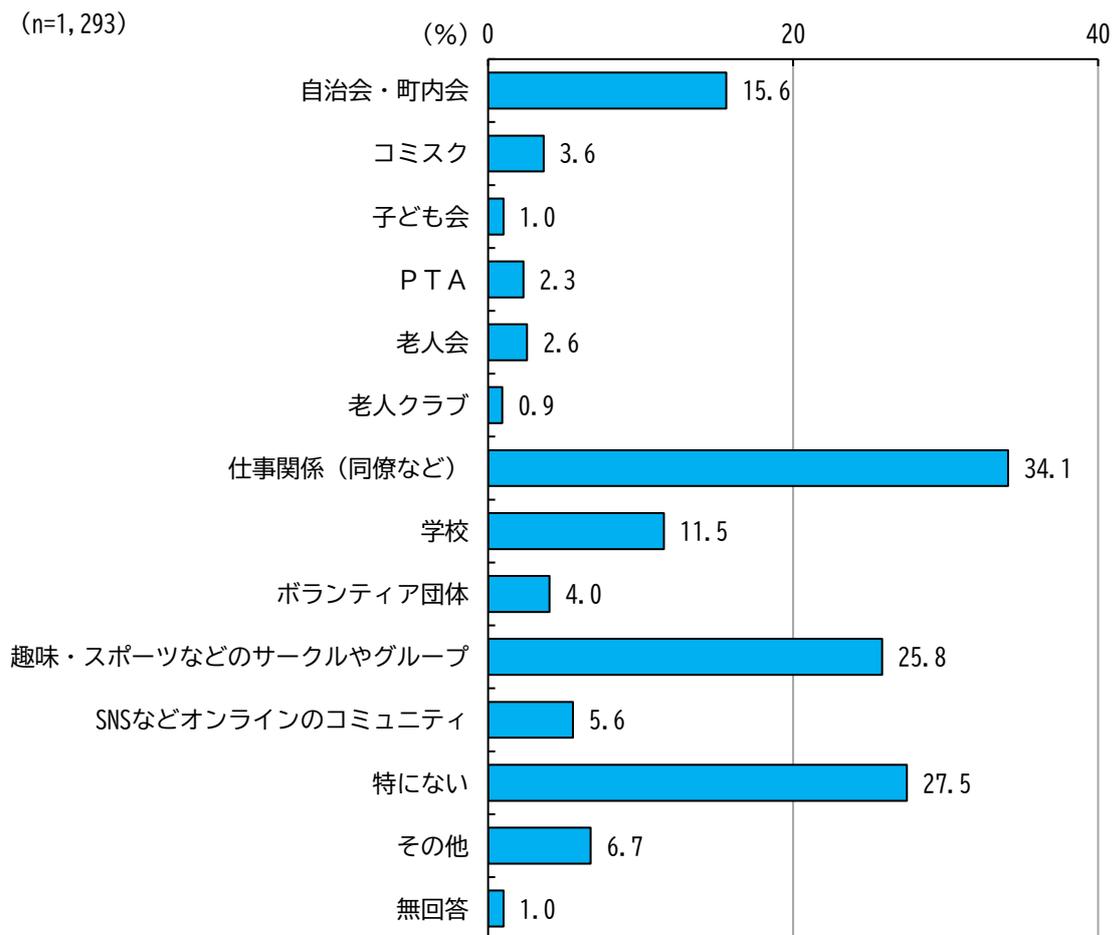
		n	近所の人	職場や 友人・知人の 学校の	市内の友人・ 知人	市外の友人・ 知人	対象とならない	その他	無回答
全体		1,293	28.0	30.2	33.6	48.3	15.3	1.9	1.6
地域の催しへの参加意向	積極的に参加したい	68	45.6	30.9	48.5	50.0	13.2	0.0	0.0
	できれば参加したい	688	33.1	33.0	38.4	50.9	9.3	1.7	1.3
	あまり参加したくない	423	21.7	29.3	28.6	47.5	18.9	2.1	1.4
	参加したくない	106	10.4	17.0	15.1	35.8	39.6	1.9	4.7

## (2) 日常的に関わりやつながりを持っているコミュニティ

問 24 あなたが、日常的に関わりやつながりを持っているコミュニティは何ですか。(〇はいくつでも)

### 【全体】

「仕事関係（同僚など）」が34.1%で最も多く、次いで「特にない」が27.5%、「趣味・スポーツなどのサークルやグループ」が25.8%となっています。



◇日常的に関わりやつながりを持っているコミュニティは何か 「その他」の主な回答

内 容	
友人（16件）	教会（8件）
ヘルパー、介護関係者、介護・高齢者施設（7件）	マンション管理組合・理事会（5件）
シルバー人材センター（4件）	ママ友（3件）
学友会・同窓会（3件）	行きつけの店（2件）
犬友（2件）	幼稚園、子育て支援施設（2件）
こどものボーイスカウト	高齢者生活支援センター

など

## 【性別】

男女ともに「仕事関係(同僚など)」が最も多くなっています。また、「自治会・町内会」では男性が、「趣味・スポーツなどのサークルやグループ」では女性が比較的多いといった特徴がみられます。

(%)

	n	自治会・町内会	コミスク	子ども会	PTA	老人会	老人クラブ	仕事関係(同僚など)	学校	ボランティア団体	趣味・スポーツなどのサークルやグループ	SNSなどオンラインのコミュニケーション	特にない	その他	無回答	
全体	1,293	15.6	3.6	1.0	2.3	2.6	0.9	34.1	11.5	4.0	25.8	5.6	27.5	6.7	1.0	
性別																
男性	512	17.0	3.9	1.0	2.0	2.5	0.8	38.7	10.4	3.5	23.2	5.3	29.3	5.9	0.2	
女性	768	14.8	3.5	1.0	2.6	2.6	1.0	31.1	12.2	4.3	27.9	5.3	26.3	7.2	1.6	

## 【年齢別】

20歳代から60歳代では「仕事関係(同僚など)」、10歳代、20歳代（「仕事関係(同僚など)」と同率）では「学校」が最も多くなっています。一方、70歳代以上では「特にない」が最も多くなっています。

(%)

	n	自治会・町内会	コミスク	子ども会	PTA	老人会	老人クラブ	仕事関係(同僚など)	学校	ボランティア団体	趣味・スポーツなどのサークルやグループ	SNSなどオンラインのコミュニケーション	特にない	その他	無回答
全体	1,293	15.6	3.6	1.0	2.3	2.6	0.9	34.1	11.5	4.0	25.8	5.6	27.5	6.7	1.0
年齢	10歳代	34	5.9	2.9	0.0	0.0	0.0	5.9	79.4	5.9	29.4	8.8	14.7	0.0	0.0
	20歳代	100	2.0	1.0	0.0	1.0	0.0	34.0	34.0	2.0	27.0	15.0	22.0	7.0	2.0
	30歳代	114	2.6	4.4	2.6	1.8	0.0	50.9	13.2	3.5	16.7	13.2	29.8	6.1	0.0
	40歳代	197	7.6	8.1	3.0	7.1	0.0	52.3	23.4	0.5	15.7	7.6	24.9	6.6	0.0
	50歳代	266	16.9	3.8	0.8	4.5	0.0	50.4	7.9	4.9	25.2	5.3	20.7	6.4	0.0
	60歳代	198	18.7	2.0	0.5	0.0	0.0	36.9	0.5	5.6	28.8	4.0	27.8	5.1	1.5
	70歳代	235	23.4	2.1	0.0	0.0	5.1	11.9	0.9	5.5	32.3	0.9	36.2	8.1	2.1
	80歳以上	148	28.4	3.4	0.7	0.7	14.2	4.7	6.1	2.0	4.1	31.8	0.0	33.8	9.5

### 【小学校区別】

朝日ヶ丘小学校区では「特にない」、浜風小学校区では「自治会・町内会」、その他の小学校区では「仕事関係(同僚など)」が最も多くなっています。

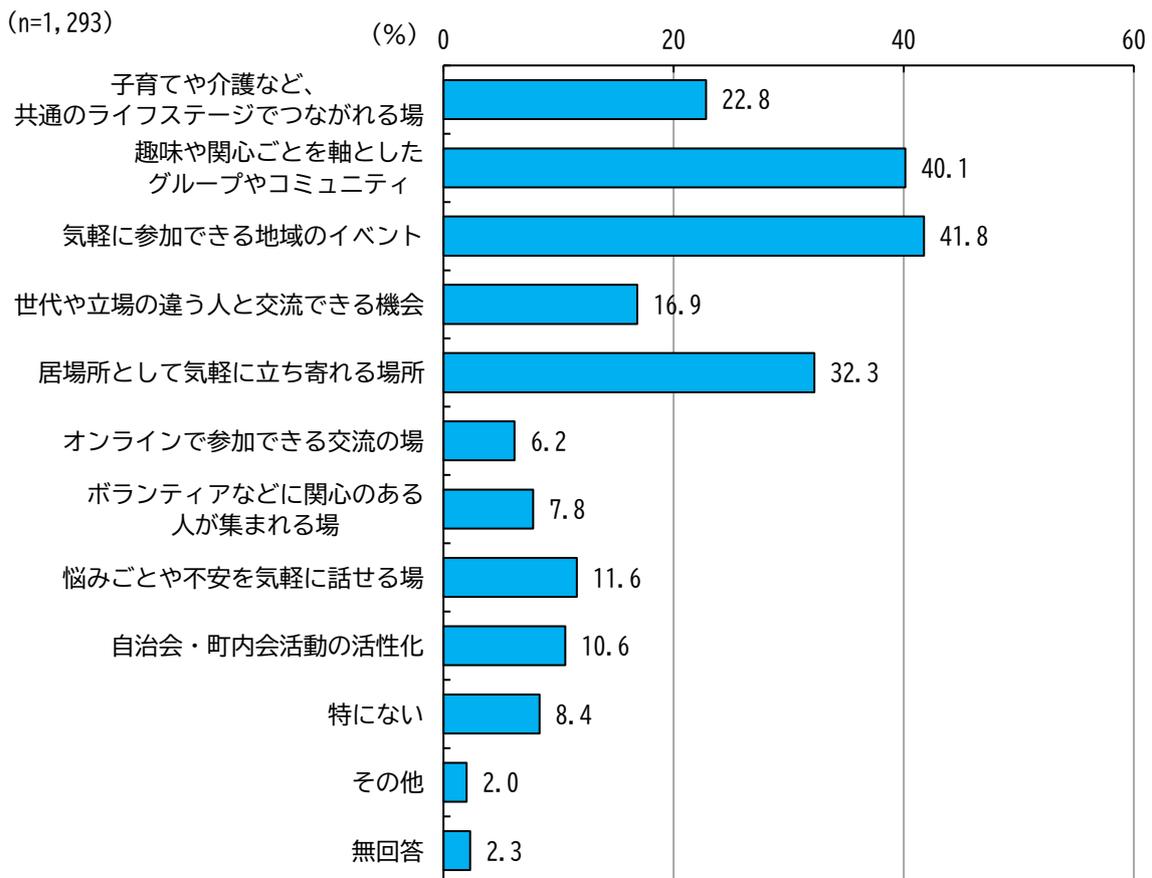
		(%)														
n		自治会・町内会	コミスク	子ども会	PTA	老人会	老人クラブ	仕事関係(同僚など)	学校	ボランティア団体	趣味・スポーツやグループ	SNSなどオンラインのコミュニケーション	特にない	その他	無回答	
全体	1,293	15.6	3.6	1.0	2.3	2.6	0.9	34.1	11.5	4.0	25.8	5.6	27.5	6.7	1.0	
小学校区	山手小学校区	255	15.7	3.9	1.2	2.4	2.4	0.0	35.3	11.4	4.3	26.7	4.7	26.3	9.0	0.0
	朝日ヶ丘小学校区	109	11.0	4.6	0.0	9.2	0.9	0.0	30.3	11.9	4.6	24.8	8.3	33.9	5.5	0.0
	岩園小学校区	183	12.6	1.6	0.5	2.2	3.8	1.1	32.2	14.8	5.5	27.9	4.9	25.7	7.7	1.1
	精道小学校区	189	12.2	1.6	1.1	0.0	3.2	1.1	37.6	10.6	6.3	27.0	5.3	26.5	5.3	1.1
	宮川小学校区	164	12.2	6.1	3.0	1.2	2.4	0.6	39.6	13.4	3.7	26.2	9.1	28.7	5.5	0.6
	打出浜小学校区	125	9.6	5.6	0.0	2.4	2.4	1.6	38.4	12.8	2.4	27.2	4.0	28.8	5.6	1.6
	潮見小学校区	160	24.4	3.1	0.6	3.1	2.5	1.9	28.1	11.3	2.5	23.1	5.6	26.9	7.5	1.3
	浜風小学校区	88	34.1	2.3	1.1	0.0	1.1	1.1	26.1	4.5	1.1	19.3	2.3	26.1	5.7	3.4

### (3) 人のつながりを増やすために必要なこと

問 25 人のつながりを増やすために必要なことは何だと思いますか。(〇は3つまで)

#### 【全体】

「気軽に参加できる地域のイベント」が 41.8%で最も多く、次いで「趣味や関心ごとを軸としたグループやコミュニティ」が 40.1%、「居場所として気軽に立ち寄れる場所」が 32.3%となっています。



#### ◇人のつながりを増やすために必要なこと 「その他」の主な回答

内 容	
常識・マナー・礼儀 (3件)	時間の余裕
寛容な心	健康
広報	個人情報の開示
同じ距離感でのコミュニケーション	つながりを作りたい人ばかりではない

など

## 【性別】

「子育てや介護など、共通のライフステージでつながれる場」では女性が、「オンラインで参加できる交流の場」では男性が比較的多くなっています。

		n	子育てや介護など、共通の場	趣味や関心ごとを軸としたグループやコミュニティ	気軽に参加できる地域のイベント	世代や立場の違う人と交流できる機会	居場所として気軽に立ち寄れる場所	オンラインで参加できる交流の場	ある人が集まれる場	悩みごとや不安を気軽に話せる場	自治会・町内会活動の活性化	特になし	その他	無回答
全体		1,293	22.8	40.1	41.8	16.9	32.3	6.2	7.8	11.6	10.6	8.4	2.0	2.3
性別	男性	512	17.6	40.6	44.3	17.6	34.0	9.0	8.2	10.7	12.9	9.2	2.3	1.0
	女性	768	26.3	40.1	40.1	16.3	31.0	3.9	7.7	11.8	9.2	7.8	1.8	3.1

## 【年齢別】

30歳代、40歳代では「子育てや介護など、共通のライフステージでつながれる場」が他の年齢層より比較的多くなっています。また、すべての年代において、「趣味や関心ごとを軸としたグループやコミュニティ」、「気軽に参加できる地域のイベント」、「居場所として気軽に立ち寄れる場所」が多くなっています。

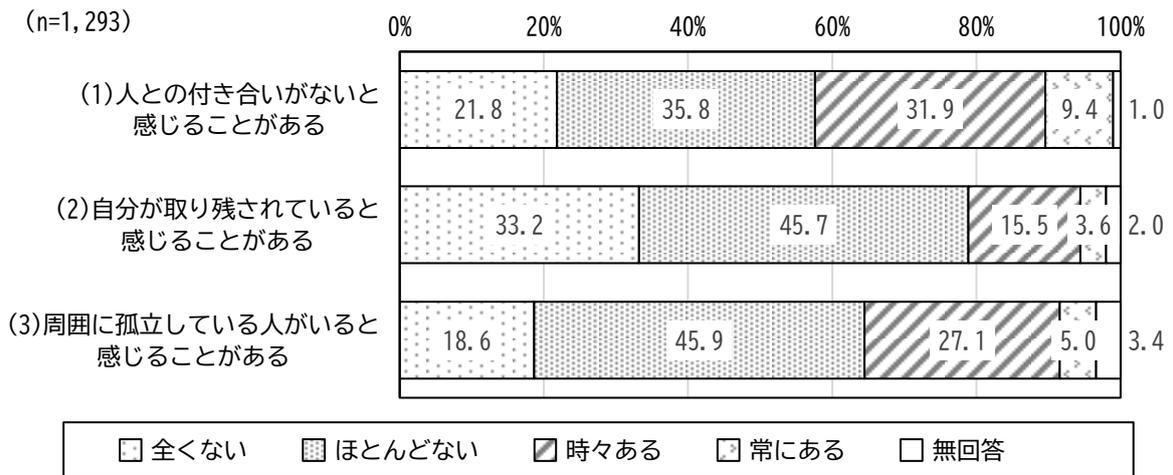
		n	子育てや介護など、共通の場	趣味や関心ごとを軸としたグループやコミュニティ	気軽に参加できる地域のイベント	世代や立場の違う人と交流できる機会	居場所として気軽に立ち寄れる場所	オンラインで参加できる交流の場	ある人が集まれる場	悩みごとや不安を気軽に話せる場	自治会・町内会活動の活性化	特になし	その他	無回答
全体		1,293	22.8	40.1	41.8	16.9	32.3	6.2	7.8	11.6	10.6	8.4	2.0	2.3
年齢	10歳代	34	11.8	41.2	44.1	20.6	32.4	11.8	5.9	11.8	14.7	2.9	0.0	0.0
	20歳代	100	20.0	54.0	38.0	14.0	31.0	12.0	4.0	10.0	2.0	9.0	2.0	1.0
	30歳代	114	43.9	38.6	53.5	12.3	27.2	9.6	7.0	7.9	2.6	7.0	0.9	0.0
	40歳代	197	41.1	42.6	45.7	18.8	30.5	5.1	8.6	16.2	7.1	7.6	2.0	1.0
	50歳代	266	25.2	42.1	40.2	19.9	33.5	7.1	10.5	10.5	9.0	7.1	3.4	0.8
	60歳代	198	16.2	41.9	38.4	19.7	31.8	8.1	14.1	9.1	11.1	6.1	2.0	2.5
	70歳代	235	11.5	36.2	44.7	16.2	38.7	1.7	4.7	11.1	17.4	10.6	0.0	2.6
	80歳以上	148	9.5	29.1	32.4	10.8	27.7	2.7	2.0	15.5	16.9	12.8	4.1	9.5

#### (4) 人との付き合い

問 26 あなたは、以下の項目についてどれにあてはまりますか。(それぞれの項目について1つだけ○)

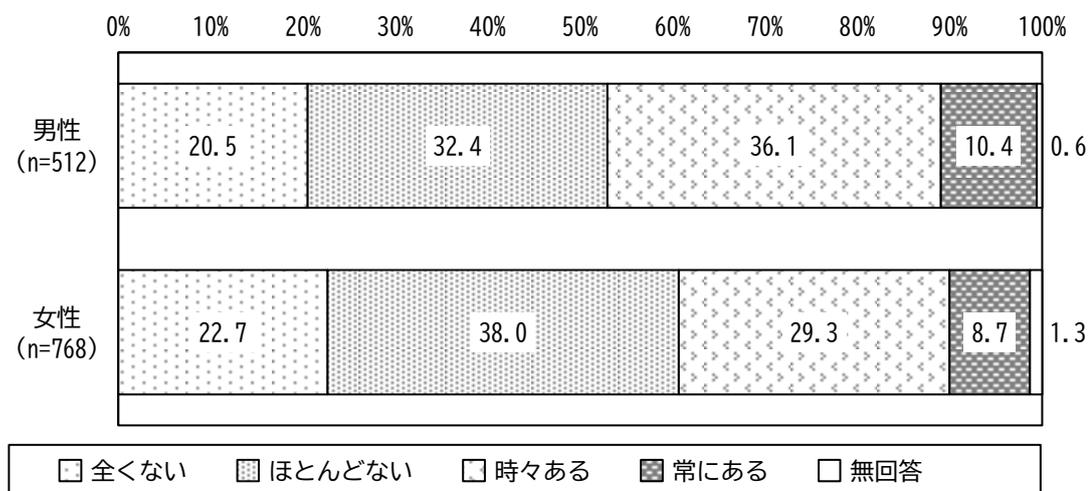
##### 【全体】

「時々ある」「常にある」の合計は「(1) 人との付き合いがないと感じることがある」が 41.3%で最も多く、次いで「(3) 周囲に孤立している人がいると感じることがある」が 32.1%、「(2)自分が取り残されていると感じることがある」が 19.1%となっています。



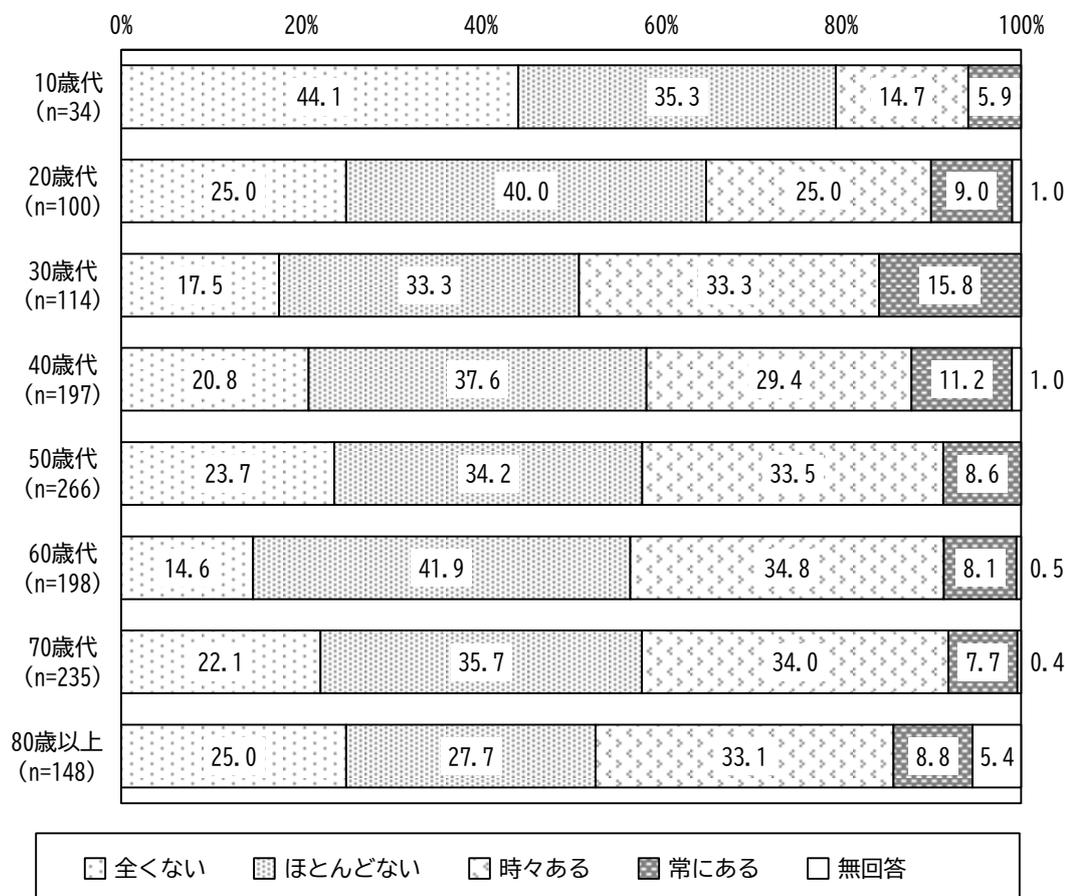
【(1)人との付き合いがないと感じることがある／性別】

男性は女性より「時々ある」が比較的多くなっています。



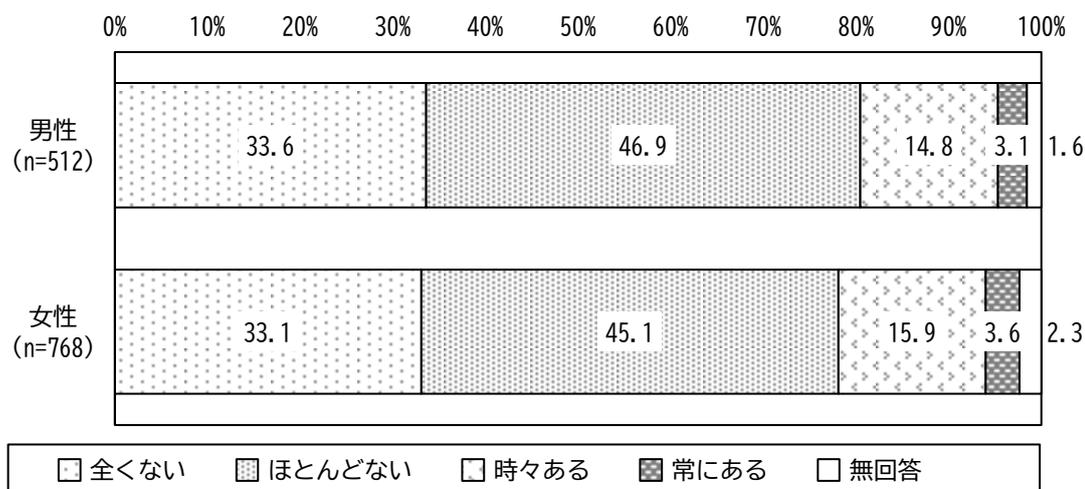
【(1)人との付き合いがないと感じることがある／年齢別】

10歳代では「全くない」が最も多くなっています。30歳代以上では「時々ある」が3割前後となっています。また、30歳代、40歳代では「常にある」が1割を超えています。



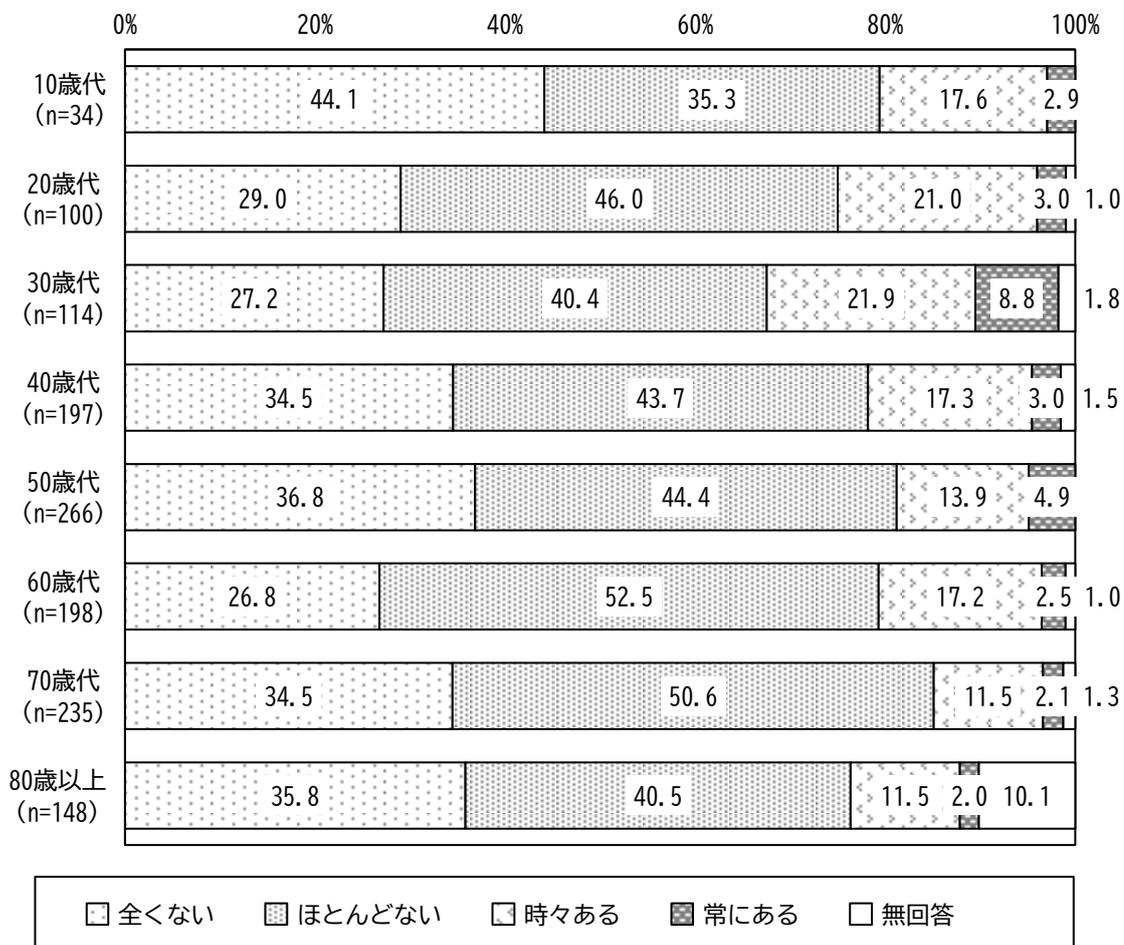
【(2)自分が取り残されていると感じることがある／性別】

性別に大きな差はみられません。



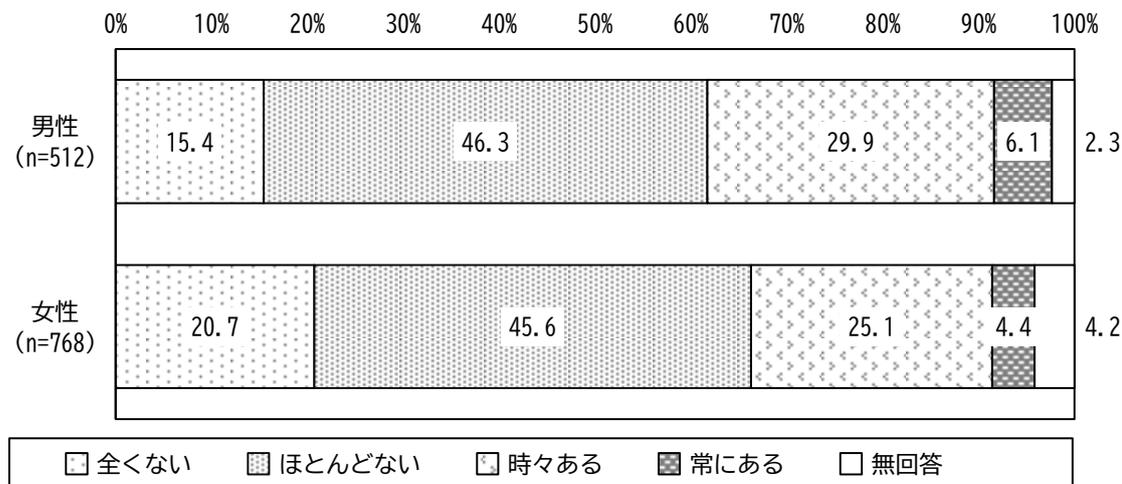
【(2)自分が取り残されていると感じることがある／年齢別】

20歳代、30歳代では「時々ある」が2割を超えており、30歳代では「常にある」と合わせると3割を超える人が、自分が取り残されていると感じています。



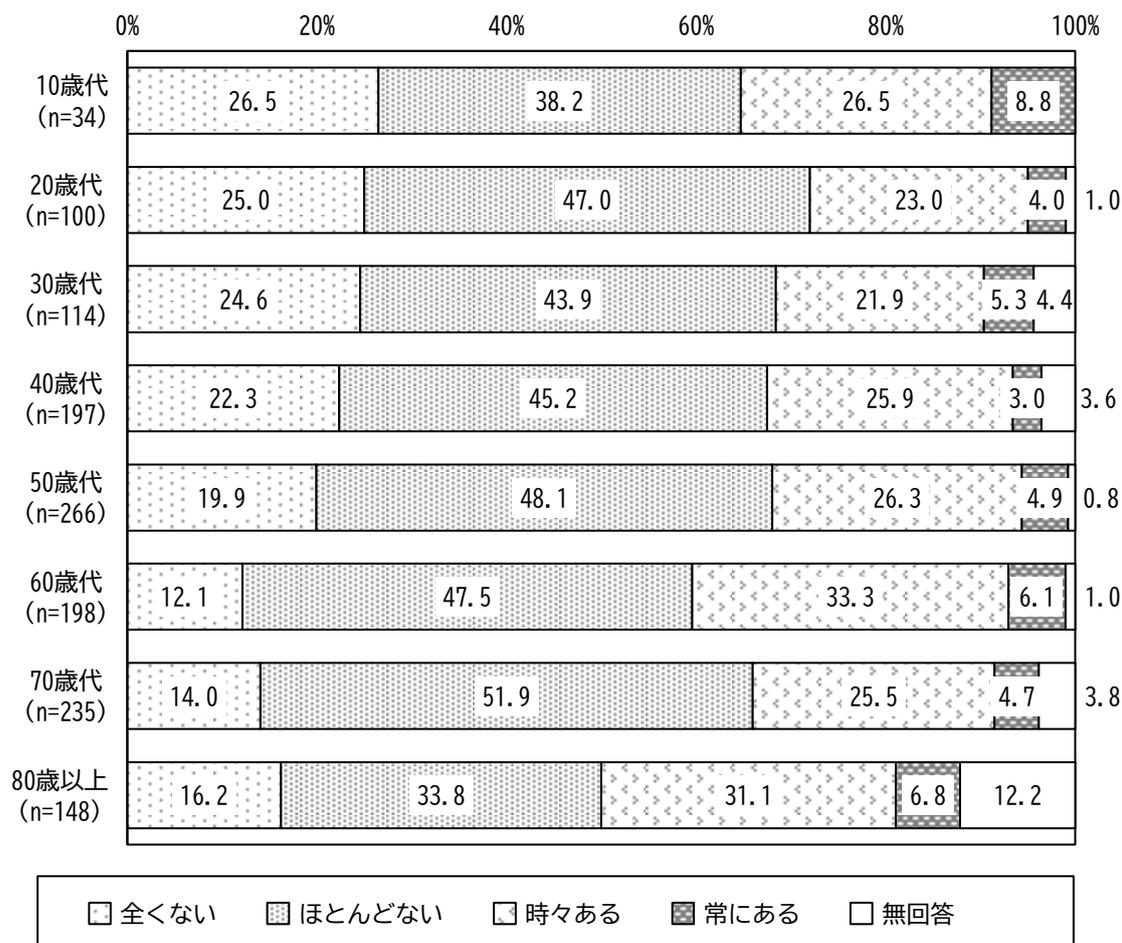
### 【(3)周囲に孤立している人がいると感じることがある／性別】

男性で、「時々ある」、「常にある」を合わせた割合が女性より多くなっています。



### 【(3)周囲に孤立している人がいると感じることがある／年齢別】

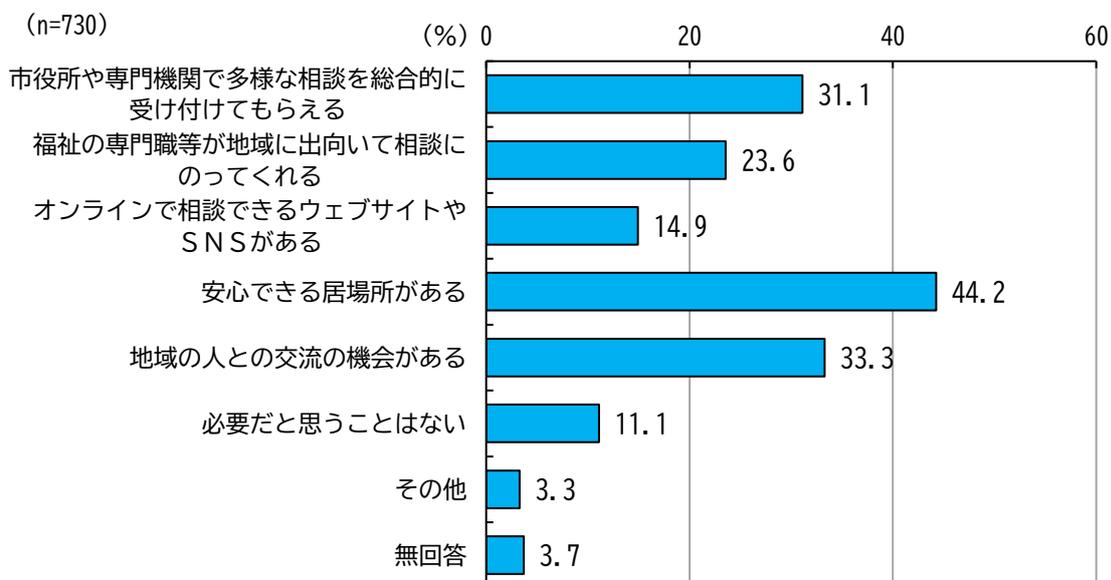
60歳代、80歳代では「時々ある」が3割を超えています。



問 27 問 26 で「3. 時々ある」または「4. 常にある」を1つでも選択した方におたずねします。  
必要だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

【全体】

「安心できる居場所がある」が 44.2%で最も多く、次いで「地域の人との交流の機会がある」が 33.3%、「市役所や専門機関で多様な相談を総合的に受け付けてもらえる」が 31.1%となっています。



◇必要だと思うことは何か 「その他」の主な回答

内 容	
気軽に相談できる場所・気軽なコミュニティ (3件)	現役世代の生活の余裕
自身の意識改革	身体的・経済的自立
支援があることの周知	オンラインでの対応

など

【性別】

「地域の人との交流の機会がある」では男性が比較的多くなっています。

		n	(%)							
			を市役所や専門機関で多様な相談を総合的に受け付けてもらえる	て福祉の専門職等が地域に出向いて相談のつてくれる	オンラインやSNSがある	安心できる居場所がある	地域の人との交流の機会がある	必要だと思わない	その他	無回答
全体		730	31.1	23.6	14.9	44.2	33.3	11.1	3.3	3.7
性別	男性	312	32.4	25.6	15.7	43.9	38.8	11.5	3.2	2.6
	女性	409	30.1	21.8	13.7	44.5	29.1	10.8	3.4	4.6

【年齢別】

10歳代では「安心できる居場所がある」が7割を超えて特に多くなっています。また、10歳代から30歳代では「オンラインで相談できるウェブサイトやSNSがある」、40歳代以上では「市役所や専門機関で多様な相談を総合的に受け付けてもらえる」が比較的多くなっています。

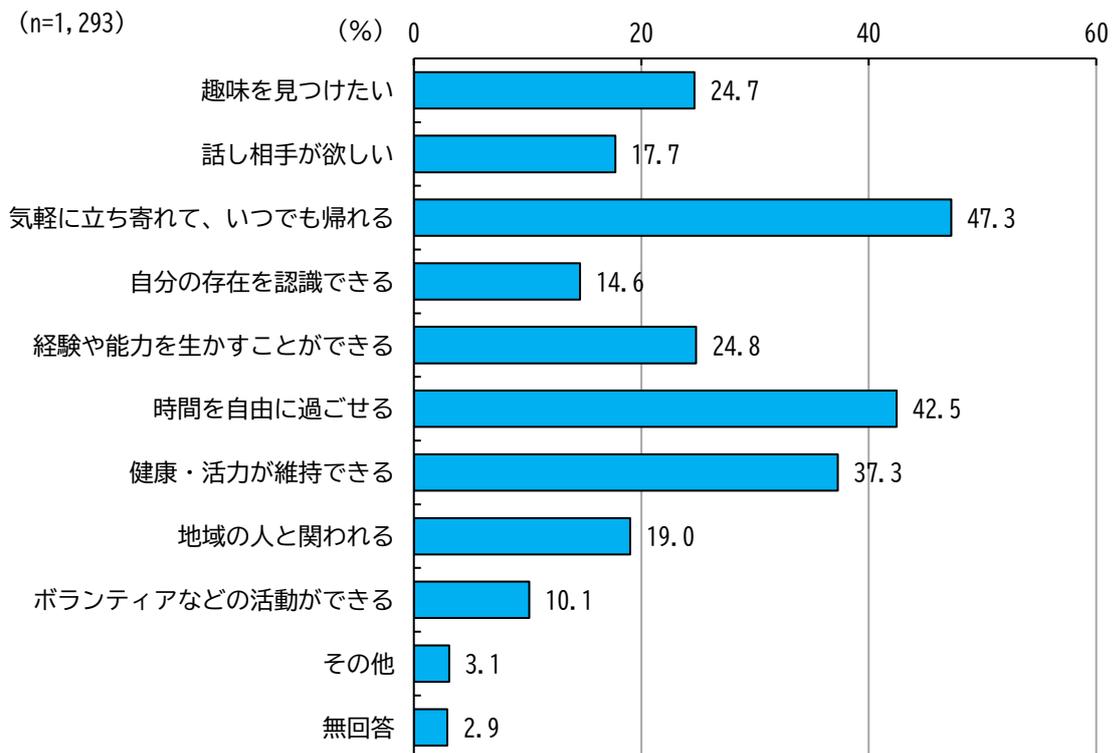
		n	(%)							
			を市役所や専門機関で多様な相談を総合的に受け付けてもらえる	て福祉の専門職等が地域に出向いて相談のつてくれる	オンラインやSNSがある	安心できる居場所がある	地域の人との交流の機会がある	必要だと思わない	その他	無回答
全体		730	31.1	23.6	14.9	44.2	33.3	11.1	3.3	3.7
年齢	10歳代	15	13.3	13.3	33.3	73.3	33.3	6.7	0.0	0.0
	20歳代	48	14.6	10.4	29.2	56.3	33.3	10.4	2.1	2.1
	30歳代	67	22.4	10.4	28.4	55.2	25.4	16.4	3.0	1.5
	40歳代	112	31.3	21.4	15.2	50.0	33.0	8.9	2.7	3.6
	50歳代	150	30.0	24.0	16.7	42.7	38.7	14.7	5.3	1.3
	60歳代	120	38.3	23.3	13.3	36.7	40.8	7.5	2.5	3.3
	70歳代	133	36.1	26.3	5.3	42.1	31.6	12.0	3.8	3.0
	80歳以上	84	34.5	41.7	7.1	33.3	21.4	8.3	2.4	13.1

## (5) 居場所に求めるもの

問 28 あなたが居場所に求めるものは何ですか。(〇はいくつでも)

### 【全体】

「気軽に立ち寄れて、いつでも帰れる」が 47.3%で最も多く、次いで「時間を自由に過ごせる」が 42.5%、「健康・活力が維持できる」が 37.3%となっています。



### ◇居場所に求めるもの 「その他」の主な回答

内 容	
社会とのつながり (2件)	自分の味方
次の活動などを強制されず自身の希望で動ける環境	
個人情報共有しなくても気軽に立ち寄れる場所がある	
好きなことや時間を共有できる	

など

### 【性別】

男女ともに「気軽に立ち寄れて、いつでも帰れる」が最も多くなっていますが、「経験や能力を生かすことができる」では男性が比較的多くなっています。

		(%)											
		n	趣味を見つけない	話し相手が欲しい	気軽に立ち寄れて、いつでも帰れる	自分の存在を認識できる	経験や能力を生かすことができる	時間を自由に過ごせる	健康・活力が維持できる	地域の人と関われる	ボランティアなどの活動ができる	その他	無回答
全体		1,293	24.7	17.7	47.3	14.6	24.8	42.5	37.3	19.0	10.1	3.1	2.9
性別	男性	512	26.0	16.0	47.1	14.5	30.5	45.1	35.5	21.7	10.4	2.9	2.9
	女性	768	24.0	18.6	47.4	14.2	20.8	40.6	38.5	17.1	10.0	3.1	3.0

### 【年齢別】

10歳代を中心に若い世代では「話し相手が欲しい」、「自分の存在を認識できる」、20歳代では「趣味を見つけない」、30歳代、40歳代では「気軽に立ち寄れて、いつでも帰れる」が他の年齢層より比較的多いといった特徴がみられます。また、年代が上がるほど「健康・活力が維持できる」の割合が多くなる傾向にあります。

		(%)											
		n	趣味を見つけない	話し相手が欲しい	気軽に立ち寄れて、いつでも帰れる	自分の存在を認識できる	経験や能力を生かすことができる	時間を自由に過ごせる	健康・活力が維持できる	地域の人と関われる	ボランティアなどの活動ができる	その他	無回答
全体		1,293	24.7	17.7	47.3	14.6	24.8	42.5	37.3	19.0	10.1	3.1	2.9
年齢	10歳代	34	20.6	58.8	38.2	41.2	26.5	35.3	14.7	11.8	8.8	0.0	0.0
	20歳代	100	41.0	35.0	45.0	21.0	18.0	48.0	20.0	14.0	2.0	3.0	2.0
	30歳代	114	28.9	31.6	59.6	18.4	28.9	48.2	21.9	15.8	6.1	2.6	0.0
	40歳代	197	28.9	21.8	54.8	19.3	23.4	47.2	35.0	16.2	11.7	3.0	0.0
	50歳代	266	27.4	13.2	48.9	13.9	34.2	42.1	36.1	19.9	14.7	2.6	1.5
	60歳代	198	24.7	8.6	43.4	12.6	31.8	40.9	42.4	20.2	14.6	3.0	2.5
	70歳代	235	17.0	11.1	40.4	8.5	20.4	45.1	48.9	21.7	8.9	2.6	3.0
	80歳以上	148	12.8	11.5	44.6	8.8	8.8	28.4	45.9	22.3	4.7	6.1	13.5

【問 26（1）「人との付き合いがないと感じることがある」とのクロス集計】

「人との付き合いがないと感じることがある」が「常にある」人は、「話し相手が欲しい」が 25.4%と、比較的多くなっています。

		(%)											
		n	趣味を見つけたい	話し相手が欲しい	気軽に立ち寄れて、いつでも帰れる	自分の存在を認識できる	経験や能力を生かすことができる	時間を自由に過ごせる	健康・活力が維持できる	地域の人と関われる	ボランティアなどの活動ができる	その他	無回答
全体		1293	24.7	17.7	47.3	14.6	24.8	42.5	37.3	19.0	10.1	3.1	2.9
人との付き合いがないと感じる	全くない	282	17.4	19.1	42.9	17.0	25.5	40.8	41.1	24.1	11.7	4.6	2.5
	ほとんどない	463	28.7	15.3	51.0	12.5	28.1	46.2	39.7	17.1	10.4	1.9	2.6
	時々ある	413	25.2	17.7	47.7	14.3	22.8	42.4	35.6	18.4	9.7	2.4	1.9
	常にある	122	25.4	25.4	44.3	19.7	19.7	34.4	28.7	18.9	6.6	6.6	2.5

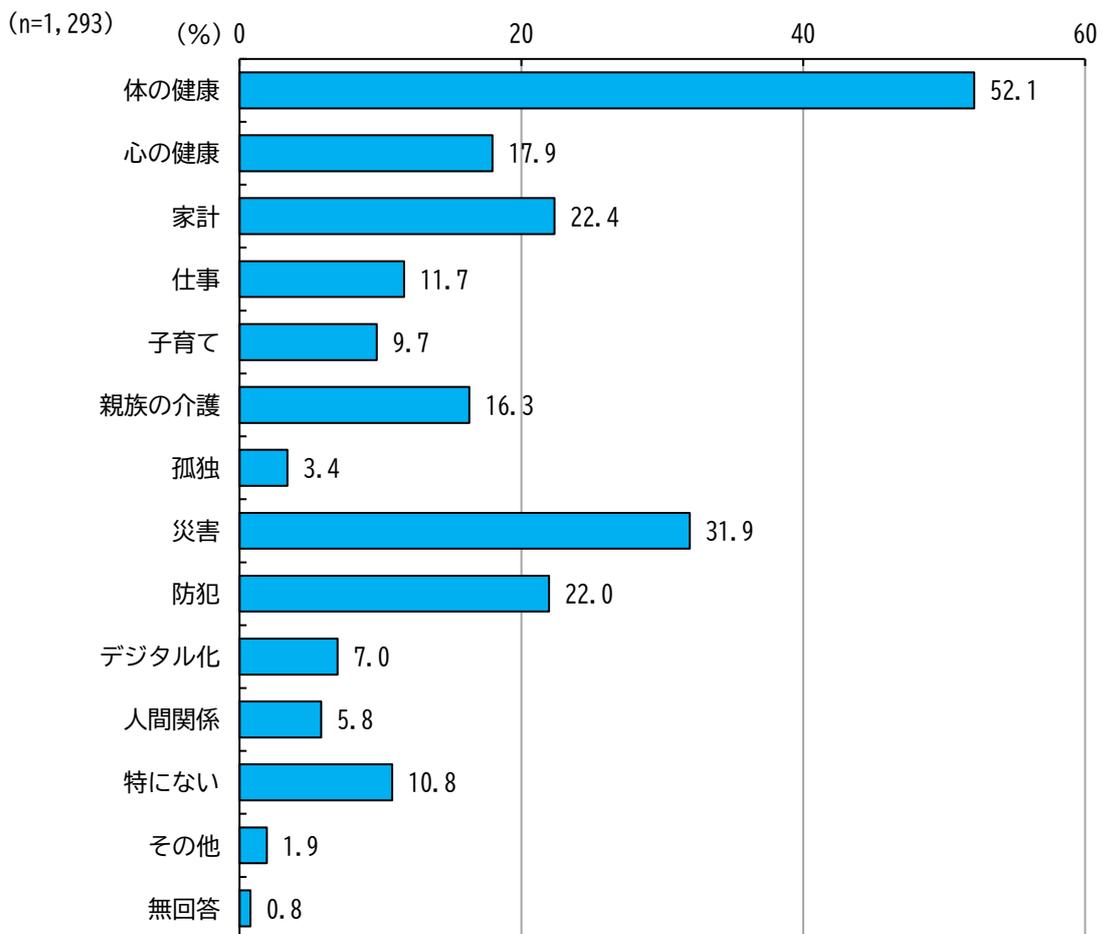
## IV. 福祉に関する相談について

### (1) 日頃不安を感じていること

問 29 あなたが日頃不安を感じていることは何ですか。(〇は3つまで)

#### 【全体】

「体の健康」が52.1%で最も多く、次いで「災害」が31.9%、「家計」が22.4%となっています。



#### ◇日頃不安を感じていること 「その他」の主な回答

内 容	
子の将来・子の幸せ（4件）	老後の生活（2件）
進路（2件）	終活
記憶力の低下	家族の健康
医療費の圧迫	家庭環境

など

## 【性別】

「仕事」では男性が、「災害」、「防犯」などの項目では女性が比較的多くなっています。

		(%)														
		n	体の健康	心の健康	家計	仕事	子育て	親族の介護	孤独	災害	防犯	デジタル化	人間関係	特にない	その他	無回答
全体		1,293	52.1	17.9	22.4	11.7	9.7	16.3	3.4	31.9	22.0	7.0	5.8	10.8	1.9	0.8
性別	男性	512	51.0	17.2	21.9	15.8	8.8	14.6	2.7	28.3	19.9	5.9	6.6	11.5	2.1	0.8
	女性	768	53.3	18.6	22.7	9.0	10.3	16.9	3.8	33.9	23.2	7.8	5.3	10.5	1.8	0.8

## 【年齢別】

40歳代以上では「体の健康」が最も多く、特に70歳代以上では6割を超えています。また、10歳代、20歳代では「特にない」、「人間関係」、30歳代、40歳代では「子育て」、40歳代から60歳代では「親族の介護」、60歳代以上では「デジタル化」が他の年齢層より比較的多くなっています。

		(%)														
		n	体の健康	心の健康	家計	仕事	子育て	親族の介護	孤独	災害	防犯	デジタル化	人間関係	特にない	その他	無回答
全体		1,293	52.1	17.9	22.4	11.7	9.7	16.3	3.4	31.9	22.0	7.0	5.8	10.8	1.9	0.8
年齢	10歳代	34	14.7	20.6	11.8	2.9	0.0	0.0	2.9	29.4	5.9	2.9	23.5	35.3	5.9	0.0
	20歳代	100	31.0	22.0	17.0	31.0	4.0	6.0	6.0	33.0	16.0	0.0	16.0	19.0	1.0	0.0
	30歳代	114	28.9	26.3	36.0	21.9	35.1	7.9	6.1	23.7	14.9	3.5	5.3	10.5	0.9	1.8
	40歳代	197	44.7	17.8	31.0	12.7	30.5	23.9	4.1	34.0	20.8	4.6	8.6	4.6	2.5	0.0
	50歳代	266	50.0	14.3	21.8	14.3	7.1	32.3	1.9	36.1	21.8	3.0	4.9	12.8	0.4	0.4
	60歳代	198	59.1	19.7	21.2	11.1	1.0	21.2	4.0	34.3	26.8	9.6	1.5	8.6	2.5	0.0
	70歳代	235	66.0	14.5	23.0	3.8	0.4	5.1	2.1	29.8	21.7	13.2	3.8	9.8	3.0	1.3
	80歳以上	148	75.7	18.2	7.4	0.0	0.0	6.1	2.7	28.4	31.1	12.2	2.0	9.5	2.0	2.7

## 【小学校区別】

すべての小学校区で「体の健康」が最も多くなっています。山手小学校区では「防犯」、朝日ヶ丘小学校区、浜風小学校区では「家計」、宮川小学校区では「災害」が他の校区より比較的多くなっています。

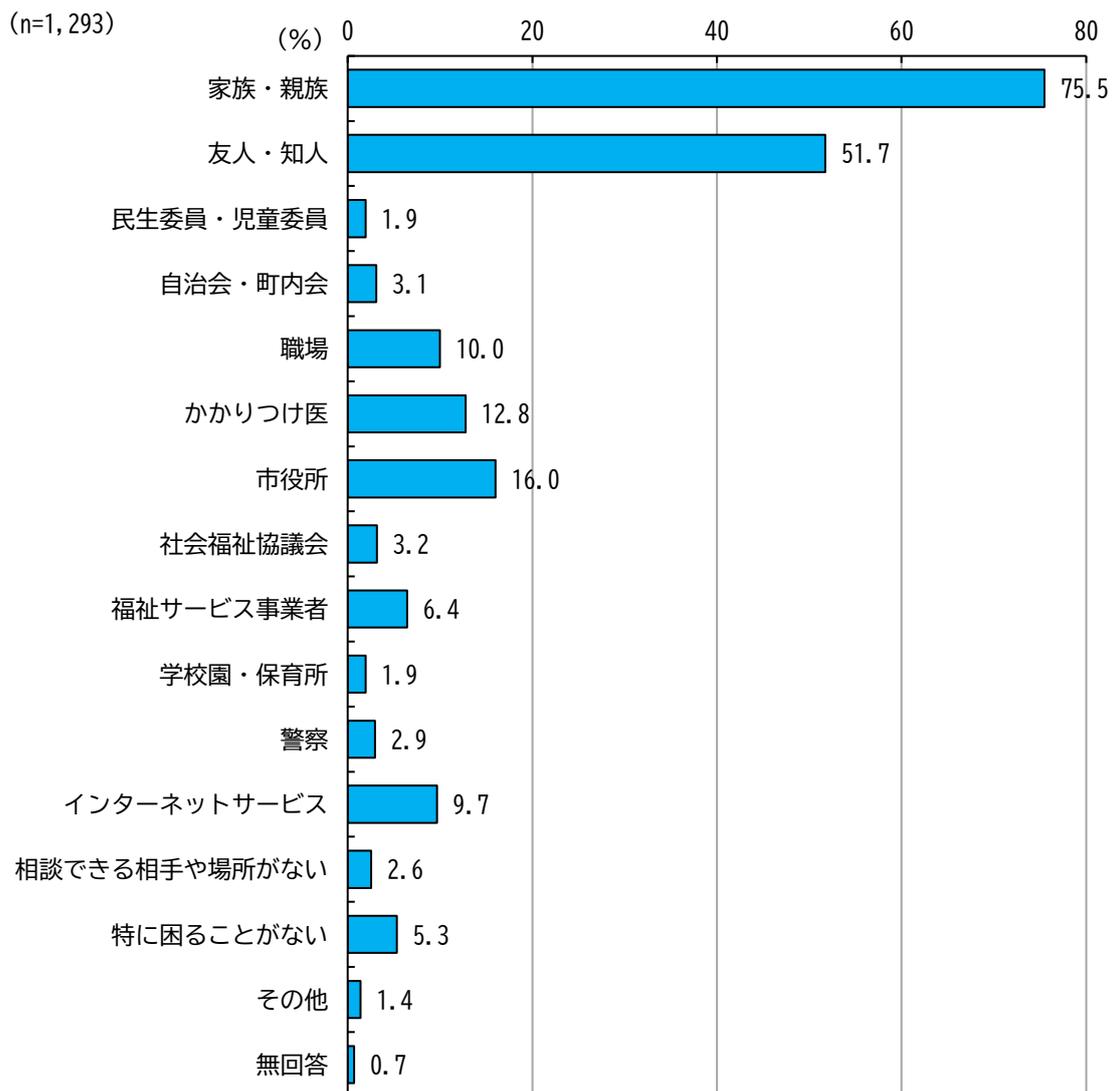
		(%)														
		n	体の健康	心の健康	家計	仕事	子育て	親族の介護	孤独	災害	防犯	デジタル化	人間関係	特にない	その他	無回答
全体		1,293	52.1	17.9	22.4	11.7	9.7	16.3	3.4	31.9	22.0	7.0	5.8	10.8	1.9	0.8
小学校区	山手小学校区	255	50.6	16.5	19.6	7.8	11.4	16.9	2.7	25.5	27.5	7.1	4.3	13.7	2.0	0.0
	朝日ヶ丘小学校区	109	56.9	21.1	28.4	11.0	8.3	20.2	0.0	25.7	18.3	11.0	5.5	11.0	1.8	0.9
	岩園小学校区	183	48.6	21.3	22.4	14.2	9.8	17.5	2.2	33.3	25.1	9.3	11.5	8.2	1.6	0.5
	精道小学校区	189	54.5	20.6	21.2	12.7	9.5	14.3	4.8	38.6	22.2	5.8	3.2	6.9	1.1	0.5
	宮川小学校区	164	45.1	15.9	22.6	14.0	14.6	11.0	4.3	41.5	25.0	5.5	4.9	10.4	0.6	1.8
	打出浜小学校区	125	52.8	18.4	18.4	13.6	7.2	23.2	5.6	36.0	11.2	7.2	6.4	13.6	3.2	0.0
	潮見小学校区	160	56.9	15.0	21.9	10.0	7.5	15.0	3.1	29.4	20.6	5.0	5.6	13.8	3.8	0.6
	浜風小学校区	88	59.1	14.8	33.0	13.6	5.7	14.8	5.7	25.0	15.9	6.8	5.7	8.0	2.3	2.3

## (2) 暮らしの困りごとや福祉サービスのことなどの相談

問 30 あなたが暮らしの困りごとや福祉サービスのことなどで相談するのはどこ（どなた）ですか。  
 (〇はいくつでも)

### 【全体】

「家族・親族」が75.5%で最も多く、次いで「友人・知人」が51.7%、「市役所」が16.0%となっています。



◇暮らしの困りごとや福祉サービスのことなどで相談するのはどこ（どなた）か  
 「その他」の主な回答

内 容	
マンション管理人・コンシェルジュ（2件）	ケアマネジャー
介護ヘルパー	高齢者生活支援センター

など

【年齢別】

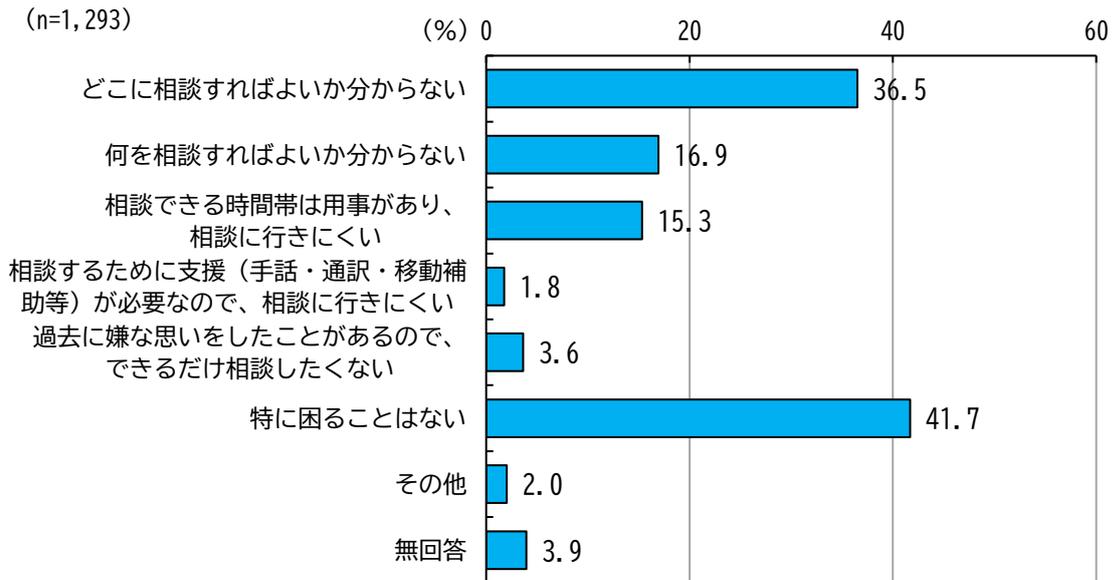
すべての年代で「家族・親族」に次いで「友人・知人」が多くなっています。また、20歳代から50歳代では「職場」、「インターネットサービス」、70歳代以上では「かかりつけ医」が他の年齢層より比較的多くなっています。「市役所」は30歳代以降増加し、60歳代では2割強となっています。

		n	家族・親族	友人・知人	児童委員・民生委員	自治会・町内会	職場	かかりつけ医	市役所	社会福祉協議会		
全体		1,293	75.5	51.7	1.9	3.1	10.0	12.8	16.0	3.2		
年齢	10歳代	34	79.4	50.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0		
	20歳代	100	76.0	59.0	0.0	0.0	10.0	7.0	1.0	0.0		
	30歳代	114	80.7	61.4	0.0	0.0	19.3	9.6	17.5	0.9		
	40歳代	197	79.2	57.4	2.0	2.5	17.3	7.6	18.8	3.6		
	50歳代	266	74.4	52.6	0.8	2.6	13.9	9.8	16.9	3.4		
	60歳代	198	68.7	47.0	1.0	3.0	9.1	10.1	23.2	3.0		
	70歳代	235	74.5	47.7	2.6	4.3	3.0	20.4	13.6	3.4		
	80歳以上	148	77.7	43.2	7.4	8.1	0.7	25.0	16.9	6.8		
		n	事業者	福祉サービス	学校園・保育所	警察	サイバーサービス	インターネット	場所がない	相談できる相手やないに困ることが	その他	無回答
全体		1,293	6.4	1.9	2.9	2.9	9.7	2.6	5.3	1.4	0.7	
年齢	10歳代	34	0.0	5.9	0.0	5.9	2.9	8.8	0.0	0.0		
	20歳代	100	2.0	0.0	3.0	11.0	2.0	7.0	1.0	0.0		
	30歳代	114	3.5	8.8	2.6	11.4	3.5	5.3	1.8	0.0		
	40歳代	197	3.6	5.1	2.5	17.3	1.5	4.1	1.5	0.0		
	50歳代	266	7.9	0.8	2.6	13.5	3.8	4.5	1.5	1.1		
	60歳代	198	6.1	0.0	3.0	9.1	4.5	6.1	0.5	0.5		
	70歳代	235	8.1	0.0	1.7	3.0	0.4	7.7	1.7	0.9		
	80歳以上	148	12.2	0.7	6.8	2.7	2.0	2.0	2.0	2.0		

問 31 あなたは、暮らしの困りごとや福祉サービスのことなどで相談するとき、困ると感じることはありませんか。(〇はいくつでも)

【全体】

「特に困ることはない」が 41.7%で最も多く、次いで「どこに相談すればよいか分からない」が 36.5%、「何を相談すればよいか分からない」が 16.9%となっています。



◇暮らしの困りごとや福祉サービスのことなどで相談するとき、困ると感じること  
「その他」の主な回答

内 容
役所に困りごとを総合的にとらえてもらえる部署がほしい（2件）
行政職員の対応力（2件）
相談（公共サービス）しても解決できなかった。なかなか状況を理解してもらえない。公共側の都合優先
たらいまわしにされるイメージがある
ホームページに載っていないと困る
子連れで相談に行くのはなかなか辛い
プライバシーが気になる

など

【年齢別】

すべての年代で「特に困ることはない」、「どこに相談すればよいか分からない」が1位と2位を占めています。また、20歳代から60歳代では「相談できる時間帯は用事があり、相談に行きにくい」が約2～3割と比較的多くなっています。

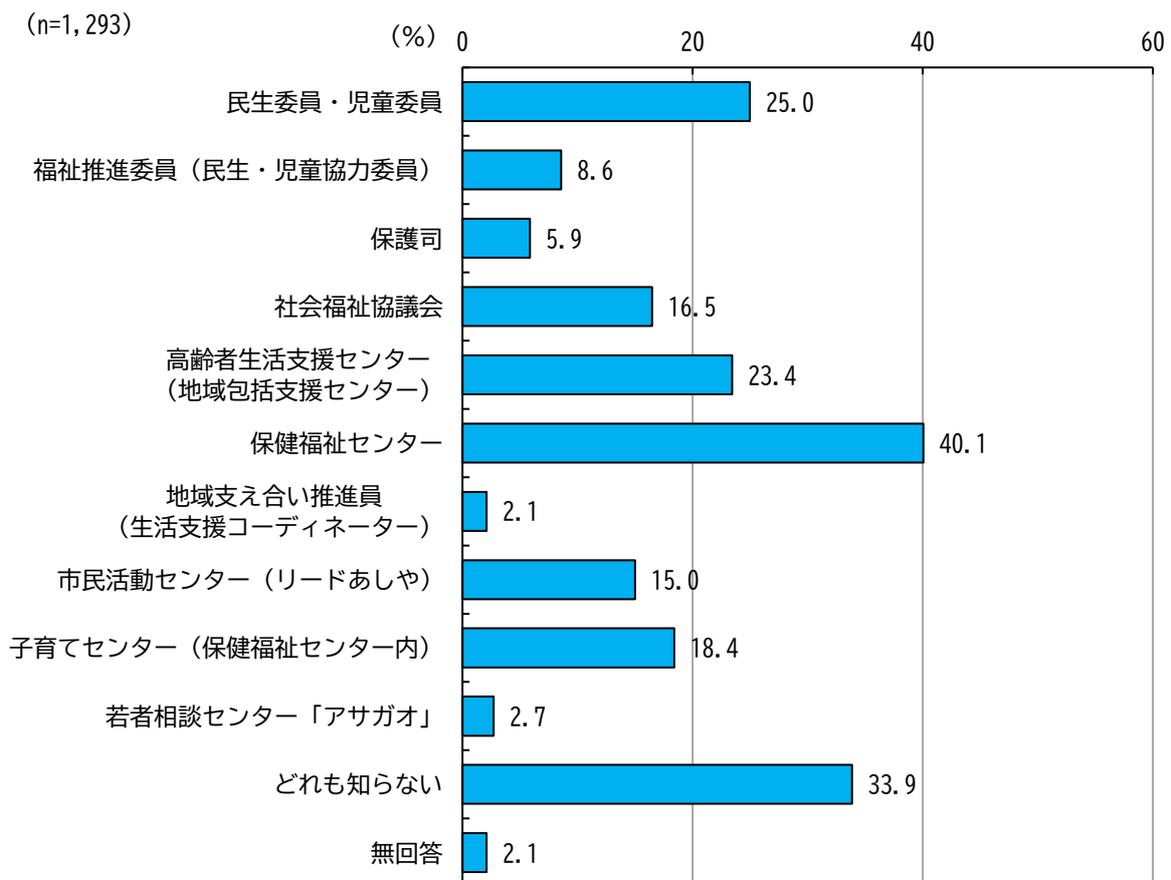
		n	(%)								
			分からない	どこに相談すればよいか	何を相談すればよいか	相談に行きにくい	相談できる時間帯は用事があり、相談に行きにくい	補助等）が必要なので、相談に行きにくい	過去に嫌な思いをしたことがあるので、できるだけ相談したくない	特に困ることはない	その他
全体		1,293	36.5	16.9	15.3	1.8	3.6	41.7	2.0	3.9	
年齢	10歳代	34	44.1	20.6	8.8	5.9	5.9	38.2	0.0	0.0	
	20歳代	100	30.0	22.0	20.0	5.0	6.0	37.0	1.0	0.0	
	30歳代	114	34.2	24.6	29.8	1.8	4.4	35.1	1.8	0.0	
	40歳代	197	42.6	20.3	26.4	1.5	5.1	31.5	2.5	1.0	
	50歳代	266	40.6	17.7	19.9	0.4	2.3	41.4	1.5	0.4	
	60歳代	198	43.9	16.7	15.2	0.5	2.5	43.4	2.0	3.0	
	70歳代	235	27.2	11.5	2.1	1.3	4.3	52.3	2.6	7.7	
	80歳以上	148	30.4	10.1	0.7	4.1	2.0	45.3	2.7	16.2	

### (3) 福祉に関する相談先

問 32 次の中であなたの知っている人や場所はどれですか。(〇はいくつでも)

#### 【全体】

「保健福祉センター」が40.1%で最も多く、次いで「どれも知らない」が33.9%、「民生委員・児童委員」が25.0%となっています。



【性別】

全体として女性の方が認知している項目が多く、男性では「どれも知らない」が4割を超えています。

(%)

	n	民生委員・児童委員	福祉推進委員 (民生・児童協力委員)	保護司	社会福祉協議会	高齢者生活支援センター (地域包括支援センター)	保健福祉センター	地域支え合い推進員 (生活支援コーディネーター)	市民活動センター (リードあしや)	子育てセンター (保健福祉センター内)	「アサガオ」 若者相談センター	どれも知らない	無回答	
全体	1,293	25.0	8.6	5.9	16.5	23.4	40.1	2.1	15.0	18.4	2.7	33.9	2.1	
性別	男性	512	20.1	6.4	4.1	13.1	16.4	32.6	0.8	10.7	10.4	2.3	42.8	2.3
	女性	768	28.4	10.0	7.2	18.9	28.1	44.9	3.0	17.8	23.6	3.0	27.9	2.0

【年齢別】

10歳代、40歳代、70歳代で「保健福祉センター」が約5割と多くなっています。また、30歳代、40歳代では「子育てセンター」、70歳代以上では「高齢者生活支援センター」が比較的多くなっています。一方、20歳代では「どれも知らない」が最も多く、5割弱となっています。

(%)

	n	民生委員・児童委員	福祉推進委員 (民生・児童協力委員)	保護司	社会福祉協議会	高齢者生活支援センター (地域包括支援センター)	保健福祉センター	地域支え合い推進員 (生活支援コーディネーター)	市民活動センター (リードあしや)	子育てセンター (保健福祉センター内)	「アサガオ」 若者相談センター	どれも知らない	無回答	
全体	1,293	25.0	8.6	5.9	16.5	23.4	40.1	2.1	15.0	18.4	2.7	33.9	2.1	
年齢	10歳代	34	11.8	8.8	5.9	8.8	26.5	50.0	5.9	17.6	29.4	2.9	23.5	0.0
	20歳代	100	15.0	8.0	10.0	9.0	13.0	32.0	2.0	17.0	15.0	4.0	47.0	1.0
	30歳代	114	20.2	2.6	7.0	9.6	13.2	41.2	2.6	11.4	42.1	2.6	33.3	0.9
	40歳代	197	26.9	5.6	6.1	20.3	14.7	48.7	1.0	18.3	36.0	3.0	32.0	1.0
	50歳代	266	29.7	8.3	7.5	18.0	23.3	38.7	2.3	15.0	21.1	3.8	37.2	0.8
	60歳代	198	24.7	9.6	6.1	14.6	26.3	36.4	1.5	9.6	8.6	2.0	37.4	2.5
	70歳代	235	25.1	10.2	3.4	21.3	32.3	45.5	2.1	17.9	6.4	2.1	26.8	2.1
	80歳以上	148	27.7	13.5	2.7	15.5	31.1	29.7	2.7	14.2	4.1	1.4	31.1	7.4

### Ⅲ 自由意見一覽

問33 地域活動やボランティア、地域でのつながりなどに関して、ご意見やアイデア等がありましたら自由にご記入ください

自由記述設問では、281人から回答がありました。内容を分類した結果は下表のとおりです。最も多かったのが「① ボランティアや地域活動について」(84件)で、活動の課題や経験、要望などについて様々なご意見が寄せられました。「② 近所づきあいについて」(36件)では、近所づきあいが希薄になってきていることや、地域での人間関係に悩むケースなどが報告されています。その他は、「③ 高齢者について」「④ こども・子育て・若者について」などとなっています。

なお、複数の意見が書かれている場合は、それぞれに計上しているため、回答数と各意見の合計数は一致しません。また、意見内容は、主なものを抜粋してまとめています。

① ボランティアや地域活動について の主な意見	84件
活動情報が届かず、何がどこで行われているか分からない。市政だより・掲示板だけでなく、駅・バス・スーパー等、人目につく場所やWebで一覧化(見える化)して周知してほしい。	
「参加のきっかけ」がないと動きにくい。声をかけて誘ってくれる人、音頭を取る人(地域のリーダー)の存在が重要である。	
新しく地域に来た人が入りづらい。自治会・町内会の案内がなく、回覧板も回ってこないなど、参加の入口や手順が見えない。	
人間関係の負担が大きく、参加をためらう。叱責や押し付け、陰口、仕事の丸投げなどの経験がトラウマになり、孤立の方が楽だと感じる。	
役員・担い手不足への不安が強い。自治会、民生委員等の成り手不足が進み、災害対応など従来の地域力が維持できるか懸念がある。	
引き受けると責任が重く、断りにくい。「次は運営側に回るのでは」と負担を心配し、踏み出せない。短時間・単発で選べる仕組みがほしい。	
働く世代・共働き世帯が参加しやすい時間設計が必要。平日中心だと参加できない。土日実施、早朝実施、オンライン活用などを求める。	
身近なテーマで参加機会を増やしてほしい。公園や川の清掃・美化、防災訓練、地域のイベント運営など、気軽に参加できる活動の提案がある。	
若い世代・こどもを巻き込む工夫が必要。学校での学び、こどもと一緒にできるボランティア、学習支援、世代間交流(食事など)の場づくりを求める。	
一部の人に偏らない運営・公平性が大切。特定の人が幅を利かせる、ボランティアを当然視する運営への違和感があり、参加しやすい雰囲気づくりやルール整備を望む。	

など

② 近所づきあいについて の主な意見	36件
近所づきあいが弱まり、挨拶程度で終わっている。向こう三軒両隣の関係が薄く、引越し時の挨拶も減っている。	

マンション居住では特に接点が少なく、地域情報も届きにくい。隣人の顔が分からない。町内会加入が少なく、賃貸の出入りもあり、つながりが作りにくい。
仕事・家事等で余裕がなく、地域に関わりにくい。共働きや忙しさ、生活の負担感から、地域活動に踏み出す心の余裕がない。
つながりは必要と思うが、濃すぎる関係や義務感は避けたい。噂話などの“嫌な面”も踏まえ、自然な距離感の延長で関われる形が望ましい。
災害時を想定すると、現状の希薄さに不安がある。普段のつながりが薄いため、有事に助け合えるか心配であり、訓練や顔の見える関係づくりがあってもよい。
個人情報・プライバシーが壁となり、見守りや支援につながりにくい。独居高齢者等が気になっても把握できず、善意の提案が止まってしまう。
“楽しい場”やデジタルも含めた情報発信で、気軽な参加の入口を増やしてほしい。祭り・ラジオ体操等のきっかけづくり、YouTube/LINE等の活用、小さな手伝い（短時間）の募集・登録の仕組みを求める。

など

③ 高齢者について の主な意見	34件
60代までは人とのつながりやボランティアをやりつくしたが、70代に入り体調が変化し、周辺には店舗もなく買物にも困り、交通手段もむずかしく外出がおっくうになっている。	
積極的な方が地域の1人暮らし又は老人の方にお声かけしていただけたら、きっかけになりやすい。	
若い世代の参加が少なく、高齢者が高齢者のお世話をしている。仕事・子育てが忙しい年代が負担なくつながられて参加できる場があるとよい（アルバイト的なものなら増えるのでは）。	
ごみ屋敷の片付けで活動的だったおじいさんが、片付けるものがなくなった今は引きこもりがちになってしまった。対処は正しい形でも、このような方のアフターケアをもう少し充実させて頂ければと思う。	
高齢者の居場所として、JR駅前南側に「本棚のある本の森の様な広場」を作ってほしい。緑の芝生のある広場ができればよい。商業テナントビルはもういらない。	
はや90歳近くになり、もっと若い頃から社会的活動に参加しておけばよかったと痛感している。世代間の壁は厚く、高齢者が経験を生かして社会貢献できる取組を切に望む。	
神戸市東灘区の友人は地区ごとに毎日1回参加できる高齢者サークル（講話、体操、手芸など）があり楽しんでいる。芦屋にもその様な場所をぜひ作っていただきたい。	
80歳目前で一人暮らしなので責任ある活動はできないが、毎日何人かと連絡をとり合い、倒れていたら助けに行く。毎日電話・ショートメール・玄関のボタン押し等を取り入れたら、助けられる命もあると思う。	
シルバー人材センターの年会費が大幅に値上げされ、多くの方が脱会した。高齢者にとって大事な組織なので今後の支援をお願いしたい。	
市報・インターネット・地域のつながり等があっても、高齢者本人が情報を得ることは難しい。地域福祉、市民力とはいえ、すべて最後は身近な“人”と感じる。	
老人会はもっと活用すべきだが「老人」という呼称が前向きなイメージでなく加入していない。抵抗なく思える名称に変え、加入年齢も制限をもうけず、ゆるい関係の活動に老人会を利用したらどうかと思う。	

など

④ こども・子育て・若者について の主な意見	27 件
国レベルで減税や給付を急いでほしい。こども 1 人につき月 10 万円を 22 歳まで、学校の無償化、消費税廃止などをやらないと日本全体がもたないし、芦屋でも孤立が進んで手遅れになる。	
芦屋は子育てがしづらく、住み続けにくい。病児保育が少ないし、子育て世帯が住める住宅（3LDK～4LDK、戸建てなど）が少なく、家を借りる（買う）ことが難しい。	
働く母親が地域のコミュニティに入りにくい。	
こどもの教育や育ちにもっと力を注いでほしい。子育てや教育への投資を強めてほしい。	
駅近など参加しやすい場所で子育てイベントを増やしてほしい。JR 芦屋駅近辺で未就学児向けのイベントが多ければ、もっと参加できたと思う。	
ひとり親・親戚なしの世帯は、つながりができにくい。困ってはいないが、芦屋でつながりのある人間関係がないまま過ごしていて、振り返ると寂しく感じることもある。	
こどもや若者を守るため、早く気づける仕組みがほしい。最近の高校生の自殺の話もあり、地域活動と言うなら、そういう若者を救えるように「どうして気づけないのか」と感じる。	
相談先や支援の存在を、こどもに届く形で周知してほしい。ほとんどの人はサービスの存在を知らないと思うので、「気軽に相談できる場所がここにあるよ」と小中学校にポスターをたくさん貼ってほしいし、先生の聞き取りも必要だと思う。	
子育て支援の情報発信が分かりにくいので、SNS 中心に“わくわく”する形で伝えてほしい。支援サイトが見つらいし、市の取り組みは近寄りたく感じるので、デザインや発信の仕方を工夫してほしい（神戸のように）。	
若者（20～30 代）のイベントを増やしてほしい。若い世代が参加できる場がもっとほしい。	
中高生の居場所は“ある”だけでなく、実際に使えるようにしてほしい。紹介されても行ってみたら「今日はダメ」などで使えなかった経験があり、若年者に厳しく感じるので、こどもたちが生き生きできる市政にしてほしい。	
身近に使える拠点が足りないので増やしてほしい。小中学生の自習室や、こども食堂のように多世代が使える場が少なく、場所も限られているので、もっと広い地域で気軽に利用できる拠点がほしい。	

など

⑤ 障がい・病気について の主な意見	11 件
感染症やワクチン（百日咳、带状疱疹等）も含め、市民病院の意見など芦屋市全体のデータを聞ける機会がほしい。	
進行性の筋ジストロフィー等で外出が難しく、要介護 1 では外出の付き添いや掃除まで利用できない。日々の支えとなるボランティアの協力があれば生活の幅が広がり、図書館通いなどもできればうれしい。	
市内でキャリアを活かせる仕事が見つかりにくく、市外で働いているが、できれば障がいのあるこどもを見守りながら市内で役に立ち生計も立てたい。ボランティアというより収入を得たい思いもあり、人材バンクのようなマッチングがあるとよい。	

など

⑥ 外国人について の主な意見	8件
外国人居住者が増える中で、ゴミ出し等のルール・モラル（近所マナー、自転車マナー含む）が守られない場面がある。多言語での集会・説明会など、外国人の方も参加しやすい機会を増やしてほしい。	
外国人の方も地域社会に馴染んでほしい。地域との関わりを持てるような仕組みや参加の場が必要だという意見がある。	
（外国籍住民として）芦屋の居住環境をより良くするために貢献したい。ボランティア等に参加したいので、情報入手の方法を教えてください。	

など

⑦ 防災について の主な意見	13件
山芦屋町には集会所がないので、防災の備えとしても必要で、空いている場所に設置してほしい。地域のコミュニケーションの場所にもなり、高齢者やこどもたちも利用できると思う。	
一人暮らしで犬を飼っており、災害時に「ペットと一緒に避難できる場所はあるのか」などの情報が全く入ってこない。今のままでは犬を連れて避難するのは難しく、災害時の一人一人に合わせたきめ細かいニーズを事前に考えてほしい。	
津波が来た場合、どの橋を渡って逃げるのが安全か知りたい。浜芦屋内の避難場所（市営・県営の3F以上等）も「全員が入れるとは思えない」ので、トイレや食事、暑さ寒さも含めて現実的な避難の情報を知らせてほしい。	
核家族化がすすみ、普段は挨拶程度で「災害時など助け合える状況にはない」と感じる。行政による参加が必須となるような避難訓練を地域ごとに行うなど、機会作りがあってもよい。	
災害時にこそ自治会が必要だと思うが、案内・連絡が掲示板や訪問だとあまり意味がないと感じる。ネットで見られる掲示板やLINE グループ等で防災情報（防犯上の事件情報も）を見られるようにし、避難所設営のボランティア募集や研修、女性の安全面の工夫、清掃ボランティアや警察・消防の講座なども増やしてほしい。	

など

⑧ 防犯について の主な意見	13件
山手町は人通りが少なく、街灯が暗いので、夜は殆ど外出することが怖くてできない。近所を散歩できるようにもう少し明るくしてほしい。	
新浜公園の北側が夜真っ暗で、バスで帰宅するときとても不安。ハード整備をしっかりとってほしい。	
近くで犯罪があっても何の情報も知らされていない。車上荒らし、空巣が「どこでどういう状態で？」が分からず、廻ってくるのは「気をつけて下さい」だけで、何をどう気を付ければいいのかが必要。	
普段仕事で地域の事業やイベントなど参加できないので、ネットで見られる掲示板などで防災情報や、防犯上の事件などの発生も知ることができれば、予防につながるので助かる。公園で不審な人物に遭遇した等も、ネットや掲示板で共有できるシステムがあれば嬉しい。	
防犯対策を強化してほしい。街灯を取り付けて防犯カメラを付けてほしい。警察や消防署などからの専門家による防犯・防災講座や、親子で参加できる講座が近所で開催されれば、気軽に交流できる機会にもなると思う。	

近隣住民に日本語が話せない外国人が増え、トラブルや事件もあり治安面で不安である。外国人同士のトラブルに巻き込まれたくないので、外国人の方も地域社会に馴染んで頂きたい。交番の廃止や警官不在にも不安があり、警官の数を増やして欲しい。

など

⑨ アンケート調査について の主な意見	11 件
何を狙いとしているアンケートか、わからない。同じことを何度もきかれ、めんどうであった。具体的に何をしようとしているのかもわからない。	
結局、答えるのは「関わっていた／関わっても構わない」人に偏るのではと感じる。個人特定への不安も含め、回答層が偏ってしまう懸念がある。	
所要時間の負担が大きい。7分目安はこの年齢では難しく無理、実際 30 分かかった。	
アンケートを取った後、どう活用されているのか分からないのが残念。郵送費用やウェブ画面を作る余裕があるなら、子育て支援の充実に回した方が有益ではないか。	

など

⑩ その他、まちづくり等について の主な意見	64 件
生ゴミの収集が鳥のために難しい。芦屋市で生じたゴミの焼却等処理は他の自治体などと分離せず芦屋市内で終末までやらねばならない。	
芦屋浜（芦屋川河口）でこどもとよく遊ぶがゴミが多く、持って帰って捨てるのが大変なので階段の上などにゴミ捨て場（ボランティア専用）のようなものがあれば良いのに。また一斉に掃除している日があるのであれば一緒にしてみたい。	
早朝に芦屋川で個人的にゴミ拾いをしている方がいて意識の高い方がいる一方、一般の人はやりたくてもハードルが高いため、ゴミ拾いの日など企画があれば参加しやすい。ボランティアはやる気はあるが何があるのかわからない。	
阪神・淡路大震災以外はおだやかでいい所だと思うが、上品なので気楽なおつきあいが少ないように思う、気楽に入れる喫茶店や食堂などが少なく西宮か神戸へ出ていくしかない。駅の南側を開発したら庶民的な町へ一歩近づけるような芦屋に…願っている。	
国道 43 号線から宮塚橋を越えて 2 号線に至る道路について、車の量が増えて砂ボコリが家の中まで入ってくる。草がボウボウで吸い殻やゴミ袋も捨てられている。市役所をお願いしても動いてくれない。年に 3 回は車を使って掃除をお願いしたい。	
車が昔より大きくなっているので駐車場の一区画を広げて欲しい。電柱が邪魔で運転しにくい。電柱を地中にうめるべき。	
地域福祉の側を具体的に広報してほしい、福祉サービスについて市としてやれることをもっと積極的に公表してほしい。まずは全てのチャンネルをまとめて示すことがないと選ぶことも求めるべきことも関わろうと思うことも気がつかない。	
若者・子育て・高齢者に該当しない弱者の存在も忘れないでいてほしい。色々イベントがあるが参加条件から外れていることが多いと感じる。	

<p>こどもから大人まで安価で自主的に使える市の施設があれば人が集まるきっかけになるのではないかと。茨木市のオニくるや金沢市の市民芸術村などのイメージで、気軽に集まって活動できる場所がほしい。</p>
<p>個人的に、ゴミをキチンとキレイに処分できる施設（ゴミをリサイクル等で無毒化して地球に環境破壊させない仕組み）を作って欲しい。</p>
<p>福祉センターのプールをもっと使いやすくしてほしい。使用可能時間帯が短く予約が必要だったり抽選だったりして使いにくい。自由解放して欲しい。市役所からハガキか何かで連絡がほしいくらいだ。</p>
<p>コロナ時のワクチン接種やマイナンバーカード申請、確定申告など今後の手続きでデジタル化が進み複雑になっていくので不安がある。システムに強い高齢者（定年退職者）や学生を募って対応してほしい（ボランティア／アルバイト）。また土日祝に相談できる体制が整っていないように思われる。</p>
<p>市長に期待、応援している。</p>

など

---

## IV 調査票

---

## 地域福祉に関する市民意識調査のお願い

市民の皆さまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

私たちは「世界で一番住み続けたいまち、芦屋」の実現を目指しています。そのためには、ハード整備だけでは不十分です。住宅都市・芦屋にとっては、「人」こそが重要です。だからこそ、「人」を支える福祉施策も、市民力を活かしながら、あなたとともに創り上げていきたいと考えています。

本市では今、芦屋市が安心していつまでも暮らせるまちであり続けるため、地域福祉の施策を見直しています。皆さまが普段生活される中でどのように感じていらっしゃるか、ぜひ率直にご意見をいただけませんでしょうか。

お忙しいところお手数をおかけしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年（2025年）8月

芦屋市長 高島 峻輔



本調査は、市内にお住まいの18歳以上の方の中から無作為抽出した3,000人の方を対象としています。ご回答は個人が特定されないよう統計的に処理し、今後の市政運営や第5次地域福祉計画策定の基礎資料とするとともに、ホームページなどで公表します。

### 【ご回答にあたってのお願い】 所要時間:7分目安

◆次の2つの方法からいずれか1つをお選びいただき、<sup>※</sup>8月27日(水)までに回答してください。

#### 1 パソコン・スマートフォン等によりインターネットで回答

(1) 別紙「インターネットでご回答される方へ」をご覧ください、ご回答ください。

#### 2 調査票（この冊子）に直接記入し、郵送により回答

(1) 黒のボールペン又は濃い鉛筆でご記入ください。

(2) お答えは、「1つだけ」「3つまで」「いくつでも」などの表記に従って、該当する番号に○印を付けてください。（一部、記述をお願いする設問もあります）

(3) ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、ポストにご投函してください。

◆封筒の宛名の方がご回答ください。（できるだけご本人がお答えください。ご本人が記入等しにくい場合は同居のご家族や介助者の方の入力、代筆をお願いします。）

◆この調査資料の利用に当たっては、個人情報の保護に関する法律の規定に基づき、適正に行います。

◆この調査に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

芦屋市 地域福祉課 TEL 0797-38-2153/FAX 0797-38-2160

これは<sup>ちいまふくし</sup>地域福祉<sup>ちようさひよう</sup>についてのアンケート調査票です。  
英語版<sup>えいごばん</sup>または<sup>ふりがな</sup>ふりがな付きのアンケート調査票<sup>ちようさひよう</sup>が必要な<sup>れんらく</sup>場合は、ご連絡ください。  
芦屋市<sup>あしやし</sup> 地域福祉課<sup>ちいまふくしか</sup> e-mail : [syakaifukusi@city.ashiya.lg.jp](mailto:syakaifukusi@city.ashiya.lg.jp)

Survey on the Community Wellbeing of Ashiya Citizens

If you need either an English version or a Japanese with *furigana* version of the questionnaire, please contact the office below:

Ashiya City Community Welfare Section

## I. あなた（回答者）ご自身についておたずねします。

問1 あなたの性別は、以下のうちどれにあてはまりますか。（○は1つだけ）

- |                |          |
|----------------|----------|
| 1. 男性          | 2. 女性    |
| 3. 1・2に当てはまらない | 4. 回答しない |

問2 あなたの年齢は、以下のうちどれにあてはまりますか。（○は1つだけ）

- |         |         |         |          |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代  |
| 5. 50歳代 | 6. 60歳代 | 7. 70歳代 | 8. 80歳以上 |

問3 あなたの同居されている家族構成は、以下のうちどれにあてはまりますか。（○は1つだけ）

- |                   |          |                   |
|-------------------|----------|-------------------|
| 1. 一人暮らし          | 2. 夫婦のみ  | 3. 親と子（18歳未満の子あり） |
| 4. 親と子（18歳未満の子なし） | 5. 親と子と孫 | 6. その他（ ）         |

問4 あなたは、芦屋市に何年住んでいますか。（○は1つだけ）

- |               |             |              |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. 1年未満       | 2. 1年以上5年未満 | 3. 5年以上10年未満 |
| 4. 10年以上20年未満 | 5. 20年以上    |              |

問5 あなたは、現在、どちらにお住まいですか。（住んでいる町名を記載）

\_\_\_\_\_ 町

問6 あなたの主なお仕事は、以下のうちどれにあてはまりますか。（主なものに1つだけ○）

- |              |                        |            |
|--------------|------------------------|------------|
| 1. 正社員・正職員   | 2. パート・アルバイト・派遣職員・嘱託職員 |            |
| 3. 会社の経営者・役員 | 4. 自営業・家族従事者           | 5. 専業主婦/主夫 |
| 6. 学生        | 7. 無職                  | 8. その他（ ）  |

## II. 地域との関わりについておたずねします。

問7 あなたの隣近所（歩いて行ける範囲）に、どの程度のおつきあいの人がいますか。

（○は1つだけ）

- |                          |
|--------------------------|
| 1. お互いの家を行き来する付き合いがある    |
| 2. 困ったときは、相談できて助け合える人がいる |
| 3. 世間話をする人がいる            |
| 4. 挨拶をする人がいる             |
| 5. ほとんど近所づきあいはない         |
| 6. 全く近所づきあいがいい           |

問8 あなたは普段、お住いの地域のイベントや<sup>わか</sup>りの情報をどこから得ることが多いですか。（○は3つまで）

- |            |             |             |               |
|------------|-------------|-------------|---------------|
| 1. 市の広報紙   | 2. 市のホームページ | 3. 市の公式 SNS | 4. あしやトライあんぐる |
| 5. 地域の掲示板  | 6. 回覧板      | 7. 家族・友人・知人 | 8. インターネット検索  |
| 9. SNS     | 10. 新聞      | 11. テレビ     |               |
| 12. その他（ ） |             |             |               |

問9 あなたは、この3年間で行ったことがあるものはどれですか。(〇はいくつでも)

- |                 |              |                     |
|-----------------|--------------|---------------------|
| 1. 地域のお祭りやイベント  | 2. 防災訓練・避難訓練 | 3. クリーン作戦           |
| 4. 地域食堂・子ども食堂   | 5. 集会所等での講座  | 6. 体操など健康づくりに関する集まり |
| 7. つどい場や地域でのお茶会 | 8. 参加したことはない | 9. その他 ( )          |

問10 あなたは、お住いの地域の<sup>まな</sup>ほにに参加することについてどう考えますか。(〇は1つだけ)

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. 積極的に参加したい  | 2. できれば参加したい |
| 3. あまり参加したくない | 4. 参加したくない   |

問11 問10で「3」または「4」を選択した方におたずねします。

参加を希望されない理由はなんですか。(〇はいくつでも)

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 1. 時間的な余裕がないから       | 2. 同じ世代や知り合いがないから  |
| 3. 興味・関心がある活動がないから   | 4. 人との付き合いがおっくうだから |
| 5. 過去に参加したが期待外れだったから | 6. その他 ( )         |

問12 お住いの地域の<sup>まな</sup>ほに参加しやすくするためには、どのようなことが大切だと思いますか。

(〇は3つまで)

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 1. 事前の周知が十分にされている      | 2. 誰かが声をかけて誘ってくれる      |
| 3. 初めてでも気軽に参加できる雰囲気がある | 4. こどもも高齢者も参加しやすい内容である |
| 5. 身近な場所である            | 6. 参加しやすい時間帯である        |
| 7. 楽しそう・面白そうである        | 8. 自分の役に立ちそうである        |
| 9. その他 ( )             |                        |

問13 お住いの地域で、あなたが活動している(いた)ものはありますか。(〇はいくつでも)

- |                  |                             |
|------------------|-----------------------------|
| 1. 高齢者の見守りや声かけなど | 2. こどもの見守りや声かけなど            |
| 3. 障がいのある人に関すること | 4. ゴミ出しなど、ちょっとしたことの支え合い     |
| 5. 趣味や特技を生かした活動  | 6. 地域でのつながりづくり(お茶会やラジオ体操など) |
| 7. 防災に関する活動      | 8. 地域の清掃に関する活動              |
| 9. ない            | 10. その他 ( )                 |

問14 問13で「9. ない」以外を選択した方におたずねします。

活動を始めた主なきっかけはなんですか。(〇は3つまで)

- |                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 住んでいる地域を良くしたいと思ったから  | 2. 友人や知人に誘われたから   |
| 3. 所属している団体等の活動の一環だったから | 4. 頼まれて断り切れなかったから |
| 5. さまざまな人との交流をしたかったから   | 6. 誰かの役に立ちたかったから  |
| 7. 楽しそう・面白そうだったから       | 8. その他 ( )        |

問15 あなたが今後活動してみたいことはなんですか(〇はいくつでも)

- |                    |                             |
|--------------------|-----------------------------|
| 1. 高齢者を対象とした活動     | 2. こどもを対象とした活動              |
| 3. 障がいのある人を対象とした活動 | 4. ゴミ出しなど、ちょっとしたことの支え合い     |
| 5. 趣味や特技を生かした活動    | 6. 地域でのつながりづくり(お茶会やラジオ体操など) |
| 7. 防災に関する活動        | 8. 地域の清掃に関する活動              |
| 9. 活動したいとは思わない     | 10. その他 ( )                 |



### Ⅲ. 人とのつながりについておたずねします。

問23 あなたは、家族や親族以外で親しくつきあったり、困ったりしたときに助け合える人がいますか。  
(○はいくつでも)

- |             |                |             |
|-------------|----------------|-------------|
| 1. 近所の人     | 2. 職場や学校の友人・知人 | 3. 市内の友人・知人 |
| 4. 市外の友人・知人 | 5. 対象となる人はいない  | 6. その他 ( )  |

問24 あなたが、日常的に関わりやつながりを持っているコミュニティは何ですか。(○はいくつでも)

- |             |                         |                       |        |
|-------------|-------------------------|-----------------------|--------|
| 1. 自治会・町内会  | 2. コミスク                 | 3. 子ども会               | 4. PTA |
| 5. 老人会      | 6. 老人クラブ                | 7. 仕事関係(同僚など)         | 8. 学校  |
| 9. ボランティア団体 | 10. 趣味・スポーツなどのサークルやグループ | 11. SNSなどオンラインのコミュニティ |        |
| 12. 特にない    | 13. その他 ( )             |                       |        |

問25 人のつながりを増やすために必要なことは何だと思いますか。(○は3つまで)

- |                               |                            |
|-------------------------------|----------------------------|
| 1. 子育てや介護など、共通のライフステージでつながれる場 | 2. 趣味や関心ごとを軸としたグループやコミュニティ |
| 3. 気軽に参加できる地域のイベント            | 4. 世代や立場の違う人と交流できる機会       |
| 5. 居場所として気軽に立ち寄れる場所           | 6. オンラインで参加できる交流の場         |
| 7. ボランティアなどに関心のある人が集まれる場      | 8. 悩みごとや不安を気軽に話せる場         |
| 9. 自治会・町内会活動の活性化              | 10. 特にない                   |
| 11. その他 ( )                   |                            |

問26 あなたは、以下の項目についてどれにあてはまりますか。(それぞれの項目について1つだけ○)

項目	全くない	ほとんどない	時々ある	常にある
(1) 人との付き合いがないと感じることがある	1	2	3	4
(2) 自分を取り残されていると感じることがある	1	2	3	4
(3) 周囲に孤立している人がいると感じることがある	1	2	3	4

問27 問26で「3」または「4」を1つでも選択した方におたずねします。

必要だと思うことは何ですか。(○は3つまで)

- |                                 |                             |
|---------------------------------|-----------------------------|
| 1. 市役所や専門機関で多様な相談を総合的に受け付けてもらえる | 2. 福祉の専門職等が地域に出向いて相談にのってくれる |
| 3. オンラインで相談できるウェブサイトやSNSがある     | 4. 安心できる居場所がある              |
| 5. 地域の人との交流の機会がある               | 6. 必要だと思うことはない              |
| 7. その他 ( )                      |                             |

問28 あなたが居場所に求めるものは何ですか。(○はいくつでも)

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| 1. 趣味を見つけたい         | 2. 話し相手が欲しい    |
| 3. 気軽に立ち寄れて、いつでも帰れる | 4. 自分の存在を認識できる |
| 5. 経験や能力を生かすことができる  | 6. 時間を自由に過ごせる  |
| 7. 健康・活力が維持できる      | 8. 地域の人と関われる   |
| 9. ボランティアなどの活動ができる  | 10. その他 ( )    |

#### Ⅳ. 福祉に関する相談についておたずねします。

問29 あなたが日頃不安を感じていることは何ですか。(○は3つまで)

- |           |           |          |          |
|-----------|-----------|----------|----------|
| 1. 体の健康   | 2. 心の健康   | 3. 家計    | 4. 仕事    |
| 5. 子育て    | 6. 親族の介護  | 7. 孤独    | 8. 災害    |
| 9. 防犯     | 10. デジタル化 | 11. 人間関係 | 12. 特にない |
| 13. その他 ( |           |          | )        |

問30 あなたが暮らしの困りごとや福祉サービスのことなどで相談するのはどこ(どなた)ですか。  
(○はいくつでも)

- |                   |               |              |                 |
|-------------------|---------------|--------------|-----------------|
| 1. 家族・親族          | 2. 友人・知人      | 3. 民生委員・児童委員 | 4. 自治会・町内会      |
| 5. 職場             | 6. かかりつけ医     | 7. 市役所       | 8. 社会福祉協議会      |
| 9. 福祉サービス事業者      | 10. 学校園・保育所   | 11. 警察       | 12. インターネットサービス |
| 13. 相談できる相手や場所がない | 14. 特に困ることがない |              |                 |
| 15. その他 (         |               |              | )               |

問31 あなたは、暮らしの困りごとや福祉サービスのことなどで相談するとき、困ると感じることはありませんか。(○はいくつでも)

- |  |
|--|
| 1. どこに相談すればよいか分からない                      |
| 2. 何を相談すればよいか分からない                       |
| 3. 相談できる時間帯は用事があり、相談に行きにくい               |
| 4. 相談するために支援(手話・通訳・移動補助等)が必要なので、相談に行きにくい |
| 5. 過去に嫌な思いをしたことがあるので、できるだけ相談したくない        |
| 6. 特に困ることはない                             |
| 7. その他 (                                 |

問32 次の中であなたの知っている人や場所はどれですか。(○はいくつでも)

- |                            |                      |
|----------------------------|----------------------|
| 1. 民生委員・児童委員               | 2. 福祉推進委員(民生・児童協力委員) |
| 3. 保護司                     | 4. 社会福祉協議会           |
| 5. 高齢者生活支援センター(地域包括支援センター) | 6. 保健福祉センター          |
| 7. 地域支え合い推進員(生活支援コーディネーター) | 8. 市民活動センター(リードあしや)  |
| 9. 子育てセンター(保健福祉センター内)      | 10. 若者相談センター「アサガオ」   |
| 11. どれも知らない                |                      |

問33 地域活動やボランティア、地域でのつながりなどに関して、ご意見やアイデア等がありましたら自由にご記入ください

アンケートは以上です。ご回答いただき、ありがとうございました。

返信用封筒に入れ、**8月27日(水)までに** 郵便ポストにご投函ください。

(この用紙を郵送いただく場合は、インターネットでの回答はしないでください。)